

医史学関係文献目録 (五十音順)

平成24(2012)年

順天堂大学医史学研究室編

01 単行本	23 疾病史	45 皮膚科史
02 医学切手・書画	24 耳鼻咽喉科史	46 泌尿器科史
03 医学教育	25 種痘史	47 病院史
04 医学用語	26 獣医学史	48 病跡学
05 医師会・学会	27 書簡	49 病理学史
06 医史学一般	28 書誌学	50 風俗史
07 医の倫理	29 小児科史	51 仏教医学史
08 医療器械	30 神経学史	52 法医学史
09 医療制度史・医療史	31 診断学史	53 放射線医学史
10 衛生・公衆衛生史・予防医学史	32 整形外科史	54 本草学史・博物学史
11 解剖学史	33 精神医学史	55 麻醉学史
12 眼科史	34 生物学史	56 門人録
13 看護史	35 西洋医学史	57 薬学史
14 寄生虫学史	36 生化学史	58 蘭学史
15 教室・大学史	37 生理学史	59 リハビリテーション関係史
16 軍陣医学史	38 地方史	60 検査
17 形成外科学史	39 治療史	61 その他
18 外科史	40 伝記	62 中国語文献
19 細菌学史	41 伝記(双)	63 韓国語文献
20 産婦人科史	42 伝染病史・防疫史・感染症史	64 欧文文献
21 歯学史	43 東洋医学史・伝統医学史	今回は17, 34, 36, 37, 45, 48,
22 史跡・記念碑	44 内科史	63にあたる文献はありません。

01 単行本

(主編)辰巳洋, 稲垣雄史『薬膳の今とこれから
本草薬膳学院創立10周年』本草薬膳学院創立
10周年実行委員会

「戦争と医の倫理」の検証を進める会『日本の医
学者・医師の「15年戦争」の加担と責任』

Alexander R. Bay『Beriberi in modern Japan: the mak-
ing of a national disease』University of Rochester
Press

石田真『秋田医学史散歩』秋田活版印刷

泉孝英編『日本近現代医学人名事典』医学書院

太田由佳『松岡恕庵本草学の研究』思文閣出版

岡田靖雄『青人冗言8 ハンセン病患者および精
神病患者の比較法制・処遇史』青柿舎

加藤美恵子『日本中世の母性と穢れ観』塙書房

神谷昭典『植民地医育論』新協出版社

黒川正剛『魔女とメラニコリー』新評論

坂井建雄編『日本医学教育史』東北大学出版会

佐賀大学地域学歴史文化研究センター『ISHIK
2012』

末永恵子編『新聞にみる福島の医療』アカデミ
ア・コンソーシアムふくしま

鈴木則子『江戸の流行り病』吉川弘文館
 多賀須幸男『医者たちの聲音—日本医家の苦勞話』考古堂書店
 田中智子『近代日本高等教育体制の黎明』思文閣出版
 寺澤捷年『吉益東洞の研究—日本漢方創造の思想』岩波書店
 東邦大学医学メディアセンター『東邦大学創立者 額田豊・晋 業績目録』
 東邦大学医学メディアセンター『額田文庫目録』
 中山沃『緒方惟準伝—緒方家の人々とその周辺』思文閣出版
 日本国際医学協会『黎明期の日本近代医学・薬学—日独交流150周年記念出版』
 秦温信『北辰をめざして—「北国から，さわやかな風を」余話—』秦温信
 室伏君士『認知症高齢者へのメンタルケア』（財）順天堂精神医学研究所
 森川潤『萩藩好生堂教諭役青木周弼』広島修道大学学術交流センター
 ミヒェル・ヴォルフガング，吉田洋一，大島明秀 共編『中津市歴史民俗資料館分館 医家史料館 叢書 XI 史料と人物 IV』中津市教育委員会

02 医学切手・書画

「16/17世紀のネーデルラント絵画に医学を読む 第11回 精神に影響を与えた四体液説②—メラニコリー」ヴォルフガング・U・エッカート（中村典子・訳）『大塚薬報』（672）24-27
 「16/17世紀のネーデルラント絵画に医学を読む 第12回 精神に影響を与えた四体液説③—胆汁質，多血質，粘液質」ヴォルフガング・U・エッカート（中村典子・訳）『大塚薬報』（673）22-25
 「16/17世紀のネーデルラント絵画に医学を読む 第13回 養生法」ヴォルフガング・U・エッカート（中村典子・訳）『大塚薬報』（674）22-26
 「シーボルト記念館の古写真史料」扇浦正義『鳴滝紀要』（22）47-66
 「往診靴」酒井シヅ『CLINICIAN』（605）3-7
 「疱瘡絵イメージが明治から昭和初期の売薬広告に与えた影響について（抄）」竹原直道『日本

歯科医史学会々誌』29（4）300-301
 「静嘉堂文庫蔵平治物語絵巻の考察（抄）」西巻明彦，屋代正幸『日本歯科医史学会々誌』29（4）276-277
 「切手で迎える薬学の歴史（抄）」平林敏彦『日本医史学雑誌』58（1）104-105
 「絵画を中心とした歯科と麻酔の歴史（抄）」別部智司『日本歯科医史学会々誌』29（4）256-257
 「切手にみるシェイクスピアの作品と時代の病と生活習慣 1. プロローグ：作品誕生の時代背景」堀田饒『大塚薬報』（672）56-59
 「切手にみるシェイクスピアの作品と時代の病と生活習慣 2. 戯曲に登場する医師：趣向を凝らした役割」堀田饒『大塚薬報』（673）54-55
 「切手にみるシェイクスピアの作品と時代の病と生活習慣 3. 医学知識と医師像：ジョン・ホール医師の存在」堀田饒『大塚薬報』（674）54-57
 「切手にみるシェイクスピアの作品と時代の病と生活習慣 4. シェイクスピア時代のロンドン事情と疫病」堀田饒『大塚薬報』（675）50-53
 「切手にみるシェイクスピアの作品と時代の病と生活習慣 5. エリザベス朝の医療事情」堀田饒『大塚薬報』（676）50-53
 「切手にみるシェイクスピアの作品と時代の病と生活習慣 6. シェイクスピアの時代に跋扈した“いかがわしい医療”」堀田饒『大塚薬報』（677）56-59
 「切手にみるシェイクスピアの作品と時代の病と生活習慣 7. 調剤師とその特権：医薬分業」堀田饒『大塚薬報』（678）56-59
 「切手にみるシェイクスピアの作品と時代の病と生活習慣 8. 種々の病気とその特徴」堀田饒『大塚薬報』（679）58-61
 「切手にみるシェイクスピアの作品と時代の病と生活習慣 9. 病気診断の術」堀田饒『大塚薬報』（680）56-59
 「切手にみるシェイクスピアの作品と時代の病と生活習慣 10. 治療法そして良い医療」堀田饒『大塚薬報』（681）56-59

03 医学教育

- 「京城医学専門学校で学んだ日本人医師の証言」石田純郎『医学史研究』(94) 734-736
- 「京城医学専門学校の生徒と教授 prosopography (集団履歴調査法) 的検討」石田純郎『医学史研究』(94) 695-714
- 「医学教育 UP TO DATE 「日本における医学教育の歴史と展望」(抄)」井内康輝『医学教育』43 (1) 53
- 「【園医・学校医の役割】学校保健の歴史と変遷」衛藤隆『日本医師会雑誌』141 (7) 1471-1474
- 「わが国における養護教諭養成の歴史 初めて大学制度による養成を行った聖母女子短期大学」大谷尚子, 鈴木みゆき, 豊岡美智子『聖母大学紀要』(8) 7-15
- 「キンストレーキーその故郷と世界的流布について」篠原治道, 山本博『北陸医史』(34) 53 (A1)-47 (A7)
- 「福澤諭吉『学問のすゝめ』に学ぶ医学教育 明治期の私立医学校と慶應義塾出身名流列傳に見られた済生学舎長谷川泰(抄)」志村俊郎『医学教育』43 (Suppl.) 21
- 「中国の医療従事者の教育養成制度 中国看護師資格管理制度に関する歴史沿革及び現状」陳秀琴『日中医学』27 (3) 61-63
- 「ベルツ, スクリバによる日本医学育成と後世への影響」都築正和『黎明期の日本近代医学・薬学一日独交流150周年記念出版』38-52
- 「幻燈による医学教育」寺畑喜朔『北陸医史』(34) 13-14
- 「雑誌「信濃教育」における特別教育研究論文の変遷 長野県の特別教育研究の概要について(明治時代)(抄)」中嶋忍, 河合康『日本発達障害学会研究大会発表論文集』47回, 92
- 「日本大学医学部における26年間の医学教育セミナーとワークショップを振り返って」藤田之彦, 橋本修, 竹内仁, 相馬正義, 亀井聡, 相澤信, 片山容一『日大医学雑誌』71 (3) 184-189
- 「湯之児分校における院内教育の歴史的研究」宮部修一『水俣学研究』(4) 3-26

04 医学用語

- 「膏育の病の意義」遠藤次郎, 鈴木達彦『漢方の臨床』59 (2) 253-266
- 「『留真譜』の医部について(抄)」竹内尚『日本医史学雑誌』58 (2) 180
- 「『皇漢医学』における「鬱」の用法(抄)」大道寺慶子『日本医史学雑誌』58 (2) 221
- 「腓の語源について(9)」土屋涼一『胆と腓』33 (6) 537-544
- 「東洋医学用語としての「表」「外」, 「裏」「内」「中」」松岡尚則, 別府正志, 並木隆雄, 山口秀敏, 中田英之, 頼建守『漢方の臨床』59 (9) 1571-1589

05 医師会・学会

- 「英国薬理学会 過去, 現在, 未来(抄)(英文)」Webb David J.『臨床薬理』43 (Suppl.) S120
- 「アジア心身医学会(ACPM)の歴史, 現状と将来展望(英文)」Ishizu Hiroshi『Biopsychosocial Medicine』2012 (January) 1-6
- 「国際神経精神薬理学会議(CINP)の歴史 1958~2000」風祭元『日本神経精神薬理学雑誌』32 (4) 173-180
- 「公益社団法人「日本顎顔面インプラント学会」の前身 第1回「日本顎顔面臨床生態材料研究会」について—20年の発展の歴史(抄)」工藤逸郎, 三宅正彦, 見崎徹, 小室歳信, 金山利吉他14名『日本歯科医史学会々誌』29 (4) 285-286
- 「一般社団法人日本有病者歯科医療学会の21年の歩み(抄)」白川正順, 工藤逸郎, 瀬戸皖一, 宮田勝『日本歯科医史学会々誌』29 (4) 287-288
- 「日本ホスピス・在宅ケア研究会20年の歩み(抄)」大頭信義『ホスピスケアと在宅ケア』20 (2) 79
- 「『特別寄稿』日本泌尿器科学会100周年を迎えて—日本泌尿器科学会創設者 朝倉文三先生の足跡と学生名簿の謎—」保坂義雄『日本医史学雑誌』58 (1) 59-65
- 「第20回日韓東洋医学シンポジウム」松岡尚則,

- 頼建守，山口秀敏，笛木司，並木隆雄『日本医史学雑誌』58(4) 513-514
- 「日本乳癌検診学会の歴史」森本忠興『日本乳癌検診学会誌』21(1) 41-46
- 「日本歯科口腔科学会設立の経緯 創立総会議事録（大正8年）資料から（抄）」山口秀紀，石橋肇，加來洋子，渋谷鉦『日本歯科医師会雑誌』65(5) 646
- 06 医史学一般**
- 「神農伝説成立の経緯の考察（抄）」岩間眞知子『日本医史学雑誌』58(2) 233
- 「『20世紀のある医師たちの記録』追記 「大逆事件」についての機密書類」上野陽里『医学史研究』(94) 38-39
- 「江戸時代の「被膜胎」をめぐる社会文化（抄）」内野花『日本医史学雑誌』58(2) 179
- 「明治期におけるドイツ医学の受容と普及」吉良枝郎『通信医学』64(1) 3-16
- 「富士川游 “醫箴” “醫五不可” の心を現代医療に役立てる」桑原正彦『日本医史学雑誌』58(3) 489-490
- 「『かなめいし』の中の身体に関する語（抄）」計良吉則『日本医史学雑誌』58(2) 232
- 「『転機』を超え，今に生きる医史を（抄）」小出五郎『日本医史学雑誌』58(2) 135-136
- 「イラストでよみがえる大陸の医聖たち 第1回 神農（生没年不詳）」小曾戸洋『医道の日本』71(1) 8-9
- 「イラストでよみがえる大陸の医聖たち 第2回 黄帝（生没年不詳）」小曾戸洋『医道の日本』71(2) 8-9
- 「イラストでよみがえる大陸の医聖たち 第3回 扁鵲（生没年不詳）」小曾戸洋『医道の日本』71(3) 8-9
- 「イラストでよみがえる大陸の医聖たち 第4回 華佗（2世紀末～3世紀初頭）」小曾戸洋『医道の日本』71(4) 8-9
- 「イラストでよみがえる大陸の医聖たち 第5回 郭玉（1世紀）」小曾戸洋『医道の日本』71(5) 8-9
- 「イラストでよみがえる大陸の医聖たち 第6回 張仲景（2世紀中頃～3世紀前半）」小曾戸洋『医道の日本』71(6) 8-9
- 「イラストでよみがえる大陸の医聖たち 第7回 葛洪（283～373あるいは363年とも）」小曾戸洋『医道の日本』71(7) 8-9
- 「イラストでよみがえる大陸の医聖たち 第8回 孫思邈 581年（509, 516, 541などとも）～682年」小曾戸洋『医道の日本』71(8) 8-9
- 「イラストでよみがえる大陸の医聖たち 第9回 王惟一 生没年不詳（10世紀末-11世紀後半）」小曾戸洋『医道の日本』71(9) 8-9
- 「イラストでよみがえる大陸の医聖たち 第10回 滑伯仁 生没年不詳（14世紀，元末明初）」小曾戸洋『医道の日本』71(10) 8-9
- 「イラストでよみがえる大陸の医聖たち 第11回 張介賓（1563～1640）」小曾戸洋『医道の日本』71(11) 8-9
- 「イラストでよみがえる大陸の医聖たち 最終回 皇甫謐（215～282）」小曾戸洋『医道の日本』71(12) 8-9
- 「アドレナリンとエフェドリンの交差点 上中啓三 急性期医療を担う医師が知るべき医学史上の偉人」齋藤繁『日本臨床麻酔学会誌』32(4) 573-581
- 「五臓六腑から現代医学へ 第1回 脾臓と腎」酒井シヅ『エイジングアンドヘルス』(61) 36-37
- 「五臓六腑から現代医学へ 第2回 脳と神経，腹と経絡」酒井シヅ『エイジングアンドヘルス』(62) 36-37
- 「五臓六腑から現代医学へ 第3回 「こころ」と「精神」の居場所」酒井シヅ『エイジングアンドヘルス』(63) 36-37
- 「医療史回り舞台 平重盛の死因は胃がん？」篠田達明『整形・災害外科』55(7) 894
- 「医療史回り舞台 ツタンカーメン王 早逝の謎」篠田達明『整形・災害外科』55(11) 1437
- 「医療史回り舞台 慢性消化器症状に悩まされた大岡越前守」篠田達明『整形・災害外科』55(12) 1563

- 「フーコーの「性の歴史」に見るセクシュアリティの歴史の変遷」篠原百合子, 山口恵, 赤荻純子, 木村正江『性とところ』4(2) 120-127
- 「緒方洪庵と適塾に宿るフーフェラントの精神—日独交流150周年をふりかえって—(抄)」鈴木重統『日本医史学雑誌』58(2) 161
- 「フーフェラントの倫理感と揺籃期の日独医学交流(抄)」鈴木重統『看護総合科学研究会誌』14(1) 45
- 『続日本紀』『日本後紀』にみる奈良時代から平安時代初期における自殺事例(抄) 鈴木英鷹『精神神経学雑誌』(2012 特別) S-428
- 『続日本後紀』にみる医学記事について 鈴木英鷹『大阪河崎リハビリテーション大学紀要』6, 81-100
- 『日本文徳天皇実録』にみる平安時代初期の医療福祉 鈴木英鷹『帝塚山学院大学人間科学部研究年報』(14) 31-45
- 「明治初期におけるドイツ医学導入の経過 相克と決断, 1869(明治2)年 私のドイツ留学体験記を含めて」詫摩武英『黎明期の日本近代医学・薬学—日独交流150周年記念出版』29-37
- 「創刊期の「診断と治療」にみる大正医学」永井良三『診断と治療』100(1) 1-23
- 「醒ヶ井の湧水と古代医療(抄)」西巻明彦『日本歯科医史学会々誌』29(4) 266
- 「皇統の危機はいまに始まったことではない—明治天皇皇子女の夭折問題」深瀬泰旦『川崎市小児科医会会誌』(44) 5-26
- 「わが国の障害者スポーツの歴史の変遷とその特徴(抄)」藤田紀昭『リハビリテーションスポーツ』31(1) 32
- 「ある若き研究者の手紙」細川汀『医学史研究』(94)
- 「江戸東京医史学散歩」とGoogleマイマップ(抄) 堀江幸司『医学情報サービス研究大会抄録集』29回, 31
- 「時間生物学の歴史 世界編」本間研一『時間生物学』18(1) 36-39

07 医の倫理

- 「「バイオエシックス」の誕生前後と前半期の回顧と覚え書き」石渡隆司『セミナー医療と社会』(39) 29-43
- 「精神科臨床倫理の変遷と脳神経倫理学」今村攻, 美馬達哉『臨床評価』39(3) 641-647
- 「【医師の倫理・資質向上に向けて】医の倫理の変遷 世界医師会の取り組みから」畔柳達雄『日本医師会雑誌』140(12) 2526-2530
- 「ヘルシンキ宣言の過去と現在 ヘルシンキ宣言の歴史 過去及び現在(抄)」畔柳達雄『臨床薬理』43(4) 245-246
- 「医療訴訟にならないために医療倫理を学ぶ 医療倫理の歴史(抄)」宮坂道夫『日本心血管インターベンション治療学会誌』4(Suppl. 2) 382

08 医療器械

- 「Tradition and Innovation-Medical Instruments in Edo and Meiji Japan 伝統と革新—江戸・明治期の日本における医科器械(英文)」ヴォルフガング・ミヒェル『International Symposium on the History of Indigenous Knowledge2012』61-67
- 「交見室 わが国の第1号膀胱鏡を訪ねて」岡田淳志『臨床泌尿器科』66(2) 174-177
- 「基本の総ざらい CT CTの基本と歴史(抄)」片田和広『日本画像医学雑誌』30(1) 29
- 「眼科手術器具の変遷について(抄)」園田真也『日本医史学雑誌』58(2) 201
- 「眼科手術用鑷子の発達経過について」園田真也『医譚』(113) 6751-6756
- 「文献にみる砥石—医療器械の研磨に使用された砥石—」高岡真美『日本医史学雑誌』58(1) 67-74
- 「消化器内視鏡の歴史と今後の展望」田尻久雄, 穂苅厚史『松仁会医学誌』51(1) 1-8
- 「交見室 わが国の第1号膀胱鏡に関する疑問」三木誠『臨床泌尿器科』66(1) 86-87
- 「【呼吸器離脱】標準的な人工呼吸器離脱 歴史, 方法 SBTの技術的側面」安田英人『Intensivist』4(4) 639-652
- 「工学的にみたストーマ装具の歴史と将来展望

- (抄) 吉川隆造『日本ストーマ・排泄リハビリテーション学会誌』28(1) 130
- 「伝統と革新—江戸・明治期の日本における医科器械」ヴォルフガング・ミヒェル『ISHIK』61-67
- 09 医療制度史・医療史**
- 「日本医科大学武蔵小杉病院の血液浄化の歴史と最近の医療 31年間の医療（英文）」Sakai Yukinao, Kadomatsu Yutaka, Sakai Saori, Otsuka Tomoyuki, Ohno Dai, Murasawa Tsuneo, Sato Naoki, Mizuno Kyoichi『Journal of Nippon Medical School』79(5) 357-361
- 「鶴見三三教授と国際聯盟保健委員会報告（抄）」青木國雄『日本医史学雑誌』58(2) 207
- 「医薬分業の進展を医療薬学で捉える（抄）」赤木佳寿子『社会薬学』31(2) 84-86
- 「中国医療保険制度の過去・現在・未来（抄）」飯島渉『民族衛生』78(第77回日本民族衛生学会総会講演集) 39-40
- 「書き変えられた「癩予防法」改正案—全患協運動の一場面を描くための、適した表現方法の選択として—」稲葉上道『国立ハンセン病資料館研究紀要』(3) 84(1)-77
- 「Well-beingの追求と健康政策 歴史と21世紀の公衆衛生像を見据えて」岸玲子 [金堂]『日本公衆衛生学会総会抄録集』71回, 54-55
- 「【難病者支援の課題と展望】難病患者支援の歴史的経緯」厚生労働省健康局疾病対策課『ノーマライゼーション：障害者の福祉』32(7) 10-13
- 「弘前藩江戸藩邸における死者とその扱い（下）」篠村正雄『弘前大学国史研究』(132)
- 「占領期の日本におけるGHQ/SCAP/PHWの組織と職員の変遷に関する考察（第2報）（抄）」杉田聡, 田中誠二, 丸井英二『民族衛生』78(第77回日本民族衛生学会総会講演集) 124-125
- 「占領期の日本におけるGHQ/SCAP/PHWの組織と職員の変遷に関する考察（抄）」杉田聡, 田中誠二, 丸井英二『日本医史学雑誌』58(2) 192
- 「1960年代の重度身体障害者運動—国立身体障害センター・医療問題闘争を事例に一」鈴木雅子『歴史学研究』(889)
- 「緊急安全性情報の歴史（抄）」高橋春男『薬史学雑誌』47(2) 162
- 「占領期における日本の看護改革—保健婦助産婦看護婦法改正をめぐる—（抄）」田中幸子『日本医史学雑誌』58(1) 106-107
- 「〔総説〕日本の癩（らい）対策はなぜここまで進められたのか」成田稔『国立ハンセン病資料館研究紀要』(3) 1-16
- 「日本の監察医制度 その歴史，機能と将来展望（抄）」福永龍繁『犯罪学雑誌』78(6) 176
- 「関東大震災時における宮内省巡回救療班の活動について（1）」堀口修『大倉山論集』(58)
- 「皆保険夜話 国保の来し方行く末（13）戦後の農村医療を守った人たち」前田信雄『社会保険旬報』(2482) 32-35
- 「皆保険夜話 国保の来し方行く末（14）戦後の国保再建に向けて」前田信雄『社会保険旬報』(2485) 36-39
- 「皆保険夜話 国保の来し方行く末（15）占領下の社会保険改革（上）」前田信雄『社会保険旬報』(2488) 28-31
- 「皆保険夜話 国保の来し方行く末（16）占領下の社会保険改革（下）」前田信雄『社会保険旬報』(2491) 34-37
- 「皆保険夜話 国保の来し方行く末（17）ワンデル勧告に反対した米国医師会」前田信雄『社会保険旬報』(2494) 34-37
- 「皆保険夜話 国保の来し方行く末（18）ベヴァリッジ勧告の意義と人となり」前田信雄『社会保険旬報』(2497) 22-25
- 「皆保険夜話 国保の来し方行く末（19）大内勧告の意義と残された宿題」前田信雄『社会保険旬報』(2500) 28-31
- 「皆保険夜話 国保の来し方行く末（20）岩手全県皆保険のリーダーたち」前田信雄『社会保険旬報』(2503) 22-25
- 「皆保険夜話 国保の来し方行く末（21）国保10割給付が投じた波紋」前田信雄『社会保険旬報』(2506) 30-33

- 「皆保険夜話 国保の来し方行く末(22) 皆保険前夜の広域国保」前田信雄『社会保険旬報』(2509) 26-29
- 「皆保険夜話 国保の来し方行く末(23) 国保直営病院づくりの歩み」前田信雄『社会保険旬報』(2512) 22-25
- 「皆保険夜話 国保の来し方行く末(24) 皆保険前夜に描く国保の行く末」前田信雄『社会保険旬報』(2515) 38-41
- 「【国民皆保険制度の現在と未来】国民皆保険制度50周年を迎えて」矢崎義雄『医薬ジャーナル』48(9) 2153-2155
- 「【学習で運動の前進を!】日本医労連の歴史とこれからの課題 現在の情勢, 医療状況, 今後の取り組みについて」山田真巳子『医療労働』(547) 3-11
- 「大正11年制定の健康保険法とその施行の遅延について(抄)」渡部幹夫『民族衛生』78(第77回日本民族衛生学会総会講演集) 46-47
- 「日本の医療保障制度と医療思想の歴史的研究(抄)」渡部幹夫, 福田洋, 田中誠二, 鈴木晃仁『医療看護研究』9(1) 22-23
- 「【診療録】今昔(抄)」和田源司, 小曾戸洋, 天野陽介, 渡辺浩二, 寺澤捷年『神奈川医学会雑誌』39(2) 210-211
- 10 衛生・公衆衛生史・予防医学史**
- 「【日本の保健医療社会学の過去・現在・未来】のための覚書(第1報) 前史と批判を含む概観(抄)」姉崎正平, 山崎喜比古, 横山由香里『保健医療社会学論集』23(特別) 39
- 「【これからの地域精神保健: 大震災の経験から学ぶ】(第1章) 総論 住民の心の健康を支える地域精神保健 地域精神保健の歴史と現状」江畑敬介『精神科臨床サービス』12(2) 154-159
- 「日本における学校福祉行政施策の展開に関する歴史的研究 京都市教育委員会「生徒福祉課」の設立と学校福祉実践との関連をめぐって」大崎広行『目白大学総合科学研究』(8) 11-26
- 「渡辺清絵日記に見る明治期の農村の医療衛生事情(抄)」岡一雄, 戸村光宏『日本医史学雑誌』58(2) 198
- 「【感染管理と地域医療連携】感染管理における地域医療連携の歴史」金光敬二『感染対策ICTジャーナル』7(3) 181-186
- 「明治時代の英語学習書にみられる喫煙/禁煙についての記述」川根博司, CapperSimonG.『日本禁煙学会雑誌』7(2) 47-53
- 「明治・大正期の看護教科書における喫煙/禁煙についての記述」川根博司, 渡辺さゆり, 竹下直子『日本禁煙学会雑誌』7(4) 116-122
- 「【医学教育と公衆衛生学】わが国の公衆衛生学教育の歴史的概観と課題」實成文彦『医学教育』43(3) 156-170
- 「真下飛泉「学校及家庭用叙事唱歌」に垣間見る日露戦争時の衛生事情」菅修一『医学史研究』(94) 43-49
- 「【学校保健】学校心臓検診」鈴木忠義『予防医学』(54) 25-32
- 「【学校保健】神奈川学校保健研究会の歩みと活動」鈴木晴美, 高田和子, 山口京子『予防医学』(54) 85-93
- 「農村保健の原点をさぐる 戦時下成瀬村の農業労働調査所と農村保健調査所について(抄)」須田秀俊, 横山孝子『日本農村医学会雑誌』61(3) 417
- 「【介護福祉学】の構築に向けて 先駆者が紡いだ介護福祉学の歴史を顧みる」瀧波順子『介護福祉学』19(2) 180-186
- 「衛生博覧会の歯科展示(抄)」竹原直道『日本歯科医史学会々誌』29(4) 282-283
- 「安全衛生保護具開発の歴史と展望」田中茂『産業医学レビュー』25(3) 169-186
- 「東海銀行における精神健康対策の歴史(抄)」寺澤哲郎『産業衛生学雑誌』54(5) 184
- 「予防先進国: 日本で生まれた人間ドックの歴史(抄)」奈良昌治『日本臨床細胞学会雑誌』51(Suppl. 1) 114
- 「【学校保健】神奈川県学校・腎疾患管理研究会37年の歴史と今後の展望」新村文男『予防医学』(54) 95-99
- 「近世後期の秋田院内银山における医療環境一

- 『門屋養安日記』を手がかりとして—（抄）藤本大士『日本医史学雑誌』58（2）184
- 「【医学教育と公衆衛生学】Public Healthと公衆衛生学」丸井英二『医学教育』43（3）147-150
- 「【学校保健】寄生虫検査」森雄一『予防医学』（54）9-17
- 「昭和22年刊「公衆衛生叢書全7輯」について（抄）」渡部幹夫『日本医史学雑誌』58（2）191

11 解剖学史

- 「ヴェサリウス『ファブリカ』の筋肉人図における人体表現の形態学的分析」阿久津裕彦，澤井直，坂井建雄『順天堂医学』58（2）151-160
- 「樹状細胞発見の歴史と研究の展開」稲葉カヨ『感染・炎症・免疫』41（4）300-311
- 「江戸後期に見る解剖観について」潮田恒明『日本社会史研究』（100）21-28
- 「松果体研究史，考察と発展 1954年まで」加地隆『弘前医療福祉大学紀要』3（1）1-8
- 「人体観の変遷 脳の働きをめぐる（抄）」坂井建雄『日本神経心理学会総会プログラム・予稿集』36回，53
- 「ガスパール・ボアの人体構造の記述における命名法と分類法（抄）」澤井直『日本医史学雑誌』58（2）153
- 「緒方惟準による解剖学講義ノートについて（抄）」島田和幸『日本医史学雑誌』58（2）163
- 「リンパ系のマクロ解剖研究 描出方法に関する歴史的考察」須網博夫『リンパ学』35（2）94-97
- 「【病理解剖マニュアル】（第5部）病理解剖をめぐる 病理解剖の歴史」難波紘二『病理と臨床』30（臨増）302-308
- 「Ibn Nafisは人体解剖をしたか？（抄）」藤倉一郎『日本医史学雑誌』58（2）152

12 眼科史

- 「角膜移植の歴史」上松聖典，横倉俊二，津田聡，千葉真生，津田知世子，西田幸二『眼科』54（13）1915-1927
- 「京上方の医療と医学の歴史 中世から近世へ

- 京の典医・民間医・眼科専門医の生業から見えてくるもの『医学天正記』・「言継卿記」・「馬嶋流眼科秘伝書」から（抄）」奥沢康正『日本東洋医学雑誌』63（別冊）94
- 「検査がもっと深くなる！ そ～だったのか目トセトラ（第31回）【番外編2】屈折矯正手術を考えるために歴史をひもとく」佐渡一成『眼科ケア』14（4）376-378
- 「眼底レーザー光凝固治療の歴史と五大疾患の治療戦略（抄）」戸張幾生『神奈川医学会雑誌』39（1）41-42
- 「江戸時代に近視はいなかったのか 眼鏡が描かれた絵から近視を考える（抄）」森田嘉樹『眼科臨床紀要』5（3）284

13 看護史

- 「【医療と平和】日赤従軍看護婦の歴史と教訓 看護職は，平和な暮らしのなかでこそ！ 戦場の血で白衣を汚してはならない」太田千枝子『医療労働』（548）3-9
- 「看護のあゆみ—トレインドナース 大関和—（抄）」加藤光寶『日本医史学雑誌』58（2）137-138
- 「女性看護師の初穂—壬生養生局からトレインドナース大関和—（抄）」加藤光寶『日本医史学雑誌』58（2）144
- 「初学者のための『看護覚え書』 看護の現在をナイチンゲールの原点に問う」神庭純子『総合看護』47（2）17-24
- 「看護の真価を進化させる道」川嶋みどり『高知大学看護学会誌』6（1）7-19
- 「明治期における日本赤十字社京都支部の看護婦養成と派出看護活動 京都支部選出看護婦「高木ハル」の個人史から」川原由佳里，鷹野朋実，山崎裕二，高橋朋子，吉川龍子，川嶋みどり『日本看護歴史学会誌』（25）58-73
- 「看護の技を支える用具の変遷 医療機器・看護用具の開発にみる看護技術の歴史（抄）」川原由佳里『日本看護技術学会誌』11（1）19-20
- 「第二次世界大戦における日本赤十字社救護看護婦の活動—ビルマ派遣の救護班に焦点を当

- てて一(抄)川原由佳里『日本医史学雑誌』58(2)189
- 「日本初の女性看病人誕生の背景—戊辰戦争時壬生の看病人—(抄)」日下修一『日本医史学雑誌』58(2)187
- 「【災害医療】災害と看護ケア 災害看護の歴史と展望」草刈淳子『Dokkyo Journal of Medical Sciences』39(3)279-282
- 「我が国の小児看護の成立をめぐって 看護におけるケアとともにある子どもの復権」草場ヒフミ『南九州看護研究誌』10(1)1-8
- 「【看護における社会的アプローチと実践】(第2章)「社会」へのアクション これからの社会と看護・医療の関係を考える 障害や疾患をもつ医療従事者の歴史と展望」栗原房江『インターナショナルナーシングレビュー』35(3)154-161
- 「下田歌子と看護学の接点 女子教育にみる「看護学」の位置づけ(抄)」上坂良子『医譚』(112)6601-6602
- 「近代看護婦は終末期看護をどうとらえていたか(第1報)—8人が著した看護書から—(抄)」上坂良子, 水田真由美, 松本知子『日本医史学雑誌』58(2)190
- 「別府市産婆会記録からみる昭和14年から20年の助産活動(抄)」児玉さつき, 瀬崎綾乃, 吉留厚子『母性衛生』53(3)305
- 「看護倫理に関する歴史的概観」小林道太郎, 竹村淳子, 真継和子, 山内栄子, 太田名美『大阪医科大学看護研究雑誌』2, 60-67
- 「晩年の存覚と『看病用心鈔』の書写」小山聡子『日本医史学雑誌』58(3)373-383
- 「日本の看護における「安楽」の歴史的起源」佐居由美『日本看護歴史学会誌』(25)85-98
- 「アメリカ近代における看護教育の成立過程に関する史的考察 19世紀後半(創始期)の動向に焦点をあてて」佐藤公美子, 奥宮暁子, 城丸瑞恵『札幌保健科学雑誌』(1)55-61
- 「日本の看護教育創設期の教員にみる, 公衆衛生看護教育の芽(抄)」佐藤祐子, 中山久子『日本看護科学学会学術集会講演集』32回, 529
- 「近世産育書における胎毒とその看護『柏崎日記』を手がかりに」島野裕子『日本看護歴史学会誌』(25)74-84
- 「欧米諸国の看護婦の紹介記録の歴史を辿る—幕末から明治初年—(抄)」鈴木紀子『日本医史学雑誌』58(2)188
- 「歴史から紐解く看護技術(第13回) 清潔ケア 日本の石鹸の始まりは下剤」鈴木紀子『看護技術』58(1)79-81
- 「歴史から紐解く看護技術(第14回) 口腔ケア 釈迦が伝えた歯磨き習慣」鈴木紀子『看護技術』58(2)168-170
- 「歴史から紐解く看護技術(第15回) 洗髪ケア 虱の有無も観察する「結髪」の技術」鈴木紀子, 看護史研究会『看護技術』58(3)257-260
- 「歴史から紐解く看護技術(第16回) 吸入療法と酸素療法 家庭婦人の教養「マスク」」鈴木紀子, 看護史研究会『看護技術』58(4)62-64
- 「歴史から紐解く看護技術(第17回) 看護婦の職務 制服によるペルソナの獲得」鈴木紀子, 看護史研究会『看護展望』37(6)0574-0577
- 「歴史から紐解く看護技術(第18回) 漢字も読み方も難しい明治末期の看護婦用語」鈴木紀子, 看護史研究会『看護展望』37(7)0664-0667
- 「歴史から紐解く看護技術(第19回) 治療介輔法の一つ, 水蛭療法 ヒルが主役の先進医療」鈴木紀子, 看護史研究会『看護展望』37(8)0744-0747
- 「歴史から紐解く看護技術(第20回) 浣腸器の始まりは竹製水鉄砲」鈴木紀子『看護展望』37(9)0842-0845
- 「歴史から紐解く看護技術(第21回) 血圧と脈拍測定 心臓収縮圧は「トン・ズー」音」鈴木紀子『看護展望』37(10)0932-0936
- 「歴史から紐解く看護技術(第22回) 看護法の最も肝要な規則 環境」鈴木紀子『看護展望』37(11)1028-1032
- 「歴史から紐解く看護技術(第23回) 文明開化 百科事典が広めた人工呼吸法」鈴木紀子『看護展望』37(12)1104-1108
- 「歴史から紐解く看護技術(第24回)(最終回)

- トラコーマによる失明から学童を救った学校看護婦」鈴木紀子『看護展望』37(13) 1192-1196
- 「別府市産婆会・助産婦部会記録からみる戦後の助産活動（抄）」瀬崎綾乃，児玉さつき，吉留厚子『母性衛生』53(3) 305
- 「占領期の看護技術教育 占領期に使用されたテキストの分析を通して」滝内隆子，大津廣子，伊藤友美『日本看護歴史学会誌』(25) 40-57
- 「病院におけるベッドの歴史の変遷と看護技術の変化に関する文献的考察（抄）」谷岸悦子『日本看護科学学会学術集会講演集』32回，529
- 「戦後沖縄の看護歴史から学ぶこと 戦後から日本復帰までの看護制度と教育」仲里幸子『日本看護歴史学会誌』(25) 1-5
- 「農村保健婦指導者高橋政子の足跡と成瀬村での活動の評価からみえる公衆衛生看護の理念（抄）」名原壽子『日本農村医学会雑誌』61(3) 416
- 「看護史学習プランとしての看護史100話」野村拓『医史学研究』(94) 26-34
- 「看護史補強あ・ら・かると（最終回）史的ナビゲーション」野村拓『看護実践の科学』37(1) 84-85
- 「洗浴に関する伝説と看護（抄）」平尾真智子『医譚』(112) 6600-6601
- 「『看病手引歌』（文政10年刊）にみる仏教思想に基づく看護（抄）」平尾真智子，中村節子『日本医史学雑誌』58(2) 186
- 「【学問としての在宅看護論の確立へ】学問としての在宅看護の歴史と未来」本田彰子，栗本一美，炭谷靖子『看護教育』53(9) 752-758
- 「日本の救急看護（医療）の過去・現在・未来」松月みどり『日本救急看護学会雑誌』14(1) 28-32
- 「北海道開拓と拓殖産婆（第一・二報）（抄）」宮本涼子，前田尚美，須藤桃代，高橋弘子『日本助産学会誌』25(3) 179, 180
- 「看護系大学における解剖生理学（形態機能学）教育の歴史的变化と今後の課題（抄）」安田みなみ，大久保暢子『日本看護技術学会学術集会講演抄録集』11回，161
- 「Scramble Zone『三重の看護史 昭和から平成への軌跡』編集・発行と「看護博物館」開設 三重県立看護大学開学15周年記念事業から」山口和世『看護教育』53(9) 792-796
- 「1970年代の胎児性水俣病患者への訪問活動と公衆衛生看護（抄）」山口忍『民族衛生』78(第77回日本民族衛生学会総会講演集) 122-123
- 「マリアの宣教者フランシスコ修道会の宣教活動と看護教育との関連」和田サヨ子『聖母大学紀要』(8) 1-5

14 寄生虫学史

- 「【オピストルキス症と肝吸虫症 ユーラシア大陸でほとんど知られていない主要な熱帯病】肝吸虫症 日本の寄生虫学者の貢献に関する歴史的レビュー（英文）」Yoshida Yukio『Parasitology International』61(1) 5-9
- 「寄生虫疾患 感染者の数は少ないが軽視できない感染症 古くから日本に存在し近年も感染者がみられる寄生虫症」大西健児『感染症』42(6) 237-241, 231-234

15 教室・大学史

- 「『幻灯による映像教育』への追加論文 石川県専門学校の幻燈機とスライド」板垣英治『北陸医史』(34) 15-17
- 「金沢医学所でのタンパク質と酵素の講義（抄）」板垣英治『生化学』84(7) 603
- 「獨逸学協会学校の転換—法律学校から医学予備門へ—（抄）」新宮讓治『日本医史学雑誌』58(2) 133-134
- 「試論 九州歯科大学百年史（抄）」竹原直道『日本歯科医師会雑誌』65(5) 646
- 「獨協医科大学の「温故知新」（抄）」寺野彰『日本医史学雑誌』58(2) 131-132
- 「済生学舎廃校宣言に到るまでの長谷川泰に対する山県有朋の政治的圧力（抄）」殿崎正明，唐沢信安，山本鼎，幸野健，志村俊郎『日本医史学雑誌』58(2) 164
- 「東京慈恵会医科大学創立130年を記念して 東京慈恵会の成立を探る それを支えた慈恵・維

- 新の志士達」中山和彦『東京慈恵会医科大学雑誌』127(5)179-202
- 「占領期の特設旧制高校, 東洋高等学校(理科乙類)(1)(抄)」永沢欣久『日本歯科医史学会々誌』29(4)270-271
- 「廃校寸前となった日本医学専門学校の学校騒動への山県有朋・入沢達吉等の圧力(抄)」山本鼎, 唐沢信安, 殿崎正明, 幸野健, 志村俊郎『日本医史学雑誌』58(2)166
- 「京城帝国大学医学部神経科精神科教室の歴史経緯と研究内容(抄)」李創鎬『こころと文化』11(2)199
- 16 軍陣医学史**
- 「日露戦争期の広島予備病院の患者を取り巻く環境—本院と分院の比較—(抄)」坂村八恵, 岡本裕子, 隅田寛, 千田武志『日本医史学雑誌』58(2)197
- 「731部隊関係者等の京都大学医学博士論文の構成」西山勝夫『15年戦争と日本の医学医療研究会会誌』13(1)9-40
- 「第七三一部隊牡丹江支部遺跡調査報告」楊彦君, 魯丹『15年戦争と日本の医学医療研究会会誌』13(1)1-8
- 18 外科史**
- 「移植 過去, 現在, 未来(抄)(英文)」Eriksson Elof『日本創傷治療学会プログラム・抄録集』42回, 45
- 「凍結外科手術の歴史(抄)(英文)」Sumida Sajio『低温医学』38(2)48
- 「Halsted手術の原典」(本誌74巻7号752-756頁)に関連して(抄)泉雄勝, 國土典宏『外科』74(11)1206-1207
- 「外科学の古典を読む[第18回] Klatskin腫瘍(肝門部胆管癌)の原典」大道清彦, 國土典宏『外科』74(6)652-656
- 「外科学の古典を読む[第14回] Hartmann手術の原典」小川真平, 亀岡信悟『外科』74(2)199-201
- 「関節鏡と膝関節外科の歴史そして今(抄)」越智光夫『JOSKAS』37(4)4
- 「外科学の古典を読む[第24回] 肝再生因子(hepatotrophic factor)の原典 Starzl part 2」金子順一, 國土典宏『外科』74(13)1513-1517
- 「低侵襲手術の潮流 脳神経外科における神経内視鏡手術の発展(抄)」喜多村孝幸『日本医科大学医学雑誌』8(1)61
- 「外科学の古典を読む[第23回] 免疫抑制薬 cyclosporin Aの原典」國土典宏『外科』74(11)1201-1206
- 「外科学の古典を読む[第15回] Child-Pugh分類の原典 第1回 オリジナルのChild分類」國土典宏, 宮田陽一『外科』74(3)284-288
- 「外科学の古典を読む[第16回] Child-Pugh分類の原典(第2回) Pughによる改良」國土典宏, 宮田陽一『外科』74(4)402-406
- 「当院における漏斗胸手術の歴史と治療成績(抄)」近藤知史『Nagoya Medical Journal』52(2)160-161
- 「名古屋市立大学病院における漏斗胸手術 歴史と治療成績」近藤知史『Nagoya Medical Journal』52(2)143-151
- 「【頭蓋縫合早期癒合症と頭蓋顎顔面外科】頭蓋縫合早期癒合症 異常形態形成のメカニズム その歴史と著者らのあらたな理論」坂本好昭, 中嶋英雄『医学のあゆみ』240(8)627-631
- 「外科学の古典を読む[第22回] 肝右葉切除の原典[第2回] Lortat-Jacobによる世界最初の肝右葉切除の報告」阪本良弘, Flores Francisco, 國土典宏『外科』74(10)1096-1099
- 「外科学 温故知新」佐藤裕, 兼松隆之『臨牀と研究』89(9)1282-1286
- 「外科学の古典を読む[第17回] Mallory-Weiss症候群の原典」島田謙, 相馬一玄『外科』74(5)542-545
- 「外科学の古典を読む[第20回] Boerhaave症候群の原典」島田謙, 相馬一玄『外科』74(8)850-854
- 「肺癌に対する縮小手術のEvidence 癒痕瘍から歴史的な縮小手術の第三相試験まで」鈴木健司『肺癌』52(2)182-189

- 「【食道癌・胃癌切除後の再建法を見直す—達人の選択】再建法の歴史的変遷と現状」瀬戸泰之『臨床外科』67(12)1354-1357
- 「外科学の古典を読む〔第19回〕Halsted手術の原典」多田敬一郎『外科』74(7)752-756
- 「心臓外科の歴史と21世紀の展望 心臓血管病克服への挑戦」田中啓之『久留米医学会雑誌』75(5-6)217-224
- 「下垂体外科の歴史と展望(抄)」寺本明『日本内分泌学会雑誌』88(1)134
- 「初心者のための心臓外科(第1回) 心臓外科の歴史とアイデア」三原吉平, 金本勇『Veterinary Circulation』1(1)104-111
- 「外科学の古典を読む〔第21回〕肝右葉切除の原典〔第1回〕京都大学・本庄による世界最初の肝右葉切除成功例(本誌74:971-974, 2012)について」水本龍二, 阪本良弘, 國土典宏『外科』74(13)1518-1519
- 「外科学の古典を読む〔第21回〕肝右葉切除の原典〔第1回〕京都大学・本庄による世界最初の肝右葉切除成功例」山下俊, 阪本良弘, 國土典宏『外科』74(9)971-974
- 「肝切除をめぐる歴史と術式の開拓・変遷(抄)」山本雅一『日本肝胆膵外科学会・学術集会プログラム・抄録集』24回, 152
- 「脳神経外科手術手技に関する私見とその歴史的背景 Microneurosurgery と PET scan —脳神経外科医の経験から」米川泰弘『Neurological Surgery』40(9)823-846
- 「脳神経外科手術手技に関する私見とその歴史的背景 モヤモヤ病」米川泰弘『Neurological Surgery』40(1)67-87
- 19 細菌学史**
- 「臨床微生物学の「礎」を築いた人々—気道関連の微生物研究に携わった研究者達の技術と思索—Richard Pfeiffer と Shibasaburo Kitasato (その2)」紺野昌俊『モダンメディア』58(2)58-63
- 「臨床微生物学の「礎」を築いた人々—気道関連の微生物研究に携わった研究者達の技術と思索— Group of Hemoglobinophilic bacteria」紺野昌俊『モダンメディア』58(3)96-101
- 「臨床微生物学の「礎」を築いた人々—気道関連の微生物研究に携わった研究者達の技術と思索—9~12 血液含有培地導入前後における肺炎球菌とレンサ球菌(その1-4)」紺野昌俊『モダンメディア』58(4-7)127-132, 159-165, 190-196, 221-226
- 「臨床微生物学の「礎」を築いた人々—気道関連の微生物研究に携わった研究者達の技術と思索—13~15 血液含有培地導入前後における肺炎球菌とレンサ球菌(その7)」紺野昌俊『モダンメディア』58(8-10)253-258, 292-298, 316-323
- 「臨床微生物学の「礎」を築いた人々—気道関連の微生物研究に携わった研究者達の技術と思索—16-17 インフルエンザ菌とスペイン風邪(Spanish flu)(その1-2)」紺野昌俊『モダンメディア』58(11-12)342-348, 372-378
- 「志賀毒素産生性大腸菌の疫学」西川禎一, 王麗麗『日本食品微生物学会雑誌』29(3)141-154
- 「生物工学基礎講座 バイオよもやま話 大腸菌研究の歴史」森浩禎『生物工学会誌』90(10)643-648
- 20 産婦人科史**
- 「【不妊と周産期医療】不妊治療の歴史と未来」苛原稔『周産期医学』42(8)959-962
- 「本邦初の帝王切開術と伊古田純道(抄)」大河原晃『日本柔道整復接骨医学会誌』20(5)319
- 「【婦人科がん—最新の研究動向—】婦人科がん概論 がん登録の歴史と現況」笠松高弘『日本臨床』70(増刊4 婦人科がん)29-33
- 「【不妊症治療—現状の課題と将来への展望—】不妊症治療の歴史 不妊症治療から予防までの流れ」久保春海『母子保健情報』(66)1-4
- 「14世紀から17世紀ヨーロッパにおける産婆と医師の変遷」近藤さおり『奈良県母性衛生学会雑誌』(25)14-16
- 「【不妊症治療—現状の課題と将来への展望—】不妊症治療の歴史 わが国における生殖補助医療

- (ART)の現状」齊藤英和『母子保健情報』(66) 13-17
- 「母と子の命の絆〈第1-2回〉日本における帝王切開の歴史」根上晃『Schneller』(83-84) 23-26, 23-26
- 「CTG テキストブック 2012—日本母体胎児医学会共同企画」胎児心拍数モニタリングと周産期予後 歴史的経過」濱田真一, 脇本剛, 山崎公美, 山本香澄, 村田雄二『周産期医学』42(4) 461-466
- 「【不妊症治療—現状の課題と将来への展望—】不妊症治療の歴史 体外受精の夜明け」星和彦『母子保健情報』(66) 5-12
- ## 21 歯学史
- 「中国におけるインプラント学の発達に関する考察と展望(抄)(英文)」Xing Wang『Japanese Journal of Maxillo Facial Implants』11(3) 105
- 「東京医学歯学専門学校教授駒井俊吉について(抄)」秋本和宏, 阿部達彦『日本歯科医史学会々誌』29(4) 290-291
- 「昭和24年刊行「口腔組織学」について(抄)」阿部達彦, 秋本和宏『日本歯科医史学会々誌』29(4) 280-281
- 「咬合学がよくわかる話」飯塚哲夫『近代口腔科学研究会雑誌』38(3) 245-293
- 「歯原性腫瘍および嚢胞の歴史的回顧 本邦における初期報告例の分析 腺性歯原性嚢胞」井出文雄, 坂下英明, 草間薫『小児口腔外科』22(2) 113-119
- 「咬合の歴史的遍歴 ナソロジーにおける咬合の考え方と先人たちの教え(第2回) アメリカにおけるナソロジー」伊藤雄策『日本顎咬合学会誌: 咬み合わせの科学』32(1-2) 188-193
- 「歯科技工士のための Discussion & Topics 今, 何が, なぜ課題になっているのか(第11回)[最終回] 昔と今の歯科技工界(後編)」岩澤毅, 大塚勇二, 秋元秀俊『歯科技工』40(12) 1422-1425
- 「歯科技工士のための Discussion & Topics 今, 何が, なぜ課題になっているのか(第10回) 昔と今の歯科技工界(前編)」大塚勇二, 岩澤毅『歯科技工』40(11) 1284-1287
- 「山田平太著「歯と世相」(昭和2年)について(抄)」加來洋子, 山口秀典紀, 卯田昭夫, 石橋肇, 那須郁夫他2名『日本歯科医史学会々誌』29(4) 304-306
- 「日本人の歯とそのルーツ〈その1-2〉」金澤英作『日本歯科医師会雑誌』65(7-8) 905-912, 1003-1012
- 「臨床に生かす咬合理論 咬合のルーツと臨床 PosseltとGerberの出現」河野正司『補綴臨床』45(3) 264-275
- 「臨床に生かす咬合理論 咬合のルーツと臨床(1)」河野正司『補綴臨床』45(1) 7-22
- 「九州歯科醫學専門学校指定校獲得の頃—学生の指定獲得運動—(抄)」小林繁, 倉沢良典, 上瀉口武『日本歯科医史学会々誌』29(4) 273
- 「九州歯科醫學専門学校に於ける沖野節三(抄)」小林繁, 倉沢良典, 上瀉口武『日本歯科医史学会々誌』29(4) 274-275
- 「私立九州歯科醫學校の卒業生は何人か, その謎に迫る(抄)」小林繁, 倉沢良典, 上瀉口武『日本歯科医史学会々誌』29(4) 272
- 「廃科になった福岡県立醫學齒學専門学校醫學科在籍学生のその後の進路(抄)」小林繁, 倉沢良典, 上瀉口武『日本歯科医史学会々誌』29(4) 302-303
- 「歴史上にみる歯科法医学の社会貢献(抄)」小室歳信『日本歯科医史学会々誌』29(4) 253-255
- 「咬合論と補綴臨床」古谷野潔, 桑鶴利香, 築山能大『日本歯科医師会雑誌』65(6) 799-808
- 「『小児必用養育草』における口腔領域の記述について(抄)」佐藤恭道, 戸出一郎『日本歯科医史学会々誌』29(4) 278-279
- 「妖怪『山地乳』と口腔との関係(抄)」佐藤恭道, 戸出一郎『日本歯科医史学会々誌』29(4) 268-269
- 「第二次大戦初期の歯科材料について(抄)」新藤恵久『日本歯科医史学会々誌』29(4) 260
- 「小児歯科の半世紀」高木裕三『小児歯科臨床』17(9) 12-17

- 「小児歯科の半世紀（抄）」高木裕三『小児歯科学雑誌』50（2）30
- 「ピエール・フォシャール著『歯科外科医』第2版に見られる歯肉疾患（抄）」高山直秀『日本歯科医史学会々誌』29（4）292
- 「適材適所の臨床応用 歴史と特性を理解して使いこなす接着ブリッジ」田中卓男『Quintessence of Dental Technology』37（5）0602-0610
- 「咬合接触点の考察の歴史（抄）」永田和弘『日本歯科医史学会々誌』29（4）263
- 「女性歯科医育機関の歴史 戦後占領期，東洋女子歯科医学専門学校のケース（抄）」永藤欣久，樋口輝雄『日本歯科医師会雑誌』65（5）645
- 「『口歯類要』における口歯の意味的考察（抄）」西卷明彦『日本医史学雑誌』58（1）107-108
- 「病草紙にみられる口腔疾患（抄）」西卷明彦『医譚』112）6593-6594
- 「源氏物語絵巻にみる口腔観（抄）」西卷明彦，屋代正幸『日本歯科医師会雑誌』65（5）645
- 「明治期の歯科治療内容の変遷 居留地の外国人歯科医による西洋歯科医学導入から明治中期末期まで（抄）」羽坂勇司，大野肅英，米山敏之，齋藤眞且，高橋滋樹，守屋義雄，鈴木彰，桑原恵，佐久間啓文，荒井法行，縄田博之，小森康雄，亀井照明，秋知明，江田昌弘，加藤木健，高橋紀樹『日本歯科医師会雑誌』65（5）646
- 「L. リンゼイ著『歯科医学小史』（1933年刊）について（1）『歯科医学小史』の書誌（抄）」樋口輝雄『日本歯科医史学会々誌』29（4）293
- 「L. リンゼイ著『歯科医学小史』（1933年刊）について（2）『歯科医学小史』に掲載された日本の歯科事情（抄）」樋口輝雄『日本歯科医史学会々誌』29（4）294
- 「占領期日本の歯科医学教育改革 GHQ/SCAP/PHW 文書を資料として（抄）」樋口輝雄『日本歯科医師会雑誌』65（5）645
- 「歯科に於ける金の使用の展開—近代のアメリカでの金合金メーカーの発展—（抄）」平田幹男『日本歯科医史学会々誌』29（4）261-262
- 「日本人の残存歯数の歴史の変遷（抄）」藤田尚『老年歯科学』27（2）140
- 「戦後日本における歯科衛生士の専門職化 口腔医療をめぐる支配管轄権の変容から」宝月理恵『保健医療社会学論集』23（1）85-95
- 「歯・顎顔面検査法（第1回） 歯科放射線の歴史と撮影装置の変遷」松尾綾江，全国歯科・歯学部附属病院放射線技師連絡協議会『東京放射線』59（6）15-19
- 「『歯科を志す』一井正典とその時代（抄）」松本晋一，渋谷敦，井手祐二『日本歯科医師会雑誌』65（5）645
- 「日本にはじめて歯科医師法が制定された時のいきさつ 医学史の立場から（抄）」村上徹『群馬県歯科医学会雑誌』16, 70
- 「歴史に好奇心（シリーズ2）古きを活かして現在も活かす オランダ医学（蘭学）の伝習と軍医学校制度」森昌彦『歯科医療』26（1）133-146
- 「歴史に好奇心（シリーズ2）古きを活かして現在も活かす 孫文（孫中山）と日本人」森昌彦『歯科医療』26（2）83-96
- 「歴史に好奇心（シリーズ2）古きを活かして現在も活かす 731部隊と日本陸軍軍医学校」森昌彦『歯科医療』26（3）125-141
- 「歴史に好奇心（シリーズ2）古きを活かして現在も活かす 歯周病学の歴史的背影」森昌彦『歯科医療』26（4）129-140
- 「アメリカ合衆国の Dental School と歯学教育の変遷の歴史」森昌彦，長縄鋼亮，江原雄一，住友伸一郎，村松泰徳，式守道夫『日本口腔外科学会雑誌』58（9）517-525
- 「『顎関節症治療法の変遷』補綴歯科領域における顎関節症治療法の歴史の変遷」矢谷博文『日本補綴歯科学会誌』4（3）229-245
- 「中国における口腔医学と口腔医学教育の発展概況」路振富『福岡歯科大学学会雑誌』38（3）133-137
- 「『顎関節症治療法の変遷』顎関節症患者の心身医学的な治療の変遷」和気裕之，小見山道『日本補綴歯科学会誌』4（3）256-266

22 史跡・記念碑

- 「史跡足利学校」市橋一郎『大塚薬報』(672) 4-15
 「京都御薬園の顕彰碑について(抄)」南雲清二
 『薬史学雑誌』47(2) 168-169
 「三つの石碑」山本博『北陸医史』(34) 1-2

23 疾病史

- 「シンガポールにおける川崎病の疫学的概要と歴史(抄)(英文)」Yip William C.L.『Pediatrics International』54(Suppl. 1) 43
 「日本川崎病学会で報告された抄録の歴史的内容分析 1981-2009年(抄)(英文)」Okamoto Shigeru, Nakayama Takeo『Pediatrics International』54(Suppl. 1) 70
 「【特発性正常圧水頭症—Update】特発性正常圧水頭症研究の歴史」石川正恒『老年精神医学雑誌』23(7) 787-792
 「ノーベル賞と医学の進歩・発展 マラリア原虫発見の歴史と今日的課題」金子修『最新医学』67(12) 2828-2830
 「統合失調症 過去・現在・未来」岸本年史『日本社会精神医学会雑誌』21(1) 84-88
 「古代世界に花粉症はあったのか？」小塩海平『日本職業・環境アレルギー学会雑誌』19(2) 9-16
 「血液今昔物語 血液病 原典・現点(第16回) Royal Hemophilia 英国ヴィクトリア女王は血友病の保因者だった」齋藤英彦『血液フロンティア』22(4) 564-570
 「誰が血友病B(第IX因子欠乏症)を発見したか？忘れられたパイオニアたちの貢献」齋藤英彦『日本血栓止血学会誌』23(3) 274-279
 「【痛風・高尿酸血症診療の新展開】痛風・高尿酸血症の基礎知識 最古の生活習慣病 痛風の歴史」酒井シヅ『Medicina』49(8) 1313-1315
 「明治維新後の身体観の変容—伝統医学から西洋医学への転換の結果(抄)」酒井シヅ『民族衛生』78(第77回日本民族衛生学会講演集) 30-31
 「【インフルエンザ Update—課題と問題点】インフルエンザの基礎 インフルエンザワクチンの歴史と展望」酒井伸夫『医学のあゆみ』241(1)

55-63

- 「うつ病の診療 半世紀の変遷と今後の展望(抄)」須賀英道『CAMPUS HEALTH』49(4) 64
 「先端巨大症診療の歴史から見えてくるもの(抄)」千原和夫『日本内分泌学会雑誌』88(1) 129
 「病理標本が語るハンセン病の歴史(抄)」堤寛『日本ハンセン病学会雑誌』81(1-2) 21-22
 「【産業現場におけるうつ病再考】うつ病概念の歴史の変遷」中尾和久『産業ストレス研究』19(2) 105-112
 「Dr. 間中の「目からウロコ」の頭痛学 片頭痛治療, 5000年の歴史 神殿からエビデンスの時代へ」間中信也『脳神経外科速報』22(4) 470-474
 「気管支喘息 臨床と研究の歴史 紀元前から近世まで」宮本昭正『日本胸部臨床』71(7) 694-699
 「気管支喘息 臨床と研究の歴史 近世以後(14世紀末~19世紀) わが国では江戸時代(1603~1867年)」宮本昭正『日本胸部臨床』71(8) 805-811
 「気管支喘息 臨床と研究の歴史 20世紀以降」宮本昭正『日本胸部臨床』71(9) 913-918
 「気管支喘息 臨床と研究の歴史 第2次世界大戦後」宮本昭正『日本胸部臨床』71(10) 1016-1022
 「気管支喘息 臨床と研究の歴史 IgEの発見と当時の話題」宮本昭正『日本胸部臨床』71(11) 1115-1121
 「気管支喘息 臨床と研究の歴史 日本における臨床と研究の歴史(1)」宮本昭正『日本胸部臨床』71(12) 1229-1234
 「【頸肩腕症候群】の歴史(第1回) 慢性筋筋膜性疼痛(非特異的障害)の勝利 画像診断偏重の整形外科診断に対して 2000年12月江戸川区養護学校教諭の「背腰痛症」裁判」渡辺靖之『社会労働衛生』10(2) 81-86

24 耳鼻咽喉科史

- 「【本邦における耳科学の歴史と発展】本邦におけ

る耳科学の歴史と展開」加我君孝『Otology Japan』22 (1) 1-15

25 種痘史

「適塾と除痘館 緒方洪庵の種痘普及活動をめぐって」浅井允晶『医譚』(112) 6611-6617

「大坂の除痘館における出張種痘（抄）」古西義磨『医譚』(112) 6592-6593

「『報徳全書』にみる齋藤玄昌について—二宮尊行の二児に早期種痘—（抄）」中野正人『日本医史学雑誌』58 (2) 140

「安政5年，北蝦夷地における種痘について（抄）」永野正宏『葉史学雑誌』47 (2) 172

「お玉ヶ池種痘所あれこれ（抄）」深瀬泰旦『日本医史学雑誌』58 (1) 103-104

「郡上の植痘瘡（抄）」森永正文『日本医史学雑誌』58 (2) 211

26 獣医学史

「鶏のロイコチトゾーン症の研究史における暗中模索からの脱出記録（1）-（6）」秋葉和温『畜産の研究』66 (7-12) 765-771, 865-870, 959-964, 1035-1040, 1155-1159, 1231-1238

「日本獣医生命科学大学—130年追憶の抄—」池本昶典『日本獣医史学雑誌』(49) 40-43

「『人と動物と環境の共生』への挑戦」石黒信良『日本獣医史学雑誌』(49) 44-48

「動物理学療法の歴史を知り，現状を活かす（抄）」太田穂奈美，峰島智子，渡部加奈，信岡尚子，石井亜由美，山下眞理子『動物臨床医学会年次大会プロシーディング』33回 (4) 70-71

「獣医師免許制度の変遷と獣医師国家試験」大橋義光『日本獣医史学雑誌』(49) 22-28

「わが国最古の動物治療施設か 僧医忍性の“馬病屋”」亀谷勉『日本獣医史学雑誌』(49) 36-39

「動物用ワクチンの変遷と感染症の制圧・排除・根絶—日本の牛疫ワクチンと狂犬病ワクチンを中心に—」土屋耕太郎『日本獣医史学雑誌』(49) 10-21

「新たに判明した忠犬ハチ公の死因について（抄）」中山裕之『日本医史学雑誌』58 (1) 108

「新たに判明した忠犬ハチ公の死因について」中山裕之，内田和幸『日本獣医史学雑誌』(49) 1-9

「犬と猫の血液透析（第1回）血液透析の歴史萌芽期から完成期まで」宮本賢治『MVM』21 (1) 47-51

「動物看護師養成の世界的動向と日本の実情」山下眞理子『日本獣医史学雑誌』(49) 29-35

27 書簡

「池田文書の研究（42-44）」池田文書研究会『日本医史学雑誌』58 (1, 3-4) 93-102, 411-420, 503-512

「ブランデンシュタイン家所蔵シーボルト関連書簡の翻刻・翻訳によって得られた新知見について」ベルント・ノイマン，宮坂正英，石川光庸『鳴滝紀要』(22) 33-46

28 書誌学

「江戸の医案を読む（第18回）下津春抱『本邦名医類案』より（その2）」秋葉哲生，平馬直樹『漢方と診療』3 (1) 66-72

「江戸の医案を読む（第19回）曲直瀬道三『出証配剂』曲直瀬玄朔『医学天正記』より」秋葉哲生，平馬直樹『漢方と診療』3 (2) 150-157

「江戸の医案を読む（第20回）（最終回）岡本玄治『玄治得効配剂』より」秋葉哲生，平馬直樹『漢方と診療』3 (3) 224-231

「適塾記念会緒方洪庵全集編集委員会編『緒方洪庵全集』第一巻・第二巻（『扶氏経験遺訓』上下）—刊行によせて—」浅井允晶『日本医史学雑誌』58 (3) 389-392

「『鍼灸資生経』の引用文献について（抄）」足立美穂『日本医史学雑誌』58 (2) 230

「研医会図書館所蔵の森立之稿本『千金方疏証』（抄）」安部郁子『日本医史学雑誌』58 (2) 224

「曲直瀬玄朔の医書出版—『医学正伝』について—（抄）」天野陽介，小曾戸洋『日本医史学雑誌』58 (2) 175

「和田泰庵文書の研究（第2報）家系資料類（抄）」天野陽介，小曾戸洋，渡辺浩二，花輪壽彦，寺澤捷年，和田源司『日本東洋医学雑誌』

- 63(別冊)273
- 「神谷昭典著『植民地医育論—台湾, 朝鮮, “滿蒙地域”を中心として—』」泉孝英『日本医史学雑誌』58(4)521
- 「『解体新書』扉絵を画かせた人物をめぐる(抄)」板野俊文『日本医史学雑誌』58(2)212
- 「中国図書集散史と医学古典の伝承 『黄帝内経』の伝承 新校正本『素問』の版本系統」岩井祐泉『中医臨床』33(4)554-558
- 「中国図書集散史と医学古典の伝承 『黄帝内経』の伝承 『太素』まで」岩井祐泉『中医臨床』33(1)84-87
- 「『意心流百病指南』について(抄)」岩田源太郎『日本医史学雑誌』58(2)235
- 「19世紀前半における地方藩医の蔵書と学問」海原亮『ISHIK』55-60
- 「『杉山流首巻』の発見 『杉山流三部書』との比較検討(抄)」大浦宏勝, 市川友理『日本東洋医学雑誌』63(別冊)272
- 「ナイチンゲール『看護覚え書』の構造を読む方法としての書誌学的研究」小川典子『順天堂保健看護研究』1(1)71-79
- 「劉完素と『西山記』(抄)」奥野繁生『日本医史学雑誌』58(2)227
- 「史料紹介 中山文書「魯西亜滞船中日記」」織田毅『鳴滝紀要』(22)111-126
- 「『阿蘭陀経絡筋脈臟腑図解』の翻訳書としての不完全さ—訳出されなかった語の視点から—」計良吉則, 酒井シヅ『日本医史学雑誌』58(1)3-14
- 「和田泰庵文書の研究(第3報)医学資料類(抄)」小曾戸洋, 天野陽介, 渡辺浩二, 花輪壽彦, 寺澤捷年, 和田源司『日本東洋医学雑誌』63(別冊)273
- 「幻の宋版『孫真人玉函方』—金沢文庫旧蔵本(抄)」小曾戸洋, 長野仁, 星野卓之, 天野陽介『日本医史学雑誌』58(2)225
- 「曲直瀬道三の『鍼灸集要』について(抄)」木場由衣登『日本医史学雑誌』58(2)176
- 「延喜式典薬寮雑薬と古代和方の真髓『大同類聚方』・医療溯源考(1-6)」齊藤匡男『漢方の臨床』59(3, 4, 5, 7, 9, 11)631-636, 807-815, 1007-1012, 1353-1358, 1683-1688, 2017-2022
- 「延喜式典薬寮雑薬と古代和方の真髓『大同類聚方』・典薬頭所伝方(12)」齊藤匡男『漢方の臨床』59(2)421-430
- 「巖谷小波著『葉ぬけ爺』とその周辺」佐藤恭道『日本歯科医史学会々誌』29(4)307-310
- 「山崎佐「歯科医師の診療能力の範囲」(昭和13年)について」渋谷敏, 山口秀紀, 那須郁夫, 加來洋子, 牧村正治『日本歯科医史学会々誌』29(4)322-344
- 「巖川五郎作氏旧蔵書目録」清水信子『東洋文庫書報』(43)53-86
- 「中島家蔵書資料について(抄)」清水信子『日本医史学雑誌』58(2)150
- 「史料紹介 中山文書「書留帳」」新畑末男『鳴滝紀要』(22)67-110
- 「香川修庵と「医事捷徑」・「一本堂雑話」」杉浦守邦『医譚』(112)6607-6611
- 「『金匱要略』刊本である鄧珍本と呉遷本とのつき合せについて」杉山広重『漢方の臨床』59(12)2257-2273
- 「傷寒論歴史考 『傷寒論』のルーツを探る 『湯液経法』考」銭超塵『中医臨床』33(2)236-240
- 「傷寒論歴史考 北宋校定本『傷寒論』考〈前篇〉高継沖本の検討」銭超塵『中医臨床』33(3)390-398
- 「傷寒論歴史考 北宋校定本『傷寒論』考〈後篇〉治平本の検討」銭超塵, 本橋京子, 齋藤聡, 三鬼丈知『中医臨床』33(4)563-571
- 「国立公文書館内閣文庫所蔵の『聿修堂蔵書目録』について(抄)」竹内尚『日本東洋医学雑誌』63(別冊)274
- 「森鷗外『小嶋寶素』と小島尚綱『日新録』(抄)」多田伊織『日本医史学雑誌』58(2)178
- 「『揆穴資蒙』について(抄)」鶴田泰平『日本東洋医学雑誌』63(別冊)276
- 「『骨度正誤図説』について(抄)」鶴田泰平『日本医史学雑誌』58(2)231
- 「奥田謙蔵著『傷寒論梗概』と『傷寒論講義』の相

- 「違」中村謙介『漢方の臨床』59(12) 2191-2200
 「鍼立たちの流儀の祖型 「節用集」に温存された
 図法師《鍼灸要腧穴》『我宝節用』附載の《鍼
 灸要腧穴》の翻刻と解説」長野仁『鍼灸Osaka』
 28(2) 233-244, 123-126
 「明治期における鍼灸史料について 近世の遺風
 と近代の新風」長野仁『鍼灸Osaka』27(4)
 949-955, 835-840
 「『断毒論』版木押取事件に関する考察(抄)」西
 巻明彦, 屋代正幸『日本歯科医史学会々誌』
 29(4) 295-296
 「『経穴密語集』について(抄)」橋本史代『日本
 医史学雑誌』58(2) 234
 「関場不二彦著「西医学東漸史話」にみられる甫
 筑国訓編「瘍府」について(抄)」秦温信, 佐々
 木文章, 吉田純一, 松岡伸一, 佐野文男, 島田
 保久, 鮫島夏樹『薬史学雑誌』47(2) 173
 「曲直瀬玄朔自筆処方集の研究(抄)」星野卓之,
 天野陽介, 小曾戸洋, 花輪壽彦『日本医史学雜
 誌』58(2) 174
 「『衛生彙纂 尚薬必携』(明治10年)を読む(抄)」
 本間克明『薬史学雑誌』47(2) 177
 「本木良永訳『世界四大洲新地図帳』付箋の解説—
 泉屋家文書との関連について—(下)」益満ま
 を『鳴滝紀要』(22) 1-32
 「曲直瀬道三の『運氣論』研究(抄)」町泉寿郎『日
 本医史学雑誌』58(2) 173
 「新出の写本「遁花秘訣」(山岸本)について—白
 鳥雄蔵, 板垣利斎, そして津軽との接点—
 (抄)」松木明知『日本医史学雑誌』58(2) 199
 「西尾市岩瀬文庫所蔵『十四経發揮』の書き込み
 について(抄)」宮川隆弘『日本東洋医学雑誌』
 63(別冊) 275
 「『陰穴啓蒙』について(抄)」山崎陽子『日本医
 史学雑誌』58(2) 237
 「仏教文献『療痔病経』の背景について」山中行
 雄, 山下勤, 赤羽律, 室屋安孝『日本医史学雜
 誌』58(1) 39-51
 「信濃衛生会発行による月刊『信濃衛生』につい
 て(抄)」湯本敦子『日本医史学雑誌』58(2)
 196
 「国立国会図書館所蔵の浅井正實著『身体和名集』
 について(抄)」吉岡広記『日本東洋医学雑誌』
 63(別冊) 275
 「本居宣長『送藤文興還肥序』における『黄帝内
 経』関連用語の分析(抄)」吉川澄美『日本医
 史学雑誌』58(2) 181
 「韓国伝統医学のバイブル『東医宝鑑』について—
 近世東アジアに与えた影響を中心に」吉田和裕
 『漢方の臨床』59(9) 1697-1698
 「南京中医薬大学に所蔵する「東医寶鑑」の文献
 学的調査」吉田和裕『東静漢方研究室』35(3)
 1-10
 「南京中医薬大学に所蔵する「東医寶鑑」の文献
 学的調査」吉田和裕『東邦医学会雑誌』59(2)
 54-59
 「『万病回春病因指南』の成立過程と構成(抄)」
 渡部栄輝『日本医史学雑誌』58(2) 183
 「『橘窓書影統編』の所在と『橘窓書影』編纂過程
 について(抄)」渡辺浩二『日本医史学雑誌』
 58(2) 170
 「和田泰庵文書の研究(第4報) 診療録新出本
 (抄)」渡辺浩二, 小曾戸洋, 天野陽介, 花輪壽
 彦, 寺澤捷年, 和田源司『日本東洋医学雑誌』
 63(別冊) 274
- ## 29 小児科史
- 「近代日本における児童相談の保健, 福祉, 教育
 的機能の一例 三田啓啓「児童相談の現状と将
 来」から」小野尚香『医譚』(112) 6499-6510
 「近代日本における児童の教育, 保健, 福祉的事
 業の一例 「児童保護事業」に関する三田啓啓
 論文から」小野尚香『医譚』(113) 6739-6750
 「【クローズアップ育児】日本の育児50年を振り
 返る」小山敦司『小児内科』44(11) 1744-1749
 「小児造血幹細胞移植 挑戦と感動の30年を振り
 返って(抄)」加藤俊一『日本小児血液・がん
 学会学術集会・日本小児がん看護学会・公益財
 団法人がんの子どもを守る会公開シンポジウム
 プログラム総会号』54回・10回・17回, 159-
 160
 「乳幼児身体発育調査 歴史的变化を中心にして

- 乳幼児身体発育値 半世紀の歩み(抄) 加藤則子, 瀧本秀美, 横山徹爾『日本成長学会雑誌』18(2)96
- 「【母子健康手帳: 過去, 現在, 未来】母子手帳の黎明期」巷野悟郎『小児科臨床』65(8)1757-1764
- 「時代の病理とその変遷過程 子ども・家族・学校・社会」後藤秀爾『愛知淑徳大学論集(心理学部篇)』(2)1-15
- 「子どもの心の臨床, 過去, 現在, そしてこれから」齊藤万比古『小児の精神と神経』52(4)293-303
- 「乳幼児身体発育調査 歴史的变化を中心にして乳幼児身体発育調査結果からみた我が国の出生児体格の変化(抄)」瀧本秀美, 加藤則子, 横山徹爾『日本成長学会雑誌』18(2)97
- 「江戸元禄時代の子育て 香月牛山の著した小児必用養育草(第1回) 子どもの誕生」谷原政江, 關戸啓子, 富田早苗『小児看護』35(1)126-129
- 「江戸元禄時代の子育て 香月牛山の著した小児必用養育草(第2回) 産湯と授乳」谷原政江, 關戸啓子, 富田早苗『小児看護』35(2)258-260
- 「江戸元禄時代の子育て 香月牛山の著した小児必用養育草(第3回) 乳母と産着」谷原政江, 關戸啓子, 富田早苗『小児看護』35(3)364-367
- 「江戸元禄時代の子育て 香月牛山の著した小児必用養育草(第4回)(最終回) 乳幼児の育て方」谷原政江, 富田早苗, 關戸啓子『小児看護』35(4)514-517
- 「小児がん治療の過去と未来 小児腎腫瘍の変遷と今後の展開(抄)」陳基明, 越永従道, 中館尚也, 齋藤正博, 大植孝治, 高安肇, 野崎美和子, 桑島成子, 樋之津史郎, 大喜多肇, 田中祐吉, 堀江弘, 麦島秀雄, 福澤正洋, 日本ウィルス腫瘍研究グループ『日本癌治療学会誌』47(3)690
- 「子どものホスピス その理念と歴史, わが国における展望 奈良東大寺・華嚴寮での親子レス
- バイト(抄) 富和清隆『死の臨床』35(1)35-36
- 「【母子健康手帳: 過去, 現在, 未来】母と子の健康を支援する手帳制度の変遷」中島正夫『小児科臨床』65(8)1767-1777
- 「【母子健康手帳: 過去, 現在, 未来】」中村安秀『小児科臨床』65(8)1745-1755
- 「子どものこころの臨床 わが国の歴史とこれから」長尾圭造『小児の精神と神経』52(4)333-343
- 「近代新生児医療発展の軌跡(第1章) 新生児医療の地域化(Regionalization of neonatal medicine)(その1-2)」仁志田博司『Neonatal Care』25(7-8)755-759, 880-884
- 「近代新生児医療発展の軌跡(第2章) 新生児医療のidentityを求めて(その1-2)」仁志田博司『Neonatal Care』25(9-10)1000-1004, 1106-1111
- 「近代新生児医療発展の軌跡(第3章) わが国における未熟児網膜症を巡る光と影の歴史(その1-2)」仁志田博司『Neonatal Care』25(11-12)1211-1215, 1318-1322
- 「染色体研究から始まった小児血液・がん研究の過去・現在・未来」林泰秀『日本小児血液・がん学会雑誌』49(3)229-236
- 「重篤疾病例の“心のケア”」平井慶徳『小児外科』44(2)105-106
- 「わが国の小児保健百年の歩み 戦後50年で乳児死亡率を世界最低にできた背景を考える(抄)」平山宗宏『小児保健研究』71(講演集)55
- 「小児がん治療の過去と未来 小児横紋筋肉腫の変遷と今後の展開(抄)」細井創『日本癌治療学会誌』47(3)691
- 「『児科雑誌』に発表された仮称所謂脳膜炎(鉛毒性脳症)に関する研究の足跡 1927年から内務省令改正(1930年)まで(前編)」堀口俊一, 寺本敬子, 西尾久英, 林千代『労働科学』88(4)130-142
- 「小児がん治療の過去と未来 小児造血器腫瘍治療の変遷と今後の展開(抄)」堀部敬三『日本癌治療学会誌』47(3)688
- 「小児気管支喘息の歴史と未来(抄)」森川昭廣

- 『日本小児呼吸器疾患学会雑誌』23 (Suppl.) 55
- 「新生児医療 その歴史とエポックメイキングイベント (抄)」吉尾博之『聖マリアンナ医科大学雑誌』40 (2) 74
- 「哺乳瓶の子」それとも「おっばいの子」? — 20世紀ドイツにおける乳児保護，乳児の栄養状態と乳児死亡— イェルク・フェーグレ，訳：梅原秀元『日本医史学雑誌』58 (3) 331-344
- ### 30 神経学史
- 「【Restless legs syndrome】Karl-Axel Ekbom と restless legs syndrome」葛原茂樹『神経内科』76 (1) 6-12
- 「自律神経学の研究史における日本人研究者の貢献 若手神経学者へのメッセージ (抄)」高橋昭『日本自律神経学会総会プログラム・抄録集』65回，46
- 「人・土地・業績 Schaltenbrandと多発性硬化症のウイルス説 Schaltenbrandの人体実験」田村直俊『神経内科』77 (4) 438-443
- 「人・土地・業績 Schaltenbrandと多発性硬化症のウイルス説 多発性硬化症ウイルス説の歴史的展望」田村直俊『神経内科』77 (5) 563-568
- 「人・土地・業績 髄液無産生症 (Schaltenbrand) 忘れ去られた病態生理 Schaltenbrand以前の研究」田村直俊，光藤尚，中里良彦，山元敏正，荒木信夫『神経内科』76 (3) 297-303
- 「人・土地・業績 髄液無産生症 (Schaltenbrand) 忘れ去られた病態生理 Schaltenbrandが主張したこと」田村直俊，光藤尚，中里良彦，山元敏正，荒木信夫『神経内科』76 (4) 398-404
- 「人・土地・業績 髄液無産生症 (Schaltenbrand) 忘れ去られた病態生理 Schaltenbrand以降の研究」田村直俊，光藤尚，中里良彦，山元敏正，荒木信夫『神経内科』76 (5) 512-518
- 「【Restless legs syndrome】Thomas Willis と restless legs syndrome」野沢胤美『神経内科』76 (1) 1-5
- 「原典・古典の紹介 Binswanger病」古川哲雄『神経内科』77 (4) 432-437
- 「てんかんからみる人物の横顔 異論異説のてんかん史【第11回】症例H.M.」松浦雅人『Epilepsy : てんかんの総合学術誌』6 (1) 49-53
- 「医古典にみられる高齢者の神経症状 (抄)」松谷学，有吉直充『日本老年医学会雑誌』49 (6) 808
- ### 31 診断学史
- 「日本における助産診断学の発展 (抄) (英文)」Saito Masuko, Iwasaki Kazuyo, Hamazaki Mayumi, Aoki Yasuko『日本母子看護学会誌』6 (1) 34
- 「甲状腺超音波診断の歴史と日本乳腺甲状腺超音波診断会議 (JABTS) の活動」貴田岡正史『乳腺甲状腺超音波医学』1 (1) 13-16
- 「内視鏡とがん医療の過去と未来 下部消化管内視鏡診断の歴史と早期病変の変貌 (抄)」工藤進英『日本癌治療学会誌』47 (3) 766
- 「心臓カテーテル法の発見 (抄)」佐分利保雄『神奈川医学会雑誌』39 (2) 332
- 「内視鏡とがん医療の過去と未来 上部消化管内視鏡診断の歴史と早期病変の変貌 (抄)」吉田茂昭『日本癌治療学会誌』47 (3) 765
- ### 32 整形外科史
- 「知っていますか? 整形外科手術の変遷 髄内釘骨接合術」糸満盛憲『臨床整形外科』47 (7) 636-642
- 「知っていますか? 整形外科手術の変遷 骨折治療 John Hunter から tissue engineering の時代まで」小野啓郎『臨床整形外科』47 (8) 778-791
- 「整形外科の歴史 20世紀初期から中後期へ アメリカ整形外科の近代化 ニューヨークの整形外科医たち (9-20)」蒲原宏『整形外科看護』17 (1-12) 106-108, 208-211, 326-328, 432-433, 532-534, 634-635, 740-741, 840-842, 942-944, 1044-1045, 1150-1151, 1254-1257
- 「生体電気刺激の歴史と生体物理刺激の臨床応用 生体電気刺激の歴史と生体物理刺激療法の現況 (抄)」金郁哲『日本整形外科学会雑誌』86 (3) S302
- 「日本の西洋医学における整形外科の萌芽と発展 (抄)」久保俊一『東日本整形災害外科学会雑誌』24 (3) 237

- 「生体電気刺激の歴史と生体物理刺激の臨床応用 低出力超音波パルスによる物理学的刺激は骨折治癒を促進する(抄)」神宮司誠也『日本整形外科学会雑誌』86(3) S303
- 「【metal on metal 人工股関節(MOM-THA)の功罪と今後の展望】特徴 MOM-THAの歴史と変遷」菅野伸彦『関節外科』31(9) 968-975
- 「人工肘関節置換術の歴史・現状・将来(抄)」西田圭一郎『日本肘関節学会雑誌』19(1) S14
- 「知ってますか? 整形外科手術の変遷 踵骨骨折の手術」廣谷速人『臨床整形外科』47(12) 1218-1222
- 「生体電気刺激の歴史と生体物理刺激の臨床応用 関節に対する温熱療法の基礎と臨床応用(抄)」北條達也, 高橋謙治, 外村仁, 新井祐志, 久保俊一『日本整形外科学会雑誌』86(3) S303
- 「生体電気刺激の歴史と生体物理刺激の臨床応用 骨に対する電気刺激の基礎と臨床応用(抄)」正岡利紀, 有沢治, 山本謙吾, 深田栄一『日本整形外科学会雑誌』86(3) S302
- 「柔道整復学に関する文献的考察 “按摩”と“整骨”の関連性と柔道整復学研究の方向性について」松本和久『明治国際医療大学誌』(7) 7-19
- 「「頸肩腕症候群」の歴史(第2回) 歴史に背く労災行政 頸肩腕症候群の労災申請の取り組みを通して分かったこと」渡辺靖之『社会労働衛生』10(3) 55-60
- 33 精神医学史**
- 「アジアにおけるトランスナショナルな精神医学 イギリス支配下でのインドの場合(英文)」Ernst Waltraud『精神医学史研究』16(1) 10-22
- 「近代精神医療史資料の保存と利用 ギール(ベルギー)における精神医学と関係のある文化的遺産の保護 精神医学コレクションの保存, 利用, 推進におけるアーカイブと博物館の役割(英文)」Boeckx Bert『精神医学史研究』16(1) 33-40
- 「精神的症状の概念 歴史と認識論(抄)(英文)」Berrios German E.『精神神経学雑誌』(2012特別) S-202
- 「江戸時代の医学史 安藤昌益の精神病論を中心に」青木歳幸, 新地浩一『こころの健康』27(1) 8-14
- 「【不眠の臨床—精神疾患の予防・改善に向けて—I】不眠の歴史」内山真『精神科治療学』27(8) 983-988
- 「『ナヴェン』から『精神と自然』に至る Bateson 認識論 Kretschmerの類型の引用との関連で」大塚公一郎『精神医学史研究』16(1) 59-68
- 「日本の精神医療の歴史と展望 戦後の精神科医療の構造的問題と現段階および展望(抄)」岡崎祐士『日本外来精神医療学会プログラム・抄録集』12回, 48
- 「近代精神医療史資料の保存と利用 精神科医療史の資料について」岡田靖雄『精神医学史研究』16(1) 23-27
- 「福島甲種医学校助教諭 村地研三『裁判医学』講義中の精神病学(抄)」岡田靖雄『日本医史学雑誌』58(2) 205
- 「【未来を見すえた戦前の精神医療史】19世紀アメリカの巨大精神病院, アサイラム」風野春樹『精神神経学雑誌』114(10) 1194-1200
- 「未来を見すえた戦前の精神医療史 巨大精神病院, アサイラムはなぜできたか(抄)」風野春樹『精神神経学雑誌』(2012特別) S-238
- 「【未来を見すえた戦前の精神医療史】『精神病者私宅監置ノ実況及び其統計的観察』の矛盾と意図 答えは常に過去にあり, 隔離拘束の歴史」金川英雄『精神神経学雑誌』114(10) 1201-1207
- 「【未来を見すえた戦前の精神医療史】京城帝国大学神経科精神科教室の当学会における学術発表」金川英雄『精神神経学雑誌』114(10) 1180-1186
- 「未来を見すえた戦前の精神医療史 呉・樫田「私宅監置の実況」にみる隔離拘束(抄)」金川英雄『精神神経学雑誌』(2012特別) S-237
- 「1980年から1987年の精神障害当事者の運動史」桐原尚之『病院・地域精神医学』55(2) 162-163, 173
- 「【認知/行動療法の技法と治療効果】認知行動療法のルーツと歴史」熊野宏昭『臨床精神医学』

- 41 (8) 959-966
- 「DSM-III 創出背景史」黒木俊秀『九州神経精神医学』58 (2) 94-105
- 「堺市における精神保健福祉の歴史 精神保健福祉相談員の経験から」小出保廣『堺市こころの健康センター研究紀要』(4) 17-27
- 「性同一性障害の概念について」康純『近畿大学臨床心理センター紀要』5, 3-10
- 「合併症精神科医療の歴史と今後の展望」近藤千尋『KKR札幌医療センター医学雑誌』9 (1) 9-11
- 「【未来を見すえた戦前の精神医療史】日本の東北地方の精神障害者用民間施設」近藤等『精神神経学雑誌』114 (10) 1187-1193
- 「未来を見すえた戦前の精神医療史 東北の精神障害者民間施設 (抄)」近藤等『精神神経学雑誌』(2012 特別) S-237
- 「反射生理研究から森田療法へ (森田正馬博士の歩み) (抄)」澤野啓一『日本森田療法学会雑誌』23 (1) 83
- 「本邦におけるメランコリー親和型をめぐる学説の変遷 日本文化論との結びつきから」清水光恵『精神医学史研究』16 (1) 69-81
- 「【The Border-Land of Dementia】てんかんと認知症」杉本あずさ，二村明德，河村満『BRAIN and NERVE：神経研究の進歩』64 (12) 1399-1404
- 「メンタルヘルスの広場 進化精神医学 太古の適応反応としての精神障害」高畑圭輔『心と社会』43 (1) 100-104
- 「沖縄における精神科医療の黎明」當山富士子，高原美鈴『沖縄県立看護大学紀要』(13) 93-103
- 「【mECT, rTMS のバイオロジーと臨床応用】精神科医療におけるニューロモデュレーションの歴史と現在，そして未来」中村元昭『日本生物学的精神医学会誌』23 (2) 121-129
- 「精神病患者監護法以前の道府県の規則」野田武志『精神医学史研究』16 (1) 47-58
- 「未来を見すえた戦前の精神医療史 [指定発言] 未来を見すえた戦前の精神医療史 (抄)」野田寿恵『精神神経学雑誌』(2012 特別) S-239
- 「【うつ病～正しい理解と治療のあり方～】うつ病疾患概念の歴史の変遷と現在」野村総一郎『医薬ジャーナル』48 (4) 1081-1084
- 「近代日本精神医療史を読み直す」橋本明『精神医学史研究』16 (1) 5-9
- 「戦後精神医療史の再検討 (2) 精神障害者家族会の盛衰 (抄)」橋本明『日本医史学雑誌』58 (2) 193
- 「近代精神医療史資料の保存と利用 近代日本の疾病史資料の保存と公開にむけて ハンセン病史資料を素材に」廣川和花『精神医学史研究』16 (1) 41-46
- 「【精神療法マニュアル】精神分析の歴史と発展」藤山直樹『臨床精神医学』(2012 年増刊) 51-56
- 「ミスマッチ陰性電位研究の展望 認知症における MMN 研究の歴史と展望 (抄)」松岡貴志，板垣俊太郎，志賀哲也，野崎途也，大島洋和，三浦祥恵，伊藤典和，矢部博興，丹羽眞一『臨床神経生理学』40 (5) 369
- 「日本の精神医療の歴史と展望 日本型精神科医療の背景にあるもの 近代精神科医療史瞥見 (抄)」松下正明『日本外来精神医療学会プログラム・抄録集』12 回，47
- 「精神障害者に対する差別・偏見を軽減するために歴史教育は有効か 意識調査をもとに精神保健福祉行政史を伝えることの有効性を探る (抄)」宮沢和志『精神保健福祉』43 (3) 230
- 「未来を見すえた戦前の精神医療史 京城帝国大学神経科精神科教室の当学会における学術発表 (抄)」李創鎬『精神神経学雑誌』(2012 特別) S-238

35 西洋医学史

- 「イギリスにおける近代医療の特徴 制度的側面 (英文)」Kurimoto Soji『医譚』(112) 6526-6522
- 「ドイツにおける心療内科と心理療法 歴史的な役割から国際的な展望まで (抄) (英文)」Zipfel Stephan『日本心療内科学会誌』16 (抄録) 35
- 「17世紀における筋運動の原理の探求—ニコラウス・ステノによる筋の幾何学的記述— (抄)」

- 安西なつめ, 澤井直, 坂井建雄『日本医史学雑誌』58(2)154
- 「グラーツ(オーストリア)の薬局とSpital(救貧院)(抄)」石田純郎『薬史学雑誌』47(2)166
- 「ガレノスと古代ギリシア・ローマ医学史研究の現在—ガレノス『解剖学論集』の刊行によせて—」今井正浩『日本医史学雑誌』58(3)385–388
- 「古代ギリシア, ローマ時代の医学と整復法—ギリシアからローマへ, ラテン語医書の登場(抄)」片橋るみ『日本柔道整復接骨医学会誌』20(5)265–266
- 「古代ギリシア, ローマ時代の医学と整復法—ヒポクラテス技法とガレノスのローマ医学(抄)」我部正彦, 日本柔道整復接骨医学会柔整・接骨史分科委員会『日本柔道整復接骨医学会誌』20(5)265
- 「古代ギリシア, ローマ時代の医学と整復法(抄)」我部正彦, 日本柔道整復接骨医学会柔整・接骨史分科委員会『日本柔道整復接骨医学会誌』20(5)264–265
- 「英国医史考, 侍医国手(抄)」栗本宗治『医譚』(112)6594–6596
- 「1980年代の米国ワクチン産業: 医薬品行政による政策転換(抄)」ジュリア・ヨング『薬史学雑誌』47(2)167
- 「ユダヤ人と薬—西フランク王に仕えたユダヤ人医師をめぐる問題—(抄)」田中玉美『薬史学雑誌』47(2)165
- 「交感神経血管説—戦前のドイツ語圏における片頭痛研究」田村直俊『日本頭痛学会誌』39(1)13–15
- 「古代ギリシアからローマ時代の医学と整復法—ヒポクラテス・同世代の医人と医療(抄)」中川敏郎『日本柔道整復接骨医学会誌』20(5)266
- 「西洋医聞録—ヴェネツィアを巡る美学と疫病」長田茂『東医協広報』(201)2–7
- 「西洋医聞録—お雇い外国人医師・ベルツの半生とその時代」長田茂『東医協広報』(203)8–13
- 「西洋医聞録—日本赤十字社とその創設者・佐野常民の軌跡」長田茂『東医協広報』(208)8–11
- 「西洋医聞録—日本赤十字社発祥の地・熊本洋学校と西南戦争(上)」長田茂『東医協広報』(207)12–17
- 「西洋医聞録—鷗外・森林太郎の西欧体験(上)(下)」長田茂『東医協広報』(205–206)6–9, 6–9
- 「古代ギリシア, ローマ時代の医学と整復法—手関節周辺の外傷をヒポクラテス医学から推測する(抄)」福田格『日本柔道整復接骨医学会誌』20(5)266–267
- 「健康をめぐる歴史パノラマ—庶民の健康観」眞壁伍郎『総合看護』47(1)49–58
- 「健康をめぐる歴史パノラマ—中世の死生観から」眞壁伍郎『総合看護』47(2)69–80
- 「健康をめぐる歴史パノラマ—パラケルススその人なり」眞壁伍郎『総合看護』47(3)71–79
- 「健康をめぐる歴史パノラマ—医学史という学問」眞壁伍郎『総合看護』47(4)43–48
- 「ベルギーの産業保健制度」武藤孝司『産業医学ジャーナル』35(3)71–75
- 「アプー・バクル・アッ=ラージー(ラーゼス)のガレノス批判(抄)」矢口直英『日本医史学雑誌』58(2)151
- 「イブン・ナフィースの血液理論再考」矢口直英『日本医史学雑誌』58(3)309–319

38 地方史

- 「アイヌ人集団と琉球人集団に関するゲノムワイドSNPデータから推測される日本列島におけるヒト集団の歴史」に対するコメント(英文)」Gojobori Jun『Journal of Human Genetics』57(12)753–754
- 「アイヌ人集団と琉球人集団に関するゲノムワイドSNPデータから推測される日本列島におけるヒト集団の歴史(英文)」『Journal of Human Genetics』57(12)787–795
- 「日本における近代医学発展の出発点としての長崎(抄)」Kohno Shigeru『日本マイコプラズマ学会雑誌』(38)27
- 「加賀藩種痘所の変遷(二)—彦三種痘所から南町金沢種痘所, そして卯辰山養生所へ—」赤祖

- 父一知『北陸医史』(34) 9-12
- 「黒川良安宅の変遷—古寺町の居宅について—」
赤祖父一知『北陸医史』(34) 6-8
- 「近世中期加賀藩の医者と金沢城内での医療」池
田仁子『研究紀要金沢城研究』(10)
- 「内藤記念くすり博物館に見る北陸の医薬」伊藤
恭子『北陸医史』(34) 3-5
- 「丹波の災害（第二部）—火災・旱魃・飢饉・疫
病・強訴・一揆—」上野栄二『丹波』(14)
- 「19世紀前半における地方藩医の蔵書と学問
Medical Books Collection and Learning of Local
Doctors employed by Han Government in the first
half of 19th Century (英文)」海原亮『International
Symposium on the History of Indigenous Knowledge
2012』55-60
- 「『東京府下死亡一週表』等の新資料にみる明治中
期東京の週（月）・年齢・地区別死亡（抄）」逢
見憲一『日本医史学雑誌』58(2) 195
- 「戦前・占領期を含む沖縄の平均寿命の年齢構
造—水島生命表，琉球政府生命表を用いて—
（抄）」逢見憲一『民族衛生』78(第77回日本民
族衛生学会総会講演集) 48-49
- 「感染症と闘った医師たち—塩谷地区の例から—
（抄）」岡一雄『日本医史学雑誌』58(2) 141-142
- 「呉市とあゆむ108年の歴史（抄）」小野哲也『共
済医報』61(Suppl.) 70
- 「沖縄県における看護師学校養成所の推移 第二
次世界大戦終了後～2009年まで」嘉手苅英子，
金城忍，高橋幸子『沖縄県立看護大学紀要』
(13) 115-122
- 「日向薬事始め（その14）日向における種痘の
歴史 再考（II）（抄）」岸信行，高村徳人，宇
佐見則行，山本郁男『薬史学雑誌』47(2) 163
- 「栃木県における結核伝播の考察（抄）」小林雅
興，関川知也『栃木県公衆衛生学会抄録集』50
回，145-147
- 「寛政11年の蝦夷地採薬使（抄）」佐藤麻莉『薬
史学雑誌』47(2) 176
- 「近世蝦夷地図の変遷（抄）」高木嵩世芝『薬史学
雑誌』47(2) 171
- 「第二次大戦後の滋賀県彦根市におけるマラリア
対策—自主製作映画「翼もつ熱病」について
（2）—（抄）」田中誠二，杉田聡，丸井英二『民
族衛生』78(第77回日本民族衛生学会総会講演
集) 116-117
- 「沖縄の医療の歴史と乳癌検診（抄）」玉城信光
『日本乳癌検診学会誌』21(3) 409
- 「幕末在村医と天然痘—栃木県塩谷町道下村青木
家文書から—（抄）」戸村光宏，岡一雄『日本
医史学雑誌』58(2) 214
- 「長野県上田市における家庭養護婦派遣事業の
「運営」に関する一考察」中寫洋『日本獣医生
命科学大学研究報告』(61) 98-105
- 「在村医の成立 備前国邑久郡の中島家について
（抄）」中島洋一『医譚』(112) 6598-6599
- 「明治32年における長野県松本の特別学級制度に
関する史的研究 就学猶予・免除者の状況と
「特別学級編製議按」の規定について」中嶋忍，
河合康『発達障害研究』34(2) 195-206
- 「東京の都市形成と医療（その1）（抄）」西巻明彦，
屋代正幸『日本歯科医史学会々誌』29(4) 264-
265
- 「地方会での取り組み 九州地方会設立の歴史
的経緯と現在の取り組み」蜂須賀研二『The
Japanese Journal of Rehabilitation Medicine』
49(11) 834-837
- 「東海地方における戦前の工場医会の活動 東海
地方の労働衛生の源流を探る（抄）」久永直見，
竹内康浩『産業衛生学雑誌』54(5) 184
- 「栃木（縣）医学校の推移（抄）」日野原正『日本
医史学雑誌』58(2) 143
- 「川崎の漢方医 岡家の医学」深瀬泰旦『川崎市
市民ミュージアム紀要』(24) 27-38
- 「江戸幕府と日光の医療（抄）」本田幹彦，中西公
司，本田雅巳，石川美知子，緑川由紀夫，原澤
寛，中元隆明『日本医史学雑誌』58(2) 147
- 「金沢藩医学館の生徒募集—金沢藩治政下の越中
国地方文書から—」正橋剛二『北陸医史』(34)
38-46
- 「高岡長崎家の蔵書印」正橋剛二『北陸医史』
(34) 31-37
- 「幕末と長崎と西洋医学」増崎英明『九州子防医

- 学研究』13(1)44-56
- 「江戸後期の岡山県邑久郡周辺における地域医療研究—中島家文書をもとに—(抄)」松村紀明, 木下浩, 梶谷真司, 鈴木則子『日本医史学雑誌』58(2)148
- 「熊本県におけるコレラの流行」水野公寿『史叢』(16)
- 「昭和初期の北海道における拓殖産婆の活動」宮本涼子, 前田尚美, 須藤桃代, 高橋弘子『天使大学紀要』13(1)5-18
- 「栃木県歯科事情—栃木県歯科医師会創立まで—(抄)」牟田紀一『日本医史学雑誌』58(2)145-146
- 「北海道におけるエキノコックス 疫学, 診断・治療, 対策 北海道のエキノコックスの歴史と疫学(抄)」八木欣平『北海道獣医師会雑誌』56(8)443
- 「古来から日本に伝わる伝承薬・アイヌの伝承医学について(抄)」山道康子『日本伝統獣医学会誌』20(1)4-5
- 「日向薬事始め(その11) 日向における蘭方医術の嚆矢者, 岩切芳哲とその周辺」山本郁男, 宇佐見則行, 程炳鈞, 岸信行『九州保健福祉大学研究紀要』(13)111-116
- 「日向薬事始め(その13) 日向における種痘の歴史再考(I)(抄)」山本郁男, 岸信行, 宇佐見則行『日本薬学会年会要旨集』132年会(4)356
- 「近世内中津川における天然痘流行と大肝煎小田切清左衛門」渡辺理絵『山形県地域史研究』(37)
- 39 治療史
- 「崔毛髪移植法の歴史考察と単一および束状毛髪移植の実施例に関する考察(抄)」Choi Sangho『日本美容外科学会会報』34(4)151-152
- 「日本における分化甲状腺癌の放射性ヨード(131I)療法 歴史的背景と将来の展望を含む最新の課題」Higashi Tatsuya, Kudo Takashi, Kinuya Seigo『Annals of Nuclear Medicine』26(2)99-112
- 「肥満治療のための過去, 現在, そして未来の外科的治療術(抄)」Nishi Gregg Kaizo『日本肥満症治療学会学術集会プログラム・抄録集』30回, 31
- 「モヤモヤ病に対する外科治療の発展の歴史」Matsushima Toshio, Inoue Kohei, Kawashima Masatou, Inoue Tooru『Neurologia medico-chirurgica』52(5)278-286
- 「臨床試験の歴史と将来像 米国NCIの協カグループプログラムの歴史と将来の方向性 IOMの勧告と新しいネットワークプログラムへの移行(抄)」Mooney Margaret『日本癌治療学会誌』47(3)705
- 「【End-of-life】終末期医療の中止と刑事裁判例の歴史」池田守, 前田正一『Intensivist』4(1)17-24
- 「【緩和ケア最前線】《緩和ケア医療の動向》わが国のホスピスケア 30年の流れ」池永昌之『Modern Physician』32(9)1066-1070
- 「内痔核治療の変遷と英国St. Mark's病院(II-III)」石川博文『臨床肛門病学』4(1-2)6-12, 74-80
- 「皮膚がん治療の過去と未来 皮膚がん治療の黎明期を振り返って(抄)」石原和之『日本癌治療学会誌』47(3)650
- 「皮膚がん治療の過去と未来 皮膚癌薬物療法の苦難の歴史(抄)」爲政大幾『日本癌治療学会誌』47(3)653
- 「【心身医療に活かすバイオフィードバック療法】わが国のバイオフィードバック療法の歴史」稲森義雄『心身医学』52(2)108-112
- 「乳癌ホルモン療法 その歴史と今(抄)」岩瀬弘敬『日本乳癌学会総会プログラム抄録集』20回, 191
- 「日本における食塩水皮下注入から静脈内持続点滴注入法の定着までの歩み」岩原良晴『日本医史学雑誌』58(4)437-455
- 「婦人科がん治療の過去と未来 卵巣がん治療50年の総括—non-platinumからplatinum, taxaneの開発(抄)」宇田川康博『日本癌治療学会誌』47(3)625
- 「糖尿病運動療法の過去・現在・将来」宇野智子, 佐藤祐造『日本体質医学会雑誌』74(1)1-6
- 「透析液作成の歴史(抄)」大澤貞利『日本透析医

- 学会雑誌』45 (Suppl. 1) 399
- 「臨床試験の歴史と将来像 わが国の薬剤開発試験体制の変遷と現状（抄）」大津敦『日本癌治療学会誌』47 (3) 703
- 「【パーキンソン病診療の最前線】概論 パーキンソン病治療のこれまで」大塚千久美『Modern Physician』32 (2) 145-149
- 「【即興音楽療法を考える】ノードフ・ロビンズ音楽療法（創造的音楽療法）について クライブ・ロビンズ博士を偲ぶ」岡崎香奈『日本音楽療法学会誌』12 (1) 11-16
- 「うつ病に対する行動活性化療法 歴史的展望とメタ分析」岡島義，国里愛彦，中島俊，高垣耕企『心理学評論』54 (4) 473-488
- 「胃癌診療の歴史（第11回） Mayo兄弟の幽門側胃切除手技の実際」岡島邦雄『胃がん perspective』5 (1) 62-69
- 「胃癌診療の歴史（第12回） 外科医の心得」岡島邦雄『胃がん perspective』5 (2) 130-134
- 「胃癌診療の歴史（第13回） Moynihanの胃切除術」岡島邦雄『胃がん perspective』5 (3) 202-209
- 「胃癌診療の歴史（第14回） 胃のリンパ路について」岡島邦雄『胃がん perspective』5 (4) 286-296
- 「気胸治療の歴史 原発性自然気胸に対する手術を中心として（抄）」長田博昭『日本気胸・嚢胞性肺疾患学会雑誌』12 (1) 33
- 「【心身医療の臨床に活かす自律訓練法】自律訓練法の歴史と発展」笠井仁『心身医学』52 (1) 12-18
- 「【子宮内膜症の薬物療法—薬物特性の理解と個別化治療】子宮内膜症薬物療法の歴史的推移」神崎秀陽『臨床婦人科産科』66 (10) 816-821
- 「関東通信病院におけるデルマトーム作成の歴史」菊地博達『ペインクリニック』33 (12) 1703-1705
- 「糖尿病臨床・研究の歴史をひもとく 糖尿病の合併症としての腎症や網膜症」葛谷健『プラクティス』29 (1) 84-86
- 「糖尿病臨床・研究の歴史をひもとく インスリン治療が広まってから合併症が増えた？ 暗い時代」葛谷健『プラクティス』29 (2) 196-199
- 「糖尿病臨床・研究の歴史をひもとく 血糖コントロールと血管合併症 筋肉毛細管基底膜論争」葛谷健『プラクティス』29 (3) 312-317
- 「糖尿病臨床・研究の歴史をひもとく DCCTへの道のり」葛谷健『プラクティス』29 (4) 433-439
- 「糖尿病臨床・研究の歴史をひもとく 食事療法の歴史的視点（1）」葛谷健『プラクティス』29 (5) 561-566
- 「【即興音楽療法を考える】分析的音楽療法における即興的なもの」小宮暖『日本音楽療法学会誌』12 (1) 17-24
- 「【血液透析器の最新技術】血液透析治療の歴史 装置工学的側面から見た」酒井清孝『膜』37 (1) 2-9
- 「慢性骨髄性白血病治療の歴史 治らなかった時代」坂巻壽『BIO Clinica』27 (10) 998-1002
- 「慢性骨髄性白血病治療の歴史 治療のためには辛い治療が必要だった時代」坂巻壽『BIO Clinica』27 (11) 1093-1097
- 「慢性骨髄性白血病治療の歴史 イマチニブの誕生」坂巻壽『BIO Clinica』27 (12) 1189-1193
- 「慢性骨髄性白血病治療の歴史 治療のパラダイムシフト」坂巻壽『BIO Clinica』27 (13) 1284-1287
- 「婦人科がん治療の過去と未来 卵巣がん治療 50年の総括 術式の変遷と標準的化学療法の確立（抄）」寒河江悟『日本癌治療学会誌』47 (3) 626
- 「頭頸部がん治療の過去と未来 頭頸部再建外科 発展の歴史（抄）」櫻庭実『日本癌治療学会誌』47 (3) 718
- 「糖尿病の運動療法（第1回） 糖尿病運動療法の歴史と変遷」佐藤祐造『月刊糖尿病』4 (6) 92-101
- 「臨床試験の歴史と将来像 外科治療・補助化学療法の臨床試験の回顧と展望（抄）」佐野武『日本癌治療学会誌』47 (3) 707
- 「ボツリヌス治療の原点—ドイツ人医師J・ケル

- ナーによる190年前の子見一(抄) 澤田麻衣子『日本医史学雑誌』58(2)158
- 「臨床試験の歴史と将来像 研究者主導臨床試験と薬事/保険制度の関わりの変遷(抄)」柴田大朗『日本癌治療学会誌』47(3)704
- 「中枢神経腫瘍治療の過去と未来 グリオーマ治療の歴史と今後やるべきこと(抄)」渋井壮一郎『日本癌治療学会誌』47(3)666
- 「医療文化に根差した江戸期インフルエンザパンデミック治療戦略の検証(抄)」島田佳代子, 高橋京子『日本薬学会年会要旨集』132年会(4)327
- 「婦人科がん治療の過去と未来 子宮頸がん手術療法の歴史と展望(抄)」杉森甫『日本癌治療学会誌』47(3)628
- 「肝炎対策の歩み 半世紀の変遷と今後の展望(抄)」瀬尾靖『CAMPUS HEALTH』49(4)62
- 「わが国における痔瘻治療の発展の歴史と今後の方向性(抄)」高野正博, 緒方俊二, 辻順行, 久野三朗, 佐伯泰慎, 福永光子, 田中正文, 村田隆二, 中村寧, 佐藤太一, 入江朋子, 深見賢作, 野口忠昭, 野明俊裕, 荒木靖三, 山田一隆『日本大腸肛門病学会雑誌』65(9)497
- 「明治初期日本における医療情報の移入と伝達—西南戦争と皮下注射法の普及—(抄)」月澤美代子『日本医史学雑誌』58(2)202
- 「明治初期日本における医療情報の伝達—西南戦争・コレラと皮下注射法の普及—」月澤美代子『日本医史学雑誌』58(4)457-470
- 「胃がん治療の過去と未来 胃癌手術療法の変遷(1990年まで)(抄)」辻仲利政『日本癌治療学会誌』47(3)597
- 「胃がん治療の過去と未来 胃癌手術の変遷(1990年以降と将来展望)(抄)」寺島雅典『日本癌治療学会誌』47(3)598
- 「中枢神経腫瘍治療の過去と未来 グリオーマに対する放射線治療の現状と展望(抄)」寺原敦朗『日本癌治療学会誌』47(3)667
- 「臨床試験の歴史と将来像 正しい理解に欠けていた私たち 統計的方法論の変遷(抄)」手良向聡『日本癌治療学会誌』47(3)702
- 「HER2陽性胃癌 個別化治療の幕開け 乳癌における抗HER2療法の歴史(抄)」徳田裕『日本胃癌学会総会記事』84回, 130
- 「血液がん治療の過去と未来 化学療法の歴史とその到達点(抄)」朝長万左男『日本癌治療学会誌』47(3)632
- 「臨床研究の歴史とその意義, そして臨床疑問を考える(抄)」中川敦夫『児童青年精神医学とその近接領域』53(3)345-346
- 「食事療法150年と明日 肥満症(抄)」中島啓『New Diet Therapy』28(2)121
- 「皮膚がん治療の過去と未来 皮膚がん手術療法の歴史と今後の展望 皮膚科の立場から(抄)」並川健二郎『日本癌治療学会誌』47(3)651
- 「泌尿器がん治療の過去と未来 精巣腫瘍診療の過去と未来(抄)」野々村祝夫, 植村元秀, 垣本健一, 西村和郎, 木村泰典, 中村晃和, 三木恒治『日本癌治療学会誌』47(3)612
- 「脊柱側彎症治療の歴史と現況」野原裕『脊椎外科』26(2)162-169
- 「遺伝子工学からの恩恵 Parkinson病に対する遺伝子治療の歴史」波田野琢, 服部信孝『BIO Clinica』27(1)100-104
- 「大腸がん治療の過去と未来 結腸癌術後補助療法の開発歴史〈欧米と日本との治療成績及びアプローチの違い〉(抄)」濱口哲弥『日本癌治療学会誌』47(3)685
- 「高血圧・冠動脈疾患の診療 半世紀の変遷と今後の展望(抄)」平田健一『CAMPUS HEALTH』49(4)63
- 「肺がん治療の過去と未来 肺癌化学療法の歩みと今後の課題(抄)」福岡正博『日本癌治療学会誌』47(3)606
- 「潰瘍性大腸炎の外科治療の歴史」福島恒男『多摩消化器シンポジウム誌』26(1)5-10
- 「臨床試験の歴史と将来像 日本のCooperative Groups 歴史と展望(抄)」福田治彦『日本癌治療学会誌』47(3)706
- 「皮膚がん治療の過去と未来 皮膚がん手術療法の歴史と今後の展望 形成外科の立場から(抄)」古川洋志, 林利彦, 大芦孝平, 山本有平,

- 齋藤亮，皆川英彦，堤田新，関堂充，桑原広昌，木村中，吉田哲憲『日本癌治療学会誌』47(3) 652
- 「大腸癌の診断・治療のこの40年の歴史と進歩（第1回）大腸癌の基礎的研究の進歩」北條慶一『消化器外科』35(11) 1685-1690
- 「大腸癌の診断・治療のこの40年の歴史と進歩（第2回）大腸癌の診断・治療技術の進歩」北條慶一『消化器外科』35(12) 1823-1829
- 「大腸癌の診断・治療のこの40年の歴史と進歩（第3回）直腸癌の治療技術の進歩」北條慶一『消化器外科』35(13) 1939-1945
- 「血液がん治療の過去と未来 同種造血幹細胞移植の歴史（抄）」正岡徹『日本癌治療学会誌』47(3) 633
- 「【End-of-life】米国における終末期医療 withdraw, 心臓死後臓器提供, 教育, 研究」松崎孝, 酒井哲郎『Intensivist』4(1) 35-42
- 「【高血圧に対する効果的な運動療法】高血圧の運動療法の歴史」松田拓朗, 藤見幹太, 塩瀬圭佑, 荒川規矩男『臨床スポーツ医学』29(11) 1089-1095
- 「明治時代の「輸血学」」松田利夫, 清水勝『人工血液』19(3) 89-98
- 「【呼吸器離脱】人工呼吸器離脱に有用な指標, 呼吸器モニター 呼吸器離脱を予測する指標 歴史の変遷」南太郎『Intensivist』4(4) 815-818
- 「免疫療法の歴史と未来 非小細胞肺癌に対する α ガラクトシルセラミドパルス樹状細胞療法（抄）」本橋新一郎, 吉野一郎, 谷口克, 中山俊憲『日本癌治療学会誌』47(3) 762
- 「【End-of-life】ヨーロッパにおける終末期医療 個人主義の国々における終末期医療の考え方」矢口有乃『Intensivist』4(1) 49-54
- 「免疫療法の歴史と未来 がん免疫療法の歴史と現状および将来（抄）」山口佳之『日本癌治療学会誌』47(3) 758
- 「食事療法150年と明日 通論「食事療法150年」（抄）」山下光雄『New Diet Therapy』28(2) 118
- 「Lithium療法の歴史と現状」渡邊昌祐『臨床精神薬理』15(9) 1439-1450
- ## 40 伝記
- 「萩藩南苑医学校飜訳掛 青木周弼」森川潤『広島修大論集』52(2) 35-61
- 「膠原病を克服した人々 アガサ・クリスティ（1890～1976年）ミステリー作家アガサ・クリスティもリウマチを患っていた？」酒井シヅ『RA Trends』(5) 17
- 「歴史上有名人と脳卒中（第4回）天璋院篤姫 心房細動による心原性脳塞栓症」濱田陸三, 高嶋博『分子脳血管病』11(4) 456-461
- 「京都大学附属図書館「富士川文庫」と安藤昌益研究」石渡博明『日本医史学雑誌』58(4) 491-492
- 「ある医学専門学校長の晩年と死」小関恒雄『医譚』(112) 6511-6516
- 「石崎家の医療史（抄）」石崎道治『日本医史学雑誌』58(2) 139
- 「石田梅岩の死因」杉浦守邦『医譚』(112) 6555-6572
- 「近代西洋歯科医学の先駆者・一井正典・生誕150周年」松本晋一『日本歯科医史学会々誌』29(4) 311-321
- 「神奈川が生んだ洋方侍医・伊東方成のこと 明治天皇の拝診も拒まれ, 明治初期の脚気問題のなかに苦衷した」柏木政伸『藤沢市内科医学会雑誌』(24) 29-31
- 「黄疸出血性レプトスピラの発見により, ノーベル賞候補に推薦された井戸泰（1881～1919）（抄）」佐藤裕『日本医史学雑誌』58(2) 208
- 「次郎長を看取った西洋医 明治の医師・植木重敏」植木豊『医譚』(113) 6680-6687
- 「歴史上有名人と脳卒中（第3回）上杉謙信 高血圧性脳出血」西澤正豊『分子脳血管病』11(3) 351-354
- 「礎を築いた人（第20回）瓜生イワ」蟻塚昌克『月刊福祉』95(1) 66-67
- 「太田正雄の幻の映画「螺旋形の悪魔」」小野友道『日本皮膚科学会雑誌』122(6) 1549-1564
- 「礎を築いた人（第22回）大西良慶」蟻塚昌克『月刊福祉』95(4) 66-67
- 「緒方洪庵と除痘館社中の人脈・学統」古西義磨

- 『医譚』(113) 6671-6679
- 「医人群像 29 医聖曲直瀬道三の奥義を継承—『万病回春』を臨床応用し江戸初期に広く支持を集める—岡本玄治 1587-1645」秋葉哲生『漢方医学』36(3) 220
- 「青い血のカルテ (SERIES 100) オキシトシンとオリンピック」早川智『産科と婦人科』79(8) 1041-1043
- 「奥田謙蔵の家譜の調査(抄)」松岡尚則, 栗林秀樹, 別府正志, 山口秀敏, 中田英之, 岩井祐泉, 並木隆雄, 秋葉哲生, 牧角和宏, 三浦於菟『日本医史学雑誌』58(2) 216
- 「お玉ヶ池種痘所の設立に参加した上山藩医奥山玄仲」深瀬泰旦『日本医史学雑誌』58(3) 301-308
- 「大谷藤郎さんをしのんで 大谷藤郎(1924.3.27-2010.12.07)」岡田靖雄『医学史研究』(94) 21-25
- 「戦国時代千夜一夜 益軒が殿に語った歴史夜話 第一夜 天下人・織田信長の出したお触れ」山崎光夫『大塚薬報』(672) 70-73
- 「古典あれこれ 耳鼻咽喉科学のパイオニア 世界編 鼻科学 Adolf Onodi」加藤康弘『JOHNS』28(6) 964-966
- 「日本の長寿と食養生 貝原益軒 渡邊昌『医と食』4(1) 35-37
- 「歴史上の有名人と脳卒中(第1回) 貝原益軒 脳梗塞に嚥下性肺炎の合併が疑われた一例」後藤聖司, 井林雪郎『分子脳血管病』11(1) 103-107
- 「郷土のほこり 福岡の先賢医師 幕末の三大本草家の一人・大分の賀来飛霞(1816~1894)」木村専太郎『福岡県医報』(1428) 12-13
- 「『牛山活套』に見られる香月牛山の志向性(抄)」山田恵美『日本東洋医学雑誌』63(別冊) 278
- 「戦国時代千夜一夜 益軒が殿に語った歴史夜話 第九夜 加藤清正の度量」山崎光夫『大塚薬報』(680) 66-69
- 「戦国時代千夜一夜 益軒が殿に語った歴史夜話 第十夜 蒲生氏郷の知能と悲劇」山崎光夫『大塚薬報』(681) 66-69
- 「古典あれこれ 耳鼻咽喉科学のパイオニア 世界編 鼻科学 Manuel Garcia」新美成二『JOHNS』28(8) 1234-1236
- 「医者も知りたい【医者のはなし】(第54回) 旗本でお玉ヶ池種痘所の立て役者 川路聖謨(1801~1868)」木村専太郎『臨床整形外科』47(11) 1094-1098
- 「古典あれこれ 耳鼻咽喉科学のパイオニア 世界編 気管食道科学 Gustav Killian」山下公一『JOHNS』28(11) 1788-1792
- 「九州大学耳鼻咽喉科学教室初代教授 久保猪之吉—第2報 同門の語り—toみられる“医の倫理”—(抄)」丸山マサ美, 小宗静男, 吉田眞一, 副島忠弘, 末松孝文, 下川元継『日本医史学雑誌』58(2) 210
- 「九州大学耳鼻咽喉科学教室初代教授 久保猪之吉の業績—第1報 “同門の語り” toみられる久保像—(抄)」丸山マサ美, 小宗静男, 吉田眞一, 下川元継, 副島忠弘, 末松孝文『日本医史学雑誌』58(2) 209
- 「歴史上の人物を診る 第28回 ウィーン分離派にとどめを刺したスペイン風邪 グスタフ・クリムト(1862-1918年)」早川智『Medical ASAHI』41(1) 88
- 「日本の長寿と食養生 甲田光雄 渡邊昌『医と食』4(3) 148-150
- 「近代医学を築いた人々 コッヘルと甲状腺外科」安室芳樹『医学のあゆみ』243(3) 265
- 「近代医学を築いた人々 コッホと結核研究」安室芳樹『医学のあゆみ』241(3) 231
- 「医史資料 鼓室形成術黎明期 後藤修二先生の奮闘」中島務『現代医学』60(2) 503-507
- 「戦国時代千夜一夜 益軒が殿に語った歴史夜話 第七夜 小早川隆景の知略と思案」山崎光夫『大塚薬報』(678) 64-67
- 「医者も知りたい【医者のはなし】(第51回) 順天堂第三代堂主・佐藤 進(1845~1921)」木村専太郎『臨床整形外科』47(5) 468-473
- 「佐藤精一郎と東京医学院(抄)」樋口輝雄『日本医史学雑誌』58(2) 168
- 「医者も知りたい【医者のはなし】(第49回) 江戸後期の医師・佐藤泰然(1804~1871)」木村

- 専太郎『臨床整形外科』47(1) 84-88
- 「胃学のあゆみ 修道士サリンベアーネの記録」岡部進『消化器の臨床』15(1) 104-106
- 「礎を築いた人（第30回） 澤田美喜 蟻塚昌克『月刊福祉』95(13) 70-71
- 「青い血のカルテ（SERIES 104） サンタクロースと二足歩行」早川智『産科と婦人科』79(12) 1569-1571
- 「CHILD WELFARE WORK IN JAPAN By Dr. HIRAKU SANDAYA（抄）」小野尚香『医譚』(112) 6605-6606
- 「もう1人のクリミアの天使 Mary Seacole（1805-81）」田村直俊『埼玉医科大学短期大学紀要』23, 1-6
- 「医学史点描 島峰徹とその時代 順調なドイツの島峰，逆境の明治歯科界」村上徹『群馬県歯科医学会雑誌』16, 37-57
- 「近代医学を築いた人々 シモンと腎摘出術」安室芳樹『医学のあゆみ』243(7) 641
- 「古典あれこれ 耳鼻咽喉科学のバイオニア 世界編 気管食道科学 Chevalier Jackson」福田宏之『JOHNS』28(12) 1926-1929
- 「インドにおける薬学教育の父，Mahadeva Lal Schroffの生涯」夏目葉子『薬史学雑誌』47(2) 134-143
- 「近代医学を築いた人々 シンプソンのクロロフォルム麻酔」安室芳樹『医学のあゆみ』242(3) 277
- 「関寛斎の医の倫理観（抄）」関根透，島田道子『神奈川医学会雑誌』39(2) 333
- 「近代医学を築いた人々 ゼンメルワイスと産褥熱」安室芳樹『医学のあゆみ』242(8) 621
- 『「家庭衛生及び治病」（大正4年刊）にみる高木兼寛の医療観（抄）」蝦名總子，平尾真智子，芳賀佐和子『日本医史学雑誌』58(2) 185
- 「脚気に勝利したビタミン 高木兼寛が脚気栄養説のために用いた研究方法（抄）」松田誠『ビタミン』86(2) 128
- 「高木兼寛と教育勅語」松田誠『東京慈恵会医科大学雑誌』127(4) 169-174
- 「高橋琢也と学生達（疾風怒濤の物語）（6）」友田あき夫『東京医科大学雑誌』70(3) 294-327
- 「高山紀斎の生涯（その4 高山の晩年）（抄）」水川秀海『日本歯科医史学会々誌』29(4) 289
- 「戦国時代千夜一夜 益軒が殿に語った歴史夜話 第六夜 武田信玄の説く理想の勝ち方」山崎光夫『大塚薬報』(677) 64-67
- 「歴史上の人物を診る 第33回 最も子だくさん？の皇帝 チンギス・ハーン（1162年頃-1227年）」早川智『Medical ASAHI』41(6) 87
- 「古典あれこれ 耳鼻咽喉科学のバイオニア 世界編 鼻科学 Emil Zuckerkandl」市村恵一『JOHNS』28(1) 104-108
- 「医者も知りたい【医者のはなし】（第50回） 日本三大蘭方医・坪井信道（1795-1848）織田信長直系の子孫で緒方洪庵の師」木村専太郎『臨床整形外科』47(3) 256-260
- 「古典あれこれ 耳鼻咽喉科学のバイオニア 世界編 鼻科学 Alfred Denker」小川浩司『JOHNS』28(4) 692-695
- 「性の健康医学財団 創立90周年記念講演 土肥慶蔵の事績を中心として」北村唯一『性の健康』10(2) 3-11
- 「元帥東郷平八郎使用と伝わる総義歯（入交直重 東洋女子歯科医学専門学校教授所蔵）（抄）」永藤欣久『日本歯科医史学会々誌』29(4) 284
- 「戦国時代千夜一夜 益軒が殿に語った歴史夜話 第三夜 徳川家康が説く人生心得」山崎光夫『大塚薬報』(674) 63-66
- 「戦国時代千夜一夜 益軒が殿に語った歴史夜話 第四夜 徳川光圀の黄門裁きと隠居生活」山崎光夫『大塚薬報』(675) 58-61
- 「あなたの知らないナイチンゲール 米国ナースが目指す21世紀の看護マインド（第1回） ナイチンゲールの本当の功績とは」岩田恵里子『Nursing BUSINESS』6(4) 344-346
- 「あなたの知らないナイチンゲール 米国ナースが目指す21世紀の看護マインド（第2回） 大富豪のお嬢様だった！ フローレンス・ナイチンゲールの幼少時代」岩田恵里子『Nursing BUSINESS』6(5) 440-443
- 「あなたの知らないナイチンゲール 米国ナース

- が目指す21世紀の看護マインド(第3回) 白衣の天使は、図表を武器に戦う統計学者だった!」岩田恵里子『Nursing BUSINESS』6(6) 528-531
- 「あなたの知らないナイチンゲール 米国ナースが目指す21世紀の看護マインド(第4回) ナイチンゲールはReformer(改革者)だった!」岩田恵里子『Nursing BUSINESS』6(7) 626-629
- 「あなたの知らないナイチンゲール 米国ナースが目指す21世紀の看護マインド(第5回) ナイチンゲールがいちばん大切にしていたのは「Spirituality」だった」岩田恵里子『Nursing BUSINESS』6(8) 722-725
- 「あなたの知らないナイチンゲール 米国ナースが目指す21世紀の看護マインド(第6回) ナイチンゲールは、公衆衛生・訪問看護のパイオニアだった」岩田恵里子『Nursing BUSINESS』6(9) 820-823
- 「あなたの知らないナイチンゲール 米国ナースが目指す21世紀の看護マインド(第7回) ナイチンゲールの挫折 軌道に乗せられなかった助産師教育」岩田恵里子『Nursing BUSINESS』6(10) 920-923
- 「あなたの知らないナイチンゲール 米国ナースが目指す21世紀の看護マインド(第8回) ナイチンゲールも知らない「ナイチンゲール誓詞」」岩田恵里子『Nursing BUSINESS』6(11) 1014-1017
- 「あなたの知らないナイチンゲール 米国ナースが目指す21世紀の看護マインド(第9回) 失意のEnvironmentalist(衛生改革家), クリミア戦争中の功績に衝撃の事実」岩田恵里子『Nursing BUSINESS』6(12) 1104-1107
- 「ナイチンゲール 女性の専門職を創設する 19世紀は女性の世紀」佐々木秀美『看護学統合研究』13(2) 16-41
- 「著作物からみるナイチンゲールの業績とその先見性」リン・マクドナルド『総合看護』47(2) 49-58
- 「ナイチンゲールに対する攻撃は妥当か その事実・虚像・根拠」リン・マクドナルド『総合看護』47(3) 5-14
- 「ナイチンゲールにみる看護の科学性の礎」金井一薫『日本看護研究学会雑誌』35(1) 19-23
- 「中神琴溪の医術と医学思想」館野正美『漢方の臨床』59(12) 2065-2098
- 「中島友玄の京遊備忘 其の一一京都での文人・儒者との交流一(抄)」中島洋一『日本医史学雑誌』58(2) 149
- 「膠原病を克服した人々 夏目漱石(1867~1916年)」酒井シヅ『RA Trends』(4) 12
- 「青い血のカルテ(SERIES 97) ウラジミールナポコフと共感覚」早川智『産科と婦人科』79(5) 639-641
- 「西玄甫(一六三六~八四)の外科免許状について(抄)」W. ミヒェル『医譚』(112) 6602-6604
- 「青い血のカルテ(SERIES 98) エジプト王妃ネフェルティティの化粧」早川智『産科と婦人科』79(6) 782-784
- 「病名に名を残した医学者 ジェイムズ・パーキンソン」新井平伊『認知症の最新医療』2(2) 96
- 「古典あれこれ 耳鼻咽喉科学のパイオニア 世界編 鼻科学 Markus Hajek」小川浩司『JOHNS』28(3) 560-562
- 「畏友橋本和夫君の思い出」正橋剛二『北陸医史』(34) 54-57
- 「近代医学を築いた人々 パストゥールと狂犬病」安室芳樹『医学のあゆみ』240(7) 607
- 「近代医学を築いた人々 パストゥールと炭疽」安室芳樹『医学のあゆみ』240(3) 257
- 「華岡青洲が考案した外科結び(抄)」長谷川弥『日本歯科医史学会々誌』29(4) 299
- 「日本の精神医学を築いた人々 [第4部] 林すすむ」風祭元『臨床精神医学』41(12) 1743-1748
- 「郷土のほこり 福岡の先賢医師 原志免太郎」原寛『福岡県医報』(1435) 22-24
- 「東京・青山霊園ハルツホルン(Henry Hartshorne: 華爾都保崙; 乞治呵倫)の墓」樋口輝雄『日本医史学雑誌』58(3) 421-422
- 「病名に名を残した医学者 ジョージ・サムナー・ハンチントン George Sumner Huntington [1850-

- 1916]」新井平伊『認知症の最新医療』2(4) 204
- 「青い血のカルテ (SERIES 102) 生牡蠣を愛した鉄血宰相ビスマルク」早川智『産科と婦人科』79(10) 1303-1305
- 「二十世紀前半における医学・科学知識の伝播について ヒルシュフェルトの影響を中心に」香戸美智子『医譚』(112) 6527-6538
- 「歴史上の人物を診る 第31回 カイザーを受け損なったカイザー ヴィルヘルム2世 (1859~1941年)」早川智『Medical ASAHI』41(4) 87
- 「近代医学を築いた人々 ビルロートと胃切除術」安室芳樹『医学のあゆみ』243(11-12) 995
- 「日本初公費負担による学校看護婦「広瀬ます」の学校教育に与えた影響 (抄)」石川フカエ『川崎医療福祉学会誌』21(2) 328-329
- 「ブルハーフェ (1668~1738) の『医学教程』」坂井建雄，澤井直『日本医史学雑誌』58(3) 357-372
- 「ブルハーフェ (1668~1738) の『箴言』における疾患概念について (抄)」坂井建雄『日本医史学雑誌』58(2) 155
- 「歴史上有名人と脳卒中 (第2回) 福澤諭吉 再発性脳卒中」佐々木貴浩，荒木信夫『分子脳血管病』11(2) 219-223
- 「富士川英郎と日本医史学」富士川義之『日本医史学雑誌』58(4) 487-488
- 「富士川游先生のこと (抄)」岡田靖雄『日本医史学雑誌』58(4) 485-486
- 「富士川游の宗教思想—「内観」から「妙好人」へ—」土屋久，堀口久五郎『文教大学生生活科学研究』(34) 177-186
- 「青い血のカルテ (SERIES 101) 「エロスの接吻で目覚めるプシュケ」あるいはキスとサイトメガロウイルスの関係」早川智『産科と婦人科』79(9) 1165-1167
- 「歴史上の人物を診る 第35回 居眠りする大家 ヨハネス・ブラームス (1833-1897年)」早川智『Medical ASAHI』41(8) 81
- 「古典あれこれ 耳鼻咽喉科学のバイオニア 世界編 喉頭科学 Wilhelm Bruenings」廣瀬肇『JOHNS』28(9) 1528-1531
- 「古典あれこれ 耳鼻咽喉科学のバイオニア 世界編 鼻科学 S. Arthur W. Proetz」市村恵一，井口郁雄『JOHNS』28(7) 1096-1101
- 「ベルツ博士の日光訪問と栄養論議 (抄)」山上勝久『医譚』(112) 6589-6590
- 「青い血のカルテ (SERIES 95) 重い鎧とヘンリー5世」早川智『産科と婦人科』79(3) 359-361
- 「歴史上の人物を診る第30回 重い鎧と国王の采配 ヘンリー5世 (1387~1422年)」早川智『Medical ASAHI』41(3) 86
- 「イギリス帰国後のベンジャミン・ホブソン (合信) (抄)」八耳俊文『医譚』(112) 6604-6605
- 「青い血のカルテ (SERIES 103) ニコロ・マキャベリと知能の進化」早川智『産科と婦人科』79(11) 1427-1429
- 「近代医学を築いた人々 マクドローウェルと卵巣腫瘍 (嚢腫)」安室芳樹『医学のあゆみ』242(11) 898
- 「京都大学整形外科学教室初代教授松岡道治の生い立ち」廣谷速人『日本医史学雑誌』58(3) 393-400
- 「松原一閑齋の医術について」松岡尚則，栗林秀樹，別府正志，山口秀敏，中田英之，他『漢方の臨床』59(2) 301-311
- 「近代医学教育の基礎を築いた松本良順」酒井シヅ『東医協広報』(200) 2-5
- 「日本漢方の頻用処方是谁が決めたのか? 『衆方規矩』にみる曲直瀬玄朔の影響 (抄)」星野卓之，天野陽介，小曾戸洋，花輪壽彦『日本東洋医学雑誌』63(別冊) 272
- 「女医丸茂むねの一生と明治期の女子医学生達の教育 (抄)」志村俊郎，唐澤信安，殿崎正明，山本鼎，幸野健，寺本明『日本医史学雑誌』58(2) 167
- 「歴史上の人物を診る 第37回 英雄の目に涙 源義経 (1159年-1189年)」早川智『Medical ASAHI』41(10) 88
- 「歴史上の人物を診る 第39回 歯の痛い独裁者 源頼朝 (1147-1199)」早川智『Medical ASAHI』41(12) 92

- 「郷土のほこり 福岡の先賢医師 シーボルト鳴滝塾初代塾頭・美馬順三(1795-1825)」木村専太郎『福岡県医報』(1432) 8-9
- 「郷土のほこり 福岡の先賢医師 九州で二番目に人体解剖をした大分中津の蘭方医・村上玄水(1781~1843)」木村専太郎『福岡県医報』(1430) 12-13
- 「近代医学を築いた人々 メチニコフと食細胞説」安室芳樹『医学のあゆみ』241(7) 551
- 「戦国時代千夜一夜 益軒が殿に語った歴史夜話 第五夜 毛利元就・息子三人の雪合戦と西国制覇」山崎光夫『大塚薬報』(676) 58-61
- 「近代医学を築いた人々 モートンのエーテル麻酔」安室芳樹『医学のあゆみ』241(11) 871
- 「オットー・モーニッケの教えた最新の西洋医学(抄)」相川忠臣『日本医史学雑誌』58(2) 213
- 「医者としての本居宣長の時代と健康(抄)」吉田悦之『日本健康医学会雑誌』21(3) 133
- 「戦国時代千夜一夜 益軒が殿に語った歴史夜話 第二夜 豊臣秀吉が見立てた一人前の武将」山崎光夫『大塚薬報』(673) 66-69
- 「戦国時代千夜一夜 益軒が殿に語った歴史夜話 第八夜 森蘭丸が信長に示した機知」山崎光夫『大塚薬報』(679) 66-69
- 「日本のジャンヌダルクとよばれた女性 会津人・山本八重(抄)」星亮一『日本輸血細胞治療学会誌』58(2) 184
- 「熊慶笏の著作について(抄)」宮川隆弘『日本医史学雑誌』58(2) 226
- 「医者も知りたい【医者のはなし】(第53回) 東京女子医科大学創始者 愛と至誠に生きた吉岡彌生(1871~1959) 奮闘記」木村専太郎『臨床整形外科』47(9) 892-897
- 「第27回吉岡弥生記念講演会 弥生先生を語る」鷺山恭彦『女醫会』(796) 1-7
- 「らいてうと「からだ」—持病の自己管理を通して—」奥村直史『平塚らいてうの会紀要』(5)
- 「近代医学を築いた人々 リスターと消毒法」安室芳樹『医学のあゆみ』240(11) 943
- 「明治期京都におけるドイツ語教師ルードルフ・レーマンの事跡」榎原正義『医譚』(113) 6688-6699
- 「病名に名を残した医学者 フレデリック・レビー」新井平伊『認知症の最新医療』2(1) 44
- #### 41 伝記(双)
- 「有持桂里の墓碑銘について 附 西里野口先生小伝」原桃介『漢方の臨床』59(9) 1689-1692
- 「石見銀山「いも代官」井戸平左衛門と医師・中嶋見龍および錦織玄秀“診察録”について(抄)」成田研一『薬史学雑誌』47(2) 151
- 「岩倉具視、伊藤博文と赤十字との出会い」黒沢文貴『日本歴史』(768) 100-102
- 「上山藩医 奥山玄育と荻野元凱」深瀬泰旦『日本医史学雑誌』58(4) 471-484
- 「群星光芒 近代医人の群像(抄)」篠田達明『日本整形外科学会雑誌』86(8) S1021
- 「古典あれこれ 耳鼻咽喉科学のパイオニア 世界編 鼻科学 2人のCaldwell George W. CaldwellとEugene W. Caldwell」近藤健二『JOHNS』28(5) 816-819
- 「小金井良精と長谷川泰(抄)」幸野健, 唐沢信安, 殿崎正明, 山本鼎, 志村俊郎『日本医史学雑誌』58(2) 165
- 「ファン・マンスフェルトの訳官 佐藤方朔の資料の検討(抄)」相川忠臣『医譚』(112) 6597-6598
- 「古典あれこれ 耳鼻咽喉科学のパイオニア 世界編 鼻科学 SchaeferとLynch」洲崎春海『JOHNS』28(2) 226-230
- 「朝鮮半島の精神医学を築いた3人の医学者 水津信治・久保喜代二・明柱完」風祭元『日本医事新報』(4624) 86-89
- 「古典あれこれ 耳鼻咽喉科学のパイオニア 世界編 喉頭科学 SemonとRosenbach」澤島政行『JOHNS』28(10) 1668-1671
- 「青い血のカルテ(SERIES 96) ダビデとゴリアテと投石器」早川智『産科と婦人科』79(4) 499-501
- 「新渡戸稲造と星一の交流(抄)」三澤美和『薬史学雑誌』47(2) 155
- 「青い血のカルテ(SERIES 94) 近親結婚とスペイン・ハプスブルク家の滅亡」早川智『産科と

- 婦人科』79(2) 229-231
- 「医者も知りたい【医者のはなし】(第52回) C.W. フーフェラントと緒方洪庵」木村専太郎『臨床整形外科』47(7) 650-654
- 「日本における近代医学の原点を辿る 福澤諭吉と北里柴三郎(抄)」北里一郎，末松誠『医学教育』43(Suppl.) 4
- 「郷土のほこり 福岡の先賢医師『古川家五代の生き方』(その1)」原寛『福岡県医報』(1437) 10-11
- 「青い血のカルテ (SERIES 99) 現代人と共存したホビット族」早川智『産科と婦人科』79(7) 913-915
- 「宮川量と桜井方策，二つの「日本癩病史」「現場」の「当事者」によるハンセン病史叙述を考える」平井雄一郎『国立ハンセン病資料館研究紀要』(3) 31-45

42 伝染病史・防疫史・感染症史

- 「臨床疫学余聞 黄熱病 古典疫学と寄生虫疫学の登場」青木國雄『現代医学』60(1) 215-219
- 「臨床疫学余聞 ポストン医学改善協会，Oliver Wendell Holmes, Sr.」青木國雄『現代医学』60(2) 509-513
- 「【風疹の今を考える】わが国の風疹対策の歴史」植田浩司『小児科』53(9) 1143-1149
- 「ハンセン病療養所における盲人組織の設立—1950年代を中心に—」金貴粉『国立ハンセン病資料館研究紀要』(3) 17-30
- 「性感染症の過去・現在・未来」熊本悦明『日本性感染症学会誌』23(1) 14-37
- 「スポーツ現場における黄色ブドウ球菌感染症の現状とその研究の展望」鈴木耕太郎『筑波大学体育科学系紀要』35, 17-25
- 「戦後占領期における天然痘の流行と対策(抄)」田中誠二，杉田聡，丸井英二『日本医史学雑誌』58(2) 194
- 「戦後占領期における発疹チフスの流行 昭和21年の東京に着目して(抄)」田中誠二，杉田聡，丸井英二『日本公衆衛生学会総会抄録集』71回，458

- 「国立療養所大島青松園で生きたハンセン病療養者の語る災害の歴史(抄)」谷川貴浩，大石由紀，宮脇秀子，新上仁美，近藤真紀子『日本ハンセン病学会雑誌』81(1-2) 78
- 「「温疫論」と伝染概念(抄)」西巻明彦『日本医史学雑誌』58(2) 220
- 「【国際感染症対策の現状と課題】わが国の熱帯医学，国際感染症研究の歩み」山本太郎『公衆衛生』76(8) 592-595

43 東洋医学史・伝統医学史

- 「漢学研究の研究戦略—1920年代台湾における杜聰明の医学思想—Research Strategy of Chinese Medicine: A Case of Dr. Tsungming Tu in the 1920's Taiwan (抄)(英)」Sean Hsiang-lin Lei『薬史学雑誌』47(2) 159
- 「【小児プライマリ・ケアと漢方—さあ，漢方薬を使ってみよう—】小児科統合医療からみた日本漢方の歴史」秋葉哲生『外来小児科』15(3) 297-304
- 「灸の臨床応用再発見 灸の歴史の概要(抄)」天野陽介『日本東洋医学雑誌』63(別冊) 156
- 「目でみる漢方史料館(280) 仲景診脈図」天野陽介，小曾戸洋『漢方の臨床』59(1) 2-4
- 「目でみる漢方史料館(286) 『難経疏証』の成立過程—多紀元胤書入『難経集注』」天野陽介，小曾戸洋『漢方の臨床』59(7) 1222-1224
- 「漢代の医学(その21) 養生論」家本誠一『漢方の臨床』59(4) 797-806
- 「漢代の医学(その22) 傷寒論(1-2)」家本誠一『漢方の臨床』59(10-11) 1837-1842, 2003-2009
- 「『外科百効全書』の鍼灸(抄)」上田善信『日本医史学雑誌』58(2) 238
- 「中国鍼灸歌賦について(抄)」浦山きか『日本医史学雑誌』58(2) 182
- 「古代中国医学に基づく美容鍼灸 『黄帝内経』『論語』からのアプローチ」王財源『東洋医学とペインクリニック』41(3-4) 68-76
- 「附子の品質と毒性に関する史的考察」大井逸輝，河崎亮一，田中健太郎，御影雅幸『日本東洋医学雑誌』63(5) 305-312

- 「妙鍼流からの影響を色濃く示す新資料『杉山流伝法地巻』(抄)」大浦宏勝, 市川友理『日本医史学雑誌』58(2) 169
- 「日中医学交流史 54. 野田光蔵『満洲植物誌』出版の経緯」郭秀梅『日中医学』26(3) 40-41
- 「日中医学交流史 57. 日本医書の影響を受けた中国の医家」郭秀梅『日中医学』27(2) 42-45
- 「野田光蔵と『満洲植物誌』(抄)」郭秀梅『日本医史学雑誌』58(2) 200
- 「さまよえる「熱」の変遷(その1) 陰虚内熱は古代からあったのか?」加島雅之『中医臨床』33(4) 522-526
- 「【東京宣言特集】日本鍼灸の歴史」形井秀一『全日本鍼灸学会雑誌』62(1) 12-28
- 「【日本鍼灸の多様な術と豊かさ】日本鍼灸の多様性はどこからきたか? 明治～現在までの経緯と意味, そして未来への展望」形井秀一, 戸ヶ崎正男, 東郷俊宏, 金子朝彦『鍼灸Osaka』28(3) 259-280
- 「【東京宣言特集】明治時代以降における鍼灸医療制度・教育および研究の変遷」北小路博司『全日本鍼灸学会雑誌』62(1) 29-37
- 「【グレリンと六君子湯】Ghrelin History」児島将康『漢方医学』36(3) 178-182
- 「漢方処方史の史的変遷における諸問題(抄)」小曾戸洋『Journal of Traditional Medicines』29(Suppl.) 30
- 「漢方のたからもの20 後藤良山とその著書」小曾戸洋『漢方と診療』3(1) 64-65
- 「漢方のたからもの21 多紀元簡とその著書」小曾戸洋『漢方と診療』3(2) 148-149
- 「漢方のたからもの22 名古屋玄医とその著書」小曾戸洋『漢方と診療』3(3) 222-223
- 「漢方のたからもの23 大塚敬節の足跡」小曾戸洋『漢方と診療』3(4) 290-291
- 「目でみる漢方史料館(283) 香月牛山の墓跡」小曾戸洋『漢方の臨床』59(4) 666-668
- 「目でみる漢方史料館(285) 神奈川県相模原の医家・和田家の家伝史料」小曾戸洋『漢方の臨床』59(6) 1042-1044
- 「目でみる漢方史料館(288) 『孫真人玉函方』—金沢文庫旧蔵古版本の出現」小曾戸洋『漢方の臨床』59(9) 1558-1560
- 「目でみる漢方史料館(292) 矢数道明先生の書簡—深川晨堂宛」小曾戸洋『漢方の臨床』59(12) 2048-2050, 2289-2294
- 「目でみる漢方史料館(287) 和田泰庵と温知社」小曾戸洋, 天野陽介『漢方の臨床』59(8) 1390-1392
- 「奥田謙蔵『漢方古方要方解説』の方剂分類 我が国における類方分類の歴史上での位置付けと将来の課題」坂井由美, 並木隆雄『日本東洋医学雑誌』63(5) 340-346
- 「漢方処方における薬用量と調製法の関係—多味剤と大剤について—(抄)」鈴木達彦『薬史学雑誌』47(2) 150
- 「目でみる漢方史料館(289) 原型版『家伝預集』と『玄朔常合置方又万間書』」鈴木達彦『漢方の臨床』59(10) 1714-1716
- 「吉益東洞十二律方の検討」鈴木達彦『日本東洋医学雑誌』63(1) 15-24
- 「厥の原義とその病理観—扁鵲による號の太子の治療の意義—」鈴木達彦, 遠藤次郎『日本医史学雑誌』58(1) 15-28
- 「『史記』倉公伝における医学理論の検討」鈴木達彦, 遠藤次郎, 花輪壽彦『日本医史学雑誌』58(3) 345-356
- 「禅病の原因, 症状, 治療について—陰陽五行説からみた禅病の成り立ち—」鈴木英鷹, 森山健三『精神科治療学』27(8) 1103-1108
- 「東洋医学史探訪 第9回 五臓の色体表とフロイト」関忠雄『医道の日本』71(1) 300-301
- 「東洋医学史探訪 第10回 菅原道真と梅の花」関忠雄『医道の日本』71(2) 166-167
- 「東洋医学史探訪 第11回 美幾女の志願解剖」関忠雄『医道の日本』71(3) 184-185
- 「東洋医学史探訪 最終回 中国の12の河(経絡の原型)」関忠雄『医道の日本』71(4) 214-215
- 「『金匱要略』大黃黄連瀉心湯条における「心気不足」に関する考証(抄)」莊明仁『日本医史学雑誌』58(2) 219
- 「鍼灸パラダイム談義—東アジア伝統医学の想像

- 力一第13回 牛，馬のツラとツボ—獣医鍼灸学のすすめ」武田時昌『医道の日本』71 (1) 298-299
- 「鍼灸パラダイム談義—東アジア伝統医学の想像力一第14回 馬医絵巻の眼差し—獣医鍼灸医学のすすめ (2)」武田時昌『医道の日本』71 (2) 162-163
- 「鍼灸パラダイム談義—東アジア伝統医学の想像力一第15回 流れる水のように生きる—東洋的健康科学 (1)」武田時昌『医道の日本』71 (3) 194-195
- 「鍼灸パラダイム談義—東アジア伝統医学の想像力一第16回 100歳長寿国の人生観—東洋的健康科学 (2)」武田時昌『医道の日本』71 (4) 212-213
- 「鍼灸パラダイム談義—東アジア伝統医学の想像力一第17回 西洋の長生法と日本的展開—東洋的健康科学 (3)」武田時昌『医道の日本』71 (5) 184-185
- 「鍼灸パラダイム談義—東アジア伝統医学の想像力一第18回 健康の定義を再考する—東洋的健康科学 (4)」武田時昌『医道の日本』71 (6) 192-193
- 「鍼灸パラダイム談義—東アジア伝統医学の想像力一第19回 『太素』の訳稿とデータベース—医経を読んだ人々 (1)」武田時昌『医道の日本』71 (7) 204-205
- 「鍼灸パラダイム談義—東アジア伝統医学の想像力一第20回 北宋の儒者，道士の素問読書法—医経を読んだ人々 (2)」武田時昌『医道の日本』71 (8) 200-201
- 「鍼灸パラダイム談義—東アジア伝統医学の想像力一第21回 宋儒の『素問』成立年代考—医経を読んだ人々 (3)」武田時昌『医道の日本』71 (9) 184-185
- 「鍼灸パラダイム談義—東アジア伝統医学の想像力一第22回 運氣論を流行らせたのは誰か—医経を読んだ人々 (4)」武田時昌『医道の日本』71 (10) 218-219
- 「鍼灸パラダイム談義—東アジア伝統医学の想像力一第23回 蘇・沈が語る良方と善医—医経を読んだ人々 (5)」武田時昌『医道の日本』71 (11) 180-181
- 「鍼灸パラダイム談義—東アジア伝統医学の想像力一第24回 七草粥の習俗と健康思想」武田時昌『医道の日本』71 (12) 194-195
- 「鍼術・灸法思想史的考察 (抄)」武田時昌『伝統鍼灸』39 (2) 93
- 「【アーユルヴェーダー予防医学としての考察—アーユルヴェーダにおける外科領域の歴史と有用性】田澤賢次『aromatopia』21 (6) 13-18
- 「日中医学交流史 53. 中国における牛蒡応用の変化」辰巳洋『日中医学』26 (2) 46-48
- 「蕎麦に関する日中両国の認識の差異—古典医書を中心に—」辰巳洋，丸井英二『日本医史学雑誌』58 (1) 29-37
- 「吉益東洞の医学思想—中国古代医学思想との対比において—」館野正美『日本東洋医学雑誌』63 (1) 41-48
- 「いわゆる『儒醫』についての考察—初探 (抄)」田中祐尾『医譚』(112) 6606-6607
- 「いわゆる『儒醫』についての考察—初探 (抄)」田中祐尾『日本医史学雑誌』58 (2) 215
- 「『古今医統大全』の鍼灸について (第2報) (抄)」田中利江子『日本医史学雑誌』58 (2) 229
- 「チベット古典『四部医典』の分類不詳生薬補遺—チベット本草書『晶珠本草』での分類から—」谷田伸治『漢方の臨床』59 (12) 2245-2255
- 「韓国における精神保健医療福祉の歴史と現状—趙香花，野中猛—」『日本社会精神医学会雑誌』21 (1) 32-40
- 「『福田方』の鍼灸 (抄)」寺川華奈『日本医史学雑誌』58 (2) 172
- 「『医界之鉄椎』から一世紀たって」寺澤捷年『日本東洋医学雑誌』63 (2) 89-97
- 「日本漢方の特徴」寺澤捷年『日本東洋医学雑誌』63 (3) 176-180
- 「吉益東洞の医論と日本漢方」寺澤捷年『福岡医師漢方研究会会報』33 (11) 1-4
- 「日中医学交流史56. 甘草と甘草屋敷」陶惠寧『日中医学』27 (1) 46-49
- 「湯本求真が使用した生姜・乾姜 (抄)」堂井美

- 里, 新井玲子, 川崎武志, 御影雅幸『日本生薬学会年会講演要旨集』59回, 118
- 「生姜・乾姜の修治法に関する史的考察」堂井美里, 御影雅幸『日本東洋医学雑誌』63(4) 266-274
- 『『診脈口伝集』の脈法(抄)』中川俊之『日本医史学雑誌』58(2) 228
- 「江戸中期における伝統医学の一般常識 「節用集」にみられる体内絵図と灸法口訣 『我宝節用』の所載する灸法口訣の翻刻と解説」長野仁『鍼灸Osaka』28(3) 375-381, 251-256
- 「江戸中期に構想された『難経』医学 『扁鵲秋毫伝』にみられるプレ経絡治療 『扁鵲秋毫伝』の翻刻と解説」長野仁『鍼灸Osaka』28(1) 105-119, 1-6
- 「日本小児鍼史概説(中・下)」長野仁『医道の日本』71(1-2) 264-273, 82-90
- 「目でみる漢方史料館(281) 国学者・伴蒿蹊の肖像と墓碑」長野仁『漢方の臨床』59(2) 242-244
- 「目でみる漢方史料館(282) 『断毒療治相伝』の初版と大津百町の古絵図」長野仁『漢方の臨床』59(3) 458-460
- 「目でみる漢方史料館(284) 石坂宗哲『鍼灸の要穴』の出現」長野仁『漢方の臨床』59(5) 858-860
- 「目でみる漢方史料館(290) 判明した菊地玄蔵の生誕地および戒名と没年」長野仁, 大浦宏勝『漢方の臨床』59(11) 1874-1876
- 「日本文化の知識体系と伝統鍼灸(抄)」七沢賢治『伝統鍼灸』39(2) 95-96
- 『『天中記』に見える医経の引用について(抄)』橋本典子『日本医史学雑誌』58(2) 236
- 「新中国における李時珍の研究史—過去60年のあゆみ—」梅全喜, 石川晶『薬史学雑誌』47(2) 103-110
- 「五行理論について〈1〉」土方康世『漢方の臨床』59(3) 615-622
- 『『千金方』からみた『傷寒論』序文と山田図南の考察』松岡尚則, 別府正志, 並木隆雄, 山口秀敏, 中田英之, 頼建守『漢方の臨床』59(12) 2201-2221
- 『『靈枢』の歴史(1)』真柳誠『漢方の臨床』59(12) 2223-2244
- 「紹興本『素問』と王継先(抄)」真柳誠『日本医史学雑誌』58(2) 223
- 「戦後の日本鍼灸流派と手法の調査研究(抄)」森洋平『全日本鍼灸学会学術大会抄録集』61回, 122
- 「後世方派の刊行著作数について(抄)」山田恵美『日本医史学雑誌』58(2) 171
- 「『現代中医学』の変遷」山本勝司『鍼灸Osaka』28(3) 315-319
- 「患者のための鍼灸学 石川日出鶴丸が描いた理想の医療と鍼灸」山本哲朗『全日本鍼灸学会雑誌』62(3) 194-204
- 「ドキュメンタリー「近代鍼灸史」(24) 鍼医・吉田弘道に噛みついた鷗外」油井富雄『東洋医学鍼灸ジャーナル』24, 96-98
- 「ドキュメンタリー「近代鍼灸史」(25) 漢詩や史伝に見る鷗外が描いた鍼灸の将来」油井富雄『東洋医学鍼灸ジャーナル』25, 96-98
- 「ドキュメンタリー「近代鍼灸史」(26) 日本の医療の原風景は鍼灸だった 富士川游の『日本医学史』が物語る鍼灸の立場」油井富雄『東洋医学鍼灸ジャーナル』26, 96-98
- 「ドキュメンタリー「近代鍼灸史」(27) 『医心方』と薬研堀: 医学史上の文化遺産・国宝『医心方』が伝えるもの 鍼博士・丹波康頼が編纂, 真骨頂が巻二鍼灸篇」油井富雄『東洋医学鍼灸ジャーナル』27, 96-98
- 「ドキュメンタリー「近代鍼灸史」(28) 国宝『医心方』, その鍼灸学的意義と逸話」油井富雄『東洋医学鍼灸ジャーナル』28, 96-98
- 「陽虚としての盗汗について(抄)」吉岡広記『日本医史学雑誌』58(2) 222
- 「韓国伝統医学の世界(第三~五回) 中国へ渡った朝鮮医学の聖書『東医宝鑑』(その1-3)」吉田和裕『伝統と医療』18(1-3) 10-11, 10-11, 7-9
- 「古代アユルヴェーダの医学教育制度」吉次通泰『アユルヴェーダ研究』(38-39) 207-209
- 「中国伝統医学と道教(第32回 道教医学の歴史)

- 〔抄〕吉元昭治『日本医史学雑誌』58(2)177
- 「日中医学交流史55. 不妊の医方と起源—医史学と産婦人科の観点から—」魯紅梅『日中医学』26(4)44-47
- 「日中医学交流史58. 漢唐時代における出産—医史学と産婦人科の観点から—」魯紅梅『日中医学』27(3)52-54
- 「続 栗園先生配剤録(1-4)」渡辺浩二『漢方の臨床』59(5-8)881-897, 1145-1155, 1327-1338, 1511-1522
- #### 44 内科史
- 「【循環器疫学研究の成果と課題—久山町研究，田主丸研究50周年を迎えて】循環器疾患危険因子の変貌—久山町コホート50年の歴史から—」清原裕『心臓』44(7)778-783
- 「内科学の使命と挑戦—内科学の歴史と使命—」日野原重明『日本内科学会雑誌』101(9)2618-2620
- 「内科学の使命と挑戦—内科学の歴史と使命(抄)—」日野原重明『日本内科学会雑誌』101(Suppl.)125
- #### 46 泌尿器科史
- 「日本臨床腫瘍研究グループ(JCOG)の泌尿器科腫瘍グループ(UOSG)の歴史と将来」Tobisu Kenichi『Japanese Journal of Clinical Oncology』42(5)363-367
- 「わが国における泌尿器科学100年の歴史—腎癌・尿路上皮癌—」赤座英之『日本泌尿器科学会雑誌』103(特別)33-40
- 「腸管利用尿路変向術の歴史と諸問題」大山力『泌尿器科学の最近の進歩』28, 1-8
- 「前立腺今昔物語(前編)攝護腺，前位腺そして」岡田清己『泌尿器外科』25(2)221-227
- 「前立腺今昔物語(後編)攝護腺肥大症，攝護腺癌」岡田清己『泌尿器外科』25(3)373-380
- 「わが国における泌尿器科学100年の歴史—日本泌尿器科学会の揺籃期—」北村唯一『日本泌尿器科学会雑誌』103(特別)127-131
- 「わが国における泌尿器科学100年の歴史—オフィスウロロジー—」黒田秀也『日本泌尿器科学会雑誌』103(特別)119-126
- 「わが国における泌尿器科学100年の歴史—尿路結石—」郡健二郎『日本泌尿器科学会雑誌』103(特別)62-68
- 「わが国における泌尿器科学100年の歴史—基礎医学—」執印太郎『日本泌尿器科学会雑誌』103(特別)92-98
- 「欧米尿路結石症概史と本邦尿路結石症史(第二章)日本における尿路結石症の歴史(6)」高崎悦司『泌尿器外科』25(1)73-88
- 「わが国における泌尿器科学100年の歴史—腎不全・腎移植—」高橋公太『日本泌尿器科学会雑誌』103(特別)99-105
- 「わが国における泌尿器科学100年の歴史—尿路性器感染症—」塚本泰司，高橋聡『日本泌尿器科学会雑誌』103(特別)106-111
- 「【KDIGO診療ガイドラインを知る】KDIGO(Kidney Disease: Improving Global Outcome)の過去・現在・未来—歴史，組織とその活動—」塚本雄介『腎と透析』73(4)489-495
- 「わが国における泌尿器科学100年の歴史—内分泌・アンドロロジー—」並木幹夫『日本泌尿器科学会雑誌』103(特別)85-91
- 「わが国における泌尿器科学100年の歴史—前立腺肥大症—」西澤理『日本泌尿器科学会雑誌』103(特別)112-118
- 「わが国における泌尿器科学100年の歴史—小児泌尿器科—」野々村克也『日本泌尿器科学会雑誌』103(特別)56-61
- 「わが国における泌尿器科学100年の歴史—Endourology—」東原英二『日本泌尿器科学会雑誌』103(特別)69-84
- 「わが国における泌尿器科学100年の歴史—前立腺癌・精巣癌—」三木恒治『日本泌尿器科学会雑誌』103(特別)41-47
- 「我が国における排尿障害研究の歴史」山口脩『日本排尿機能学会誌』23(2)312-326
- 「わが国における泌尿器科学100年の歴史—排尿障害・女性泌尿器科—」山口脩『日本泌尿器科学会雑誌』103(特別)48-55

「清潔間歇導尿の歴史・原理・目的(抄)」吉川羊子『日本ストーマ・排泄リハビリテーション学会誌』28(1)137

47 病院史

「大久保忠寛の「病幼院創立意見」(安政4年)と東京府病院(明治6~14年)について(抄)」稲松孝思, 松下正明『日本医史学雑誌』58(2)204

「日本および欧米の海濱院について」上田卓爾『医譚』(112)6545-6551

「釜山済生医院(抄)」金川英雄『日本医史学雑誌』58(2)206

「高松凌雲(1836~1916)が創立した「同愛社」について(抄)」小林晶『日本医史学雑誌』58(2)203

「病棟建替えを機に精神科病院の歴史を振り返る精神保健福祉士の視点から(抄)」竹内葵, 小山友理子『精神保健福祉』43(3)224-225

「東寺濟世病院の変遷」八木聖弥『医譚』(113)6700-6721

「ミドルセクス病院・医学校の軌跡(抄)」柳澤波香『日本医史学雑誌』58(2)157

「熊本南病院における在宅酸素療法20年の歴史と今後の展望(抄)」山中徹, 鈴木智子, 坂本理『国立病院総合医学会講演抄録集』66回, 393

49 病理学史

「盗汗病態理論の史的変遷」三浦於菟, 松岡尚則, 河野吉成, 板倉英俊, 田中耕一郎, 植松海雲, 奈良和彦, 芹沢敬子, 中山あすか, 橋口亮, 福島厚, 小菅孝明, 齊藤輝夫『日本東洋医学雑誌』63(1)1-14

50 風俗史

「平安貴族は本当にお歯黒を付けていたのか?(抄)」東智『日本歯科医史学会々誌』29(4)297-298

「神道を「医心方」からみる一鏡・茅の輪・ひとがたについて」槇佐知子『大美和』(122)

「八町注連(ハッチョウジメ)と塞神(サエノカ

ミ)に関する一考察(抄)」湯浅高行, 藤野瑠男, 屋代正幸『日本歯科医史学会々誌』29(4)267

51 仏教医学史

「仏教文献に見るアーユルヴェーダ受容の文化史 日本の日蓮・中国の天台からブッタまで, アーユルヴェーダ受容の歴史をさかのぼる(上)」影山教俊『アーユルヴェーダ研究』(38-39)251-269

「釈迦時代における出家僧の健康管理について(抄)」杉田暉雄『神奈川医学会雑誌』39(1)110

「光明皇后の施浴伝説形成と洗浴に関する仏典」平尾真智子『仏教看護・ビハーラ』(7)96-112

52 法医学史

「法医学における日独交流の歴史(抄)」Wingenfeld Lisa, 西克治『日本法医学雑誌』66(1)89

53 放射線医学史

「放射線治療の過去と未来 リンパ腫の管理のための放射線療法の革新 「魔法の光線」から「魔法の弾丸」へ(抄)」Hoppe Richard T.『日本癌治療学会誌』47(3)618

「放射線治療の過去と未来 放射線治療の進歩と展望(抄)」阿部光幸『日本癌治療学会誌』47(3)624

「放射線の生体影響を修飾する新しい試み 放射線防護から増感まで 放射線防護剤研究の歴史と今後の展開(抄)」石原弘, 田中泉, 葉丸晴子, 田中美香, 横地和子『日本放射線影響学会大会講演要旨集』55回, 91

「放射線医学の歴史についての小考察」上野陽里『医学史研究』(94)35-37

「放射線治療の過去と未来 放射線治療の30年前と30年後(抄)」白土博樹, 鬼丸力也, 清水伸一, 土屋和彦『日本癌治療学会誌』47(3)622

「わたしの放射化学研究の事始め」田中彰『葉史学雑誌』47(1)1-4

「ウィーナススペクトル研究の歴史的背景 カンタムモトル研究の始まり」土井邦雄『日本放射

線技術学会雑誌』68(3) 329-332

「超音波における一次読影取り組みの歴史，現状とこれから」野田孝浩『日本放射線技師会雑誌』59(2) 152-155

「検証「低線量」内部被曝と健康（第2回）原爆・原発開発の歴史と日本の医師たちの戦後史 なぜ内部被曝は隠されてきたのか」松井英介『保団連』（1102）58-61

「【放射線障害—基礎・疫学から診療・安全対策まで—】放射線災害医療の歴史」宮崎真，山下俊一『日本臨床』70(3) 375-382

「【低線量被ばくの真実に迫る Part 1】CT検査による医療被ばくの現在・過去・未来について」森下康之，伊藤恭子『Rad Fan』10(12) 93-95

54 本草学史・博物学史

「京上方の医療と医学の歴史 京都の本草学の歩み（抄）」遠藤正治『日本東洋医学雑誌』63(別冊) 96

「花の青色発色機構，特にヤグルマギク，ツユクサ，アジサイなどの青について」武田幸作『薬史学雑誌』47(2) 111-116

55 麻酔学史

「歴史と失敗に学ぶ心臓手術の麻酔 心臓麻酔30年の流れを振り返って（抄）」稲田英一『Cardiovascular Anesthesia』16(Suppl.) 111

「世界初の麻酔法」内田和秀『聖マリアンナ医科大学雑誌』40(3) 195-196

「歴史と失敗に学ぶ心臓手術の麻酔 歴史と失敗に学ぶ（抄）」岡本浩嗣『Cardiovascular Anesthesia』16(Suppl.) 112

「歴史と失敗に学ぶ心臓手術の麻酔 広島市民病院における心臓手術と麻酔の歴史（抄）」多田恵一『Cardiovascular Anesthesia』16(Suppl.) 110

「麻沸湯論と鎌田玄台 世界で最初の麻酔科教科書は伊予大洲で著された！」土手健太郎，池宗啓蔵，出崎陽子，惣谷昌夫，萬家俊博，長櫓巧『愛媛医学』31(2) 69-75

「麻沸湯論—世界で最初の臨床麻酔の教科書は日本で著された！（抄）」土手健太郎，長櫓巧『日

本医史学雑誌』58(2) 218

「本院における麻酔科術前診察の歴史（抄）」中村久美，荻野行正，深見紀彦，岸本俊，荒井俊之『日本臨床麻酔学会誌』32(6) S314

「歴史と失敗に学ぶ心臓手術の麻酔 日本心臓血管麻酔学会の歴史を語る（抄）」野村実『Cardiovascular Anesthesia』16(Suppl.) 109

56 門人録

「華岡鹿城末裔所蔵の「華岡門人録」について（1-3）」梶谷光弘『日本医史学雑誌』58(1, 3, 4) 75-84, 401-409, 493-501

57 薬学史

「Drug Information, Clinical Pharmacy, Pharmaceutical careが日本の薬学に与えた影響（抄）」赤木佳寿子『薬史学雑誌』47(2) 160

「ボウイの研究（2）原植物に関する史的考察」秋葉秀一郎，太田（堂井）美里，御影雅幸『薬史学雑誌』47(2) 117-126

「「防已」の原植物に関する史的考察（抄）」秋葉秀一郎，堂井美里，御影雅幸『日本生薬学会年会講演要旨集』59回，119

「薬物依存症からの「回復」アメリカ合衆国カリフォルニア州のドラッグコート視察より（第1回）わが国における薬物依存症の歴史と現状」五十嵐愛子，松下年子『精神科看護』39(7) 046-051

「清代・民国期重慶の薬材流通（抄）」石川晶『薬史学雑誌』47(2) 164

「オピオイドを理解する 臨床からみたオピオイドの歴史」井関雅子『Locomotive Pain Frontier』1(1) 42-43

「「甘硝石精」とは」板垣英治『北陸医史』（34）26-30

「「スロイス方聚」スロイスの調剤処方箋」板垣英治『北陸医史』（34）18-25

「知って得する法用語 番外編 薬害過誤の歴史から学ぶ クロロキン事件（その2）製薬企業の責任」稲葉一人『Clinical Pharmacist』4(1) 92-94

- 「知って得する法用語 番外編 薬害過誤の歴史から学ぶ クロロキン事件(その3) 国の規制責任」稲葉一人『Clinical Pharmacist』4(2) 183-187
- 「シェイクスピアの時代の薬剤師と『ロミオとジュリエット』(抄)」遠藤花子『日本医史学雑誌』58(2) 160
- 「薬物学書に見る消化性潰瘍治療薬の歴史の変遷—明治から現代まで—(抄)」大谷聡子, 海保房夫『薬史学雑誌』47(2) 157
- 『『緒方洪庵の薬箱(大阪大所蔵)』に収納された生薬資料研究 残存丸剤に見る製剤化の実践(抄)」小栗一輝, 島田佳代子, 吉川文音, 近藤小百合, 中村勇斗, 伊藤謙, 村田路人, 廣川和花, 高橋京子『日本生薬学会年会講演要旨集』59回, 107
- 「肺高血圧症の治療薬 プロスタサイクリン その歴史から最近の話題まで」小野智彦, 田村雄一『呼吸器内科』21(2) 159-163
- 『【メトホルミンの現況と新たな展望】歴史と現状』木村友彦, 加来浩平『Diabetes Frontier』23(1) 30-34
- 「ビタミンの源流を訪ねて(抄)」栗原敏『機能性食品と薬理栄養』7(4) 296
- 「医薬品安全対策の歴史的展望と薬剤疫学(抄)」黒川達夫『日本薬剤疫学会学術総会抄録集』18回, 12
- 「漢方生薬「人参」の原植物に関する史的考察」倪斯然, 坂本郁穂, 御影雅幸『薬史学雑誌』47(2) 127-133
- 「コリスチンの歴史の変遷(抄)」河野茂『日本化学療法学会雑誌』60(2) 250
- 「コリスチンの歴史の変遷(抄)」河野茂『感染症学雑誌』86(3) 333
- 「家庭薬物語(第3回) サロンパス」小早川武徳『ファルマシア』48(10) 970-971
- 『『小学化学書』(明治7年)に見られる「乳鉢」の語とその背景』五位野政彦『薬史学雑誌』47(1) 90-93
- 「1872(明治5)年の法規にみられる「調剤独占権」, 「調剤倫理」ならびに「入院患者の医薬品管理」』五位野政彦『薬史学雑誌』47(2) 144-148
- 「明治時代の局方における「錠」の日本名とラテン名(抄)」五位野政彦『薬史学雑誌』47(2) 152
- 「エフェドリンの歴史—歴史遺産と現代社会への影響—」齋藤繁『日本医史学雑誌』58(3) 321-329
- 「事業構造から見る血漿分画製剤市場の歴史の変遷(抄)」坂上裕一郎, 津谷喜一郎『薬史学雑誌』47(2) 153
- 「わが国における医薬品開発25年史—キラル薬品について—(抄)」榊原統子, 吉岡龍藏, 松本和男『薬史学雑誌』47(2) 161
- 「日本薬局方と収載生薬」佐竹元吉『和漢医薬学総合研究所年報』38, 2-13
- 「家庭薬物語(第1回) 家庭薬って何? 家庭薬の由来」滋野宣明『ファルマシア』48(6) 542-544
- 『『緒方洪庵の薬箱(大阪大所蔵)』に収納された生薬資料研究 冬葵の基原(抄)』島田佳代子, 小栗一輝, 吉川文音, 近藤小百合, 中村勇斗, 伊藤謙, 村田路人, 廣川和花, 高橋京子『日本生薬学会年会講演要旨集』59回, 108
- 『『緒方洪庵の薬箱(大阪大所蔵)』に収納された生薬資料研究 使用生薬に見る洪庵の治療観(抄)』島田佳代子, 小栗一輝, 吉川文音, 近藤小百合, 中村勇斗, 松永和浩, 伊藤謙, 村田路人, 廣川和花, 高橋京子『Journal of Traditional Medicines』29(Suppl.) 111
- 「華岡青洲14種の膏薬と李靖十二辰陣(抄)」鈴木達彦, 足立理絵子『日本医史学雑誌』58(2) 217
- 「小児用抗菌薬開発の歴史「肺炎の治療を中心に」(抄)」砂川慶介『日本小児呼吸器疾患学会雑誌』23(Suppl.) 53
- 「日本のビタミン研究の流れ 鈴木梅太郎博士ビタミンB1発見100周年に寄せて」左右田健次『化学と生物』50(9) 684-687
- 「医療の安全対策と医薬品情報 医薬品副作用被害の歴史と安全対策措置」高橋春男『JAPIC J』

- 19, 19-38
- 「近代西欧医・薬学発祥史 第9報 薬物有効成分の単離と特定（抄）」辰野美紀『薬史学雑誌』47 (2) 158
- 「【MRSA 感染症に対する新たな治療戦略—Daptomycin をめぐって】 Daptomycin 開発の歴史とその特徴の概略」館田一博『臨床と微生物』39 (3) 203-207
- 「薬効評価の回り灯籠（抄）」津谷喜一郎『薬史学雑誌』47 (2) 154
- 「日本の薬系大学における「ドライラボ」の過去・現在と今後の課題」寺岡章雄，津谷喜一郎『薬史学雑誌』47 (1) 67-89
- 「【経口抗糖尿病治療薬】経口抗糖尿病治療薬の歴史と展望」中村淑子，加来浩平『月刊糖尿病』4 (5) 12-19
- 「星薬科大学に保存されていた国内初のキナ栽培に関する一次資料（抄）」南雲清二『薬史学雑誌』47 (2) 156
- 「キナの国内栽培に関する史的研究（第4報）台湾の恒春熱帯植物殖育場における栽培化の試み」南雲清二，佐々木陽平『薬史学雑誌』47 (1) 11-20
- 「キナの国内栽培に関する史的研究（第5報）国内初のキナ栽培の成功と収穫されたキナ原木の同定」南雲清二，佐々木陽平，竹下一夫『薬史学雑誌』47 (1) 21-30
- 「キナの国内栽培に関する史的研究（第6報）星薬科大学に保存されていた国内初のキナ栽培に関する一次資料」南雲清二『星薬科大学紀要』(54) 29-37
- 「「党参」の来歴に関する史的考察（抄）」倪斯然，坂本郁穂，御影雅幸『日本薬学会年会要旨集』132 年会 (2) 196
- 「ステロイド小史（2）」西野仁樹『Bone Joint Nerve』2 (2) 365-366
- 「【抗ウイルス薬—最新の動向—】総論 抗ウイルス薬研究の歴史と進歩」馬場昌範『日本臨床』70 (4) 553-557
- 「【ビタミン—作用の多様性—】ビタミン研究の歩み」福澤健治『HORMONE FRONTIER IN GYNECOLOGY』19 (3) 203-206
- 「チアジド系利尿剤の副作用の歴史—配合利尿剤の副作用の経験から—（抄）」藤岡彰，藤岡和美『日本医史学雑誌』58 (2) 156
- 「家庭薬物語（第2回）太田胃散」松木宏道『ファルマシア』48 (8) 784-785
- 「【OTC 医薬品をめぐる動き】配置薬の歴史と役割」松澤孝信『ファルマシア』48 (11) 1082-1086
- 「【くすりの値段と価値 パート II】日本の医薬分業の歴史（その2）「医は仁術」の意味を問い直す」松下一成『薬のチェックは命のチェック』(47) 12-17
- 「コリスチンシンポジウム コリスチンの歴史の変遷と臨床試験結果（抄）」三嶋廣繁『日本化学療法学会雑誌』60 (1) 68
- 「コリスチンシンポジウム コリスチンの歴史の変遷と臨床試験結果（抄）」三嶋廣繁『感染症学雑誌』86 (2) 165
- 「私が歩んだ向精神薬開発の道 秘話でつづる向精神薬開発の歴史（第7回）Iminodibenzyl 系抗精神病薬は第二世代抗精神病薬との比較試験でどう戦ったか」村崎光邦『臨床精神薬理』15 (2) 227-246
- 「私が歩んだ向精神薬開発の道 秘話でつづる向精神薬開発の歴史（第8回）Benzamide 物語（その1）強烈な第1相試験を体験し，興味あふれる臨床成績とPET 試験の所見を残した sultopride」村崎光邦『臨床精神薬理』15 (3) 405-416
- 「私が歩んだ向精神薬開発の道 秘話でつづる向精神薬開発の歴史（第9回）わが国初の benzamide 系抗精神病薬 nemonapride の栄枯盛衰」村崎光邦『臨床精神薬理』15 (4) 591-600
- 「私が歩んだ向精神薬開発の道 秘話でつづる向精神薬開発の歴史（第10回）わが国で陽の目を見なかった3つの benzamide 系抗精神病薬」村崎光邦『臨床精神薬理』15 (5) 849-864
- 「私が歩んだ向精神薬開発の道 秘話でつづる向精神薬開発の歴史（第11回）国産初の oxazolo benzodiazepine の開発 oxazole 環の存在をどう

- 読む」村崎光邦『臨床精神薬理』15(6) 977-993
- 「私が歩んだ向精神薬開発の道 秘話でつづる向精神薬開発の歴史(第12回) 世界に冠たる triazolobenzodiazepine 物語(その1) Triazolobenzodiazepine の誕生」村崎光邦『臨床精神薬理』15(7) 1241-1250
- 「私が歩んだ向精神薬開発の道 秘話でつづる向精神薬開発の歴史(第13回) Triazolobenzodiazepine 物語(その2) 世界を制覇した alprazolam」村崎光邦『臨床精神薬理』15(8) 1407-1416
- 「私が歩んだ向精神薬開発の道 秘話でつづる向精神薬開発の歴史(第14回) Triazolobenzodiazepine 物語(その3) 失われた benzodiazepine 系抗うつ薬の物語」村崎光邦『臨床精神薬理』15(9) 1561-1572
- 「私が歩んだ向精神薬開発の道 秘話でつづる向精神薬開発の歴史(第15回) 非 benzodiazepine 系睡眠薬の開発物語(その1) Zopiclone の果たした役割と続いて開発された eszopiclone」村崎光邦『臨床精神薬理』15(10) 1723-1734
- 「私が歩んだ向精神薬開発の道 秘話でつづる向精神薬開発の歴史(第16回) 非 benzodiazepine 系睡眠薬の開発物語(その2) Zolpidem の開発の経緯とその後の展開」村崎光邦『臨床精神薬理』15(11) 1873-1886
- 「私が歩んだ向精神薬開発の道 秘話でつづる向精神薬開発の歴史(第17回) 非 benzodiazepine 系睡眠薬の開発物語(その3) わが国への導入が叶わなかった zaleplon とわが国で誕生したものの治験まで至らなかった SX-3228」村崎光邦『臨床精神薬理』15(12) 1985-1994
- 「薬剤溶出性ステントの進化史とこれからの展望」森野禎浩『日本医事新報』(4578) 50-51
- 「使命感と責任感との醸成の視点からみた新制薬系大学における薬学倫理教育の歩みとこれから」森本和滋『薬史学雑誌』47(1) 31-43
- 「中医薬の国際化と標準化に関する中国の政策(第2回) 中国における中医薬政策の歴史」柳川俊之, 津谷喜一郎『和漢薬』62(11) 2-8
- 「日本薬局方に見られた向精神・神経薬の変遷(その12) USP(2000~2011) および BP(1980~2011) におけるワレリアナ根の規格・試験法の変遷ならびに対比について」柳沢清久『薬史学雑誌』47(1) 44-54
- 「日本の薬学研究・教育の黎明期とその影響」山川浩司『黎明期の日本近代医学・薬学一日独交流 150 周年記念出版』53-63
- 「生薬シリーズ ジンコウ(沈香)」山岸喬『漢方研究』(487) 35-36
- 「家庭薬物語(第4回) キンカン」山崎充『ファルマシア』48(12) 1176-1177
- 「光学活性医薬品・関連技術の史的変遷(第1報) —アミノ酸の光学分割史—」吉岡龍藏, 松前裕明, 荒井裕美子, 榊原統子, 松本和男『薬史学雑誌』47(1) 55-66
- 「ビタミンDの歴史(抄)」吉川邦彦『西日本皮膚科』74(2) 211
- 「満洲語西欧薬品使用マニュアル『西洋薬書』について(抄)」渡辺純成『日本医史学雑誌』58(2) 159

58 蘭学史

「近世から近代へ—初期日独交流における医学の諸相」ヴォルフガング ミヒェル『黎明期の日本近代医学・薬学一日独交流 150 周年記念出版』6-28

「南蛮渡来のポルトガル医療が、江戸時代の医学に与えた影響について(抄)」葉山美知子『日本医史学雑誌』58(2) 162

59 リハビリテーション関係史

「リハビリテーション関係論への招待(第9回) プロシューマーの歴史と動向」相川章子『精神療法』38(2) 253-264

「在宅リハビリテーション「総論」訪問リハビリテーションの歴史」岡田しげひこ『日本在宅医学会雑誌』13(2) 66-69

「職業リハビリテーションの黎明としてのライトハウス早川分工場」小西律子『視覚障害リハビリテーション』(75) 5-16

「【視覚障害者のリハビリテーション】視覚障害者の50年と新しい課題」高橋広『総合リハビリテーション』40(9) 1165-1171

「体重免荷トレッドミル歩行トレーニングが回復期脳卒中片麻痺患者の歩行機能に及ぼす効果（第2報）歴史的対照介入試験（抄）」高村彰子，高木治雄，朝日大介，中島広樹，貞松俊弘，蒲田和芳『理学療法学』39(Suppl.2) 0006

「中間ユーザーからみたストーマ装具の歴史と将来展望（抄）」徳永恵子『日本ストーマ・排泄リハビリテーション学会誌』28(1) 131

「【リハビリテーションQ&A】リハビリテーションの原点 リハビリテーション医学」里宇明元『総合リハビリテーション』40(5) 431-435

60 検査

「現代における学校心臓検診 誰が何を見つけどう管理するのか？ 学校心臓検診の歴史と現状（抄）」鮎沢衛，住友直方，中村隆広，福原淳示，市川理恵，松村昌治，宮下理夫，金丸浩，岡田知雄，麦島秀雄『日本小児科学会雑誌』116(2) 202

「注目の領域 経食道心エコーの変遷と進歩 経食道心エコーの歩んできた道とこれから進むべき方向性」枝長充隆『医学のあゆみ』240(11) 936-941

「医学検査のあゆみー18 質量分析技術を利用した細菌の新しい同定法」大楠清文『モダンメディア』58(4) 113-122

「HbA1cの歴史的変遷」島健二『プラクティス』29(4) 419-427

61 その他

「【戦後の障害者史（1945～1975）ーゼロからのスタートを省みる】患者運動と療養文芸」荒井裕樹『ノーマライゼーション：障害者の福祉』32(8) 24-26

「明治期における料理書籍数からみた食生活スタイル変容 西洋料理受容の過程を通して（抄）」荒牧礼子，佐藤厚『四国公衆衛生学会雑誌』57(1) 23

「【戦後の障害者史（1945～1975）ーゼロからのスタートを省みる】戦後三十年，障害者施策の展開と障害者運動」板山賢治『ノーマライゼーション：障害者の福祉』32(8) 15-17

「【戦後の障害者史（1945～1975）ーゼロからのスタートを省みる】医学と総合リハビリテーションの面から戦後30年を振り返る」上田敏『ノーマライゼーション：障害者の福祉』32(8) 12-14

「台湾の医学史の本で見られる“日本”」王敏東『日本医史学雑誌』58(1) 53-58

「【戦後の障害者史（1945～1975）ーゼロからのスタートを省みる】ろう者の歴史と文化を映す言語としての手話」大杉豊『ノーマライゼーション：障害者の福祉』32(8) 39-41

「先輩たちの筆跡」岡田靖雄『日本医史学雑誌』58(3) 423-424

「【戦後の障害者史（1945～1975）ーゼロからのスタートを省みる】先天盲ろう児教育の夜明け 山梨県立盲学校における実践記録」岡本明『ノーマライゼーション：障害者の福祉』32(8) 36-38

「訴訟の歴史と今後の展望 訴訟によるタバコ対策の実現（抄）」岡本光樹，渡辺文学，片山律『日本禁煙学会学術総会プログラム・抄録集』6回，58

「明治時代の禁煙指南書」川根博司『日本禁煙学会雑誌』7(5) 139-143

「別の時代・別の地域・別の『母性』歴史学・人類学から見た『母性』日本近世における親と子の関係（抄）」久保知里『母性衛生』53(3) 53

「福来友吉の催眠研究に関する文献調査」小泉晋一『催眠学研究』54(1-2) 12-20

「相同染色体間組換えのホットスポット 研究の歴史と最近の急展開」河野宏光，城石俊彦『遺伝：生物の科学』66(4) 445-449

「『こころのふれあい・バザー展』の歴史的変遷と意義及び課題」小林夏子，広津成美，風間寛子，岡本麻里，田村匡信『ぐんま作業療法研究』14，3-8

- 「社会福祉協議会における地区社協づくりに関する位置づけの歴史の変遷に関する研究 1990年代中盤までを中心に」佐藤順子『聖隷クリストファー大学社会福祉学部紀要』(10) 17-28
- 「【戦後の障害者史(1945~1975)ーゼロからのスタートを省みる】「青い芝の会」初期の運動と人々」鈴木雅子『ノーマライゼーション:障害者の福祉』32(8) 27-29
- 「フランス人医師ヴィダルの報告「日本の温泉」」須長泰一『日本医史学雑誌』58(1) 85-92
- 「女性科学賞と女性科学者の歴史」相馬芳枝『薬史学雑誌』47(1) 5-10
- 「【セラピストの資格 その現状と必要条件】心理療法士の資格の歴史」高砂美樹『精神療法』38(6) 751-756
- 「航空の歴史と航空医学の発展」立花正一, 藤田真敬『宇宙航空環境医学』49(1) 1-15
- 「ホームヘルプ事業誕生における教育的地盤の基礎形成 戦前日本社会を中心として」中畷洋『国際医療福祉大学学会誌』17(2) 11-19
- 「戦後精神衛生における「社会復帰」概念の検討」永井順子『旭川大学保健福祉学部研究紀要』4, 27-32
- 「【テクニカルエイド 生活の視点で役立つ選び方・使い方】(第1章) テクニカルエイド概論 テクニカルエイドの定義・歴史・分類」長尾哲男『作業療法ジャーナル』46(7) 664-670
- 「別の時代・別の地域・別の『母性』 歴史学・人類学から見た『母性』 近世期フランスにおける「母性」(抄)」長谷川まゆ帆『母性衛生』53(3) 51
- 「日本における渡航医学の過去, 現在, 未来(抄)」濱田篤郎『日本渡航医学会学術集会抄録集』16回, 65
- 「民間治療場の日本近代 「治療の場所」の歴史から」兵頭晶子『臨床心理学研究』50(1) 3-14
- 「実験動物学の情報統合における生物/医学オントロロジーの役割とその利用」梶屋啓志『Experimental Animals』61(4) 365-373
- 「社会文化と医療パラダイムの変貌」的場恒孝『久留米医学会雑誌』75(12) 349-360
- 「実地医家の在宅医療, 温故知新 古今東西の在宅医療」水野融『人間の医学』47(2) 45-46
- 「別の時代・別の地域・別の『母性』 歴史学・人類学から見た『母性』 日本植民地期台湾における子どもの「保育」と「母性」(抄)」宮崎聖子『母性衛生』53(3) 52
- 「日本の小児医学の情報を海外に発信するために 英語論文投稿の勧め 日本小児科学会欧文誌の歴史と英語論文投稿の勧め(抄)」柳川幸重『日本小児科学会雑誌』116(2) 183
- 「実践栄養学の航跡(第1回) 日本の食品栄養学のはじまり」山下光雄, 勝川史憲『保健の科学』54(5) 345-350
- 「【戦後の障害者史(1945~1975)ーゼロからのスタートを省みる】女性運動と障害者運動」米津知子『ノーマライゼーション:障害者の福祉』32(8) 33-35
- 「社会福祉の原点をひもとく(第9回) 社会福祉協議会(1)」和田敏明『月刊福祉』95(1) 84-85

62 中国語文献

- 「明代隆慶五年廢止太医院按摩科的原因探析」李強『中華医史雑誌』42(1) 3-7
- 「『神農本草經』与宋本『傷寒論』『金匱要略』「消」類薬名実差異考辨」楊金萍, 王振国, 盧星『中華医史雑誌』42(1) 8-11
- 「泰州出土明代古尸防腐条件初探」王為剛, 張偉『中華医史雑誌』42(1) 12-14
- 「『中国医学通史』修訂工作即将啓動」本刊編輯部『中華医史雑誌』42(1) 14
- 「『回回藥方』所載大型真菌薬文献研究」蘆笛『中華医史雑誌』42(1) 15-17
- 「宋元時期中国与越南的医薬交流」劉秋霞, 戴銘『中華医史雑誌』42(1) 18-20
- 「中国腫瘤登記簡史」魏昞榮, 梁智恒, 劉静等『中華医史雑誌』42(1) 21-25
- 「循証護理概念的提出及發展」崔永英, 王珍娥『中華医史雑誌』42(1) 26-29
- 「明代隆慶五年廢止太医院按摩科的原因探析」李強『中華医史雑誌』42(1) 3-7

- 「明代『大河外科』内容来源考」蒲小兰，張毅，楊文字 等『中華医史雜誌』42 (1) 30-37
- 「遠古太極圖「(S)」曲線探源—論天地定位圖演繹為太極圖」嚴健民『中華医史雜誌』42 (1) 38-40
- 「中国百年中医史研究項目啓動」白茅『中華医史雜誌』42 (1) 40
- 「李杲籍貫究竟在何方？」曾備霏『中華医史雜誌』42 (1) 41-43
- 「『後浪』医史論壇台第3期在京举行」張衛『中華医史雜誌』42 (1) 43
- 「中国医史博物館籌建過程」徐齊『中華医史雜誌』42 (1) 44-46
- 「汪逢春生平考」王体『中華医史雜誌』42 (1) 47-55
- 「李經緯先生对医史文献人才培養的貢獻」岡衛娟『中華医史雜誌』42 (1) 56-59
- 「1949年以来手術簽字制度的變遷」陳美庭，李江『中華医史雜誌』42 (1) 60-61
- 「苦杏仁古代炮制方法及其現代研究」何榮杰，刁統美『中華医史雜誌』42 (1) 62
- 「古代麻醉藥物的史实探析」張楠『中華医史雜誌』42 (2) 67-71
- 「『宋以前医籍考』榮獲日本医史学会矢数医史学獎」馬紅治『中華医史雜誌』42 (2) 71
- 「中藥覆盆子功效演變及原因探討」張珂，王德群『中華医史雜誌』42 (2) 72-74
- 「明代医生群体在瘟疫之際的社会救助活動」陳旭『中華医史雜誌』42 (2) 75-78
- 「近代中藥藥理研究与传统中医藥学」趙際勳『中華医史雜誌』42 (2) 79-83
- 「20世紀前葉的上海中医藥团体」楊杏林，陸明，陳沛沛 等『中華医史雜誌』42 (2) 84-88
- 「『疾病的歷史』出版」蘭台『中華医史雜誌』42 (2) 88
- 「心臟移植術的歷史回顧」付德明，王洪奇，張秀蘭『中華医史雜誌』42 (2) 89-99
- 「『本草綱目易知錄』考辨」陸翔，王旭光，鄧勇 等『中華医史雜誌』42 (2) 100-102
- 「『傷科匯纂』的手法復位圖譜与歌訣」楊亦周，胡曉峰『中華医史雜誌』42 (2) 103-105
- 「應該怎樣研究古太極圖」牟重行『中華医史雜誌』42 (2) 106
- 「1963年广东省中医学徒出師考試始末」郭巧巧，李劍『中華医史雜誌』42 (2) 107-111
- 「中国軍事医学博物館發展回顧」王曉民『中華医史雜誌』42 (2) 112-114
- 「鑒医資学 莫善于史—讀李經緯著『中医史』」孟慶云『中華医史雜誌』42 (2) 115-117
- 「古代浙江医藥文物及遺跡」朱德明『中華医史雜誌』42 (2) 118-124
- 「歷代医林人物的詩詞貢獻」胡蓉，陳丽云，朱偉常『中華医史雜誌』42 (2) 125-127
- 「中国古代牙刷形制演變考」伍秋鵬『中華医史雜誌』42 (3) 131-139
- 「試論中国古代中医对難產的治療」張璐『中華医史雜誌』42 (3) 140-144
- 「『上海衛生檢疫發展史』出版」蘭台『中華医史雜誌』42 (3) 144
- 「『倉公伝』中的時間問題蠡測」沈樹農『中華医史雜誌』42 (3) 145-148
- 「馬蒔，張介賓『內經』注釋疑点探討」王丹『中華医史雜誌』42 (3) 149-151
- 「中藥草烏頭基原植物考」謝晋，王德群『中華医史雜誌』42 (3) 152-155
- 「岐黃文化發祥聖地—河南新密」楊建敏『中華医史雜誌』42 (3) 156-161
- 「藏医藥養生文化特点及其影響」梁峻，劉学春『中華医史雜誌』42 (3) 162-164
- 「『繁露下的岐黃春秋：宫廷医学与生之政』出版」蘭台『中華医史雜誌』42 (3) 164
- 「重審『金匱要略·雜療方』的篇章結構」趙懷舟，梁永宣『中華医史雜誌』42 (3) 165-169
- 「八十自述」余瀛鰲『中華医史雜誌』42 (3) 170-171
- 「余瀛鰲教授80華誕暨從医60年慶祝会紀要」王鳳蘭『中華医史雜誌』42 (3) 171
- 「我国医史士林60載回顧」張慰豐『中華医史雜誌』42 (3) 172-175
- 「余瀛鰲先生的書評」侯如艷，万芳『中華医史雜誌』42 (3) 176-177
- 「近代浙江医藥文物及遺迹探微」朱德明『中華医

- 史雜誌』42(3)178-184
- 「1918年大流感流行情况研究文献分析」張艷榮『中華医史雜誌』42(3)185-190
- 「『図説中医』評介—体现文化自觉与文化自信的佳作」傅芳『中華医史雜誌』42(3)191-192
- 「伝統中医学中的“腦主神明”論」韓振廷『中華医史雜誌』42(4)195-198
- 「『医海探驪—中国医学史研究新視野』出版」蘭台『中華医史雜誌』42(4)198
- 「論『寿親養老新書』老年人養生特色」張心悦『中華医史雜誌』42(4)199-200
- 「百年氣功發展的回眸与思考」黃健，王興伊『中華医史雜誌』42(4)201-207
- 「民国“傷寒新論現象”評析」農漢才，王致譜『中華医史雜誌』42(4)208-215
- 「德占時期青島的衛生防疫体系」金霞『中華医史雜誌』42(4)216-221
- 「『救命—明清中国的医生与病人』出版」蘭台『中華医史雜誌』42(4)221
- 「近代中国医院社会工作的縮影—『医院社会工作』」張孫彪，林楠『中華医史雜誌』42(4)222-225
- 「『致命元素：毒藥的歷史』中訳本出版」蘭台『中華医史雜誌』42(4)225
- 「『証類本草』版本系統劃分依据探討—兼論『紹興本草』与『新編類要図注本草』版本系統的歸屬」李健，張衛，梁飛等『中華医史雜誌』42(4)226-230
- 「近代首部医徳小説『医界鏡』作者新証」楊芳，朱慧，潘榮華『中華医史雜誌』42(4)231-237
- 「蚤類伝播鼠疫机制的發現」馬學博『中華医史雜誌』42(4)238-239
- 「重組DNA技術先驅—保羅·伯格」金東英，李志平『中華医史雜誌』42(4)240-244
- 「馬文植侍診慈禧軼事」周玉祥，張琪，曹震等『中華医史雜誌』42(4)245-248
- 「現代民族医藥大事記」甄艷，胡穎翀『中華医史雜誌』42(4)249-封三
- 「加強医史学研究之我見」王永炎『中華医史雜誌』42(5)259-260
- 「『黄帝内經』「蠱」，「痔」名義鉤沉」朱鵬拳『中華医史雜誌』42(5)261-263
- 「『旧唐書·孫思邈伝』之史源」宋珍民『中華医史雜誌』42(5)264-271
- 「海外交通視野下的近代閩南区域疫病研究」林楠，張孫彪，曾毅凌『中華医史雜誌』42(5)272-275
- 「電視輔助胸腔鏡外科簡史」宋応明，連長紅『中華医史雜誌』42(5)276-282
- 「内戦時期的美国護理」楊雪靜，張艷榮『中華医史雜誌』42(5)283-287
- 「『唐代涉医文学与医藥文化』出版」蘭台『中華医史雜誌』42(5)287
- 「黑水城出土西夏文「三仙丹」方考述」梁松涛『中華医史雜誌』42(5)288-289
- 「『重構秦漢医学図像』出版」蘭台『中華医史雜誌』42(5)290
- 「『重編医經小学』名実考」黃幼民，黃龍祥『中華医史雜誌』42(5)291-293
- 「『扁鵲入虢之診』考辨三則」周峨『中華医史雜誌』42(5)294-297
- 「范行准先生学述」伊广謙『中華医史雜誌』42(5)298-304
- 「我記憶中的李約瑟博士」馬伯英『中華医史雜誌』42(5)305-313
- 「再読范行准『明季西洋伝入之医学』」牛亜華『中華医史雜誌』42(5)314-317
- 「『日常生活史視野下中国的生命与健康』国際学術研討会紀要」許三春『中華医史雜誌』42(5)318-320
- 「『痛史—古典中医的生命論述』出版」蘭台『中華医史雜誌』42(5)320
- 「中華中医藥学会第十四次中医医史文献学術年会紀要」劉玉瑋，沈劫『中華医史雜誌』42(5)封三
- 「『本草綱目』病証名的研究」張志斌『中華医史雜誌』42(6)323-328
- 「『中医往事：1910—1949民国中医期刊研究』出版」蘭台『中華医史雜誌』42(6)328
- 「宋代士人獲取医方的途径」張海鵬『中華医史雜誌』42(6)329-333
- 「朱肱『活人書』对南宋傷寒学的影响」遼銘昕『中

- 華医史雜誌』42(6) 334-341
- 「晦明軒本『重修政和經史証類備用本草』の刻工」
梁飛，李健，張衛 等『中華医史雜誌』42(6)
342-344
- 「明代『大河外科』中赤疔及其治療藥物馬蹄香考」
蒲小蘭，張毅，楊文字 等『中華医史雜誌』
42(6) 345-353
- 「中医文物分類探析」廖果『中華医史雜誌』42(6)
354-357
- 「18世紀以来化学麻醉藥物及麻醉相關技術的發展」
鄭輝，張艷榮『中華医史雜誌』42(6) 358-
363
- 「『增補食物本草備考』版本及作者考」鄭洪，廖春
紅『中華医史雜誌』42(6) 364-367
- 「我記憶中的李約瑟博士（續）」馬伯英『中華医史
雜誌』42(6) 368-376
- 「網絡新資源信息在医史研究中的应用」梁永宣，
甄雪燕『中華医史雜誌』42(6) 377-379
- 「中華医学会医史学分会第13届2次学术年会紀要」
周揚『中華医史雜誌』42(6) 380
- 「新視野下的近現代中医史研究」暨「百年中医史
研究」項目培訓會議紀要」葉笑『中華医史雜誌』
42(6) 381
- 64 欧文文献**
- AHUJA, Nitin K.: Fordism in the Hospital: Albert
Kahn and the Design of Old Main, 1917-25: *J. Hist.
Med. Allied Sci.*: 67(3) 398-427
- BASHFORD, A./TRACY, S.W.: Introduction: Modern
Airs, Waters, and Places: *Bull. Hist. Med.*: 86(4)
495-514
- BASHFORD, Alison: Anticolonial Climates: Physiolo-
gy, Ecology, and Global Population, 1920s-1950s:
Bull. Hist. Med.: 86(4) 596-626
- BECCALOSSO, C./CRYLE, P.: Recent Developments
in the Intellectual History of Medicine: A Special
Issue of the *Journal of the History of Medicine*: *J.
Hist. Med. Allied Sci.*: 67(1) 1-6
- BECCALOSSO, Chiara: Female Same-sex Desires:
Conceptualizing a Disease in Competing Medical
Fields in Nineteenth-century Europe: *J. Hist. Med.*
Allied Sci.: 67(1) 7-35
- BRESALIER, Michael: 'A Most Protean Disease':
Aligning Medical Knowledge of Modern Influenza,
1890-1914: *Medical History*: 56(4) 481-510
- BRESALIER, Michael: Uses of a Pandemic: Forging
the Identities of Influenza and Virus Research in In-
terwar Britain: *So. Hist. Med.*: 25(2) 400-424
- BROOKS, Ross: Transforming Sexuality: The Medical
Sources of Karl Heinrich Ulrichs (1825-95) and the
Origins of the Theory of Bisexuality: *J. Hist. Med.
Allied Sci.*: 67(2) 177-216
- BROWN, Miranda: Who Was He? Reflections on
China's First Medical 'Naturalist': *Medical History*:
56(3) 366-389
- BRYANT, Thomas: Sexological Deliberation and So-
cial Engineering: Albert Moll and the Sterilisation
Debate in Late Imperial and Weimar Germany:
Medical History: 56(2) 237-254
- BUDD, L.C.S./BELL, M./WARREN, A.P.: Taking
Care in the Air: Jet Air Travel and Passenger Health,
a Study of British Overseas Airways Corporation
(1940-1974): *So. Hist. Med.*: 25(2) 446-461
- BURNETT, Kristin: Race, Disease, and Public Vio-
lence: Smallpox and the (Un)Making of Calgary's
Chinatown, 1892: *So. Hist. Med.*: 25(2) 362-379
- BURNHAM, John C.: The Death of the Sick Role: *So.
Hist. Med.*: 25(4) 761-776
- CANTOR, David: Between Prevention and Therapy:
Gio Batta Gori and the National Cancer Institute's
Diet, Nutrition and Cancer Programme, 1974-1978:
Medical History: 56(4) 531-561
- CHAPLIN, Joyce E.: Earthsickness: Circumnavigation
and the Terrestrial Human Body, 1520-1800: *Bull.
Hist. Med.*: 86(4) 515-542
- CHETTIAR, Teri: 'Looking as Little Like Patients
as Persons Well Could': Hypnotism, Medicine and
the Problem of the Suggestible Subject in Late
Nineteenth-Century Britain: *Medical History*: 56(3)
335-354
- COMPIER, Abdul H.: Rhazes in the Renaissance of
Andreas Vesalius: *Medical History*: 56(1) 3-25

- CONN, Matthew: Sexual Science and Sexual Forensics in 1920s Germany: Albert Moll as(S)Expert: *Medical History*: 56 (2) 201–216
- CONNOLLY, C./GOLDEN, J./SCHNEIDER, B.: “A Startling New Chemotherapeutic Agent”: Pediatric Infectious Disease and the Introduction of Sulfonamides at Baltimore’s Sydenham Hospital: *Bull. Hist. Med.*: 86 (1) 66–93
- CRENNER, Christopher: The Tuskegee Syphilis Study and the Scientific Concept of Racial Nervous Resistance: *J. Hist. Med. Allied Sci.*: 67 (2) 244–280
- CROZIER, Ivan: Making Up Koro: Multiplicity, Psychiatry, Culture, and Penis-Shrinking Anxieties: *J. Hist. Med. Allied Sci.*: 67 (1) 36–70
- CRYLE, Peter: Vaginismus: A Franco-American Story: *J. Hist. Med. Allied Sci.*: 67 (1) 71–93
- DAS, Shinjini: Debating Scientific Medicine: Homoeopathy and Allopathy in Late Nineteenth-century Medical Print in Bengal: *Medical History*: 56 (4) 463–480
- DAWES, Laura L.: When Subjects Bite Back: The Bristol Cancer Help Centre Study and Increasing Consumer Involvement in UK Medical Research in the 1990s: *So. Hist. Med.*: 25 (2) 500–519
- DIGBY, A./SWEET, H.: Social Medicine and Medical Pluralism: the Valley Trust and Botha’s Hill Health Centre, South Africa, 1940s to 2000s: *So. Hist. Med.*: 25 (2) 425–445
- EVANS, Jennifer: ‘Gentle Purges corrected with hot Spices, whether they work or not, do vehemently provoke Venery’: Menstrual Provocation and Procreation in Early Modern England: *So. Hist. Med.*: 25 (1) 2–19
- FEENEY, Tom: Church, State and Family: The Advent of Child Guidance Clinics in Independent Ireland: *So. Hist. Med.*: 25 (4) 848–862
- GARCIA, Monica: Producing Knowledge about Tropical Fevers in the Andes: Preventive Inoculations and Yellow Fever in Colombia, 1880–1890: *So. Hist. Med.*: 25 (4) 830–847
- GEIST, Edward: When Ice Cream Was Poisonous: Adulteration, Ptomaines, and Bacteriology in the United States, 1850–1910: *Bull. Hist. Med.*: 86 (3) 333–360
- GODTSCHALK, Ondine: A Picture of Health? New Zealand-made Health Education Films 1952–1962: *So. Hist. Med.*: 25 (1) 122–138
- GRIMSLEY-SMITH, Melinda: Revisiting a ‘Demographic Freak’: Irish Asylums and Hidden Hunger: *So. Hist. Med.*: 25 (2) 307–323
- HARDIMAN, David: The Influenza Epidemic of 1918 and the Adivasis of Western India: *So. Hist. Med.*: 25 (3) 644–664
- HARSCH, Donna: Medicalized Social Hygiene?: Tuberculosis Policy in the German Democratic Republic: *Bull. Hist. Med.*: 86 (3) 394–423
- HIRSHBEIN, Laura: Scientific Research and Corporate Influence: Smoking, Mental Illness, and the Tobacco Industry: *J. Hist. Med. Allied Sci.*: 67 (3) 374–397
- HOKKANEN, Markku: Imperial Networks, Colonial Bioprospecting and Burroughs Wellcome & Co.: The Case of *Strophanthus Kombe* from Malawi (1859–1915): *So. Hist. Med.*: 25 (3) 589–607
- HUMPHREYS, Margaret: Mary Duke Biddle Trent Semans (1920–2012): In Memoriam: *J. Hist. Med. Allied Sci.*: 67 (4) 650–656
- IRWIN, Julia F.: *Sauvons les Bebes*: Child Health and U.S. Humanitarian Aid in the First World War Era: *Bull. Hist. Med.*: 86 (1) 37–65
- ISHIZUKA, Hisao: ‘Fibre Body’: The Concept of Fibre in Eighteenth-century Medicine, c.1700–40: *Medical History*: 56 (4) 562–584
- JENKINSON, Jacqueline: A “Crutch to Assist in Gaining an Honest Living”: Dispensary Shopkeeping by Scottish General Practitioners and the Responses of the British Medical Elite, ca. 1852–1911: *Bull. Hist. Med.*: 86 (1) 1–36
- JONES, Claire L.: (Re-)Reading Medical Trade Catalogs: The Uses of Professional Advertising in British Medical Practice, 1870–1914: *Bull. Hist. Med.*: 86 (3) 361–393
- JONES, Edgar: War Neuroses and Arthur Hurst: A Pio-

- neering Medical Film about the Treatment of Psychiatric Battle Casualties: *J. Hist. Med. Allied Sci.*: 67 (3) 345–373
- JONES, Esyllt: Nothing Too Good for the People: Local Labour and London's Interwar Health Centre Movement: *So. Hist. Med.*: 25 (1) 84–102
- JONES, Greta: 'A Mysterious Discrimination': Irish Medical Emigration to the United States in the 1950s: *So. Hist. Med.*: 25 (1) 139–156
- KENNAWAY, James: Musical Hypnosis: Sound and Selfhood from Mesmerism to Brainwashing: *So. Hist. Med.*: 25 (2) 271–289
- KIRK, Robert G.W.: "Life in a Germ-Free World": Isolating Life from the Laboratory Animal to the Bubble Boy: *Bull. Hist. Med.*: 86 (2) 237–275
- LAVINE, Matthew: The Early Clinical X-ray in the United States: Patient Experiences and Public Perceptions: *J. Hist. Med. Allied Sci.*: 67 (4) 587–625
- LIVINGSTONE, David N.: Changing Climate, Human Evolution, and the Revival of Environmental Determinism: *Bull. Hist. Med.*: 86 (4) 564–595
- LLOYD, Paul S.: Dietary Advice and Fruit-Eating in Late Tudor and Early Stuart England: *J. Hist. Med. Allied Sci.*: 67 (4) 553–586
- LOUGHRAN, Tracey: Shell Shock, Trauma, and the First World War: The Making of a Diagnosis and Its Histories: *J. Hist. Med. Allied Sci.*: 67 (1) 94–119
- LUX, Maureen: We Demand 'Unconditional Surrender': Making and Unmaking the Blackfoot Hospital, 1890s to 1950s: *So. Hist. Med.*: 25 (3) 665–684
- MACFARLANE, J.T./WORBOYS, M.: Showers, Sweating and Suing: Legionnaires' Disease and 'New' Infections in Britain, 1977–90: *Medical History*: 56 (1) 72–93
- MAEHLE, Andreas-Holger: 'God's Ethicist': Albert Moll and His Medical Ethics in Theory and Practice: *Medical History*: 56 (2) 217–236
- MAK, Geertje: Hermaphrodites on Show. The case of Katharina/Karl Hohmann and Its Use in Nineteenth-century Medical Science: *So. Hist. Med.*: 25 (1) 65–83
- MARKS, Harry M.: Chemonotes: *So. Hist. Med.*: 25 (2) 520–539
- MAUCK, Aaron: 'By Merit Raised to That Bad Eminence': Christopher Merrett, Artisanal Knowledge, and Professional Reform in Restoration London: *Medical History*: 56 (1) 26–47
- MAUGER, Alice: "Confinement of the Higher Orders": The Social Role of Private Lunatic Asylums in Ireland, c.1820–60: *J. Hist. Med. Allied Sci.*: 67 (2) 281–317
- MAZANA, Javier S.: Obituary: Francisco Guerra Perez-Carral: *J. Hist. Med. Allied Sci.*: 67 (4) 657–658
- MCHUGH, Tim: Expanding Women's Rural Medical Work in Early Modern Brittany: The Daughters of the Holy Spirit: *J. Hist. Med. Allied Sci.*: 67 (3) 428–456
- MCIVOR, Arthur: Germs at Work: Establishing Tuberculosis as an Occupational Disease in Britain, c.1900–1951: *So. Hist. Med.*: 25 (4) 812–829
- MIKANOWSKI, Jacob: Dr Hirszfeld's War: Tropical Medicine and the Invention of Sero-Anthropology on the Macedonian Front: *So. Hist. Med.*: 25 (1) 103–121
- MILLER, Ian: The Chemistry of Famine: Nutritional Controversies and the Irish Famine, c.1845–7: *Medical History*: 56 (4) 444–462
- MILLER, L.E./WEISS, R.M.: Revisiting Black Medical School Extinctions in the Flexner Era: *J. Hist. Med. Allied Sci.*: 67 (2) 217–243
- MUKHARJI, Projit B.: The "Cholera Cloud" in the Nineteenth-Century "British World": History of an Object-Without-an-Essence: *Bull. Hist. Med.*: 86 (3) 303–332
- NAIR, Savithri P.: Diseases of the Eye: Medical Pluralism at the Tanjore Court in the Early Nineteenth Century: *So. Hist. Med.*: 25 (3) 573–588
- NEVILLE, Julia: Explaining Local Authority Choices on Public Hospital Provision in the 1930s: A Public Policy Hypothesis: *Medical History*: 56 (1) 48–71
- NUTTON, Vivian: Vesalius Revised. His Annotations

- to the 1555 Fabrica: *Medical History*: 56 (4) 415–443
- O’SULLIVAN, Lisa: The Time and Place of Nostalgia: Re-situating a French Disease: *J. Hist. Med. Allied Sci.*: 67 (4) 626–649
- OOSTERHUIS, Harry: Sexual Modernity in the Works of Richard von Krafft-Ebing and Albert Moll: *Medical History*: 56 (2) 133–155
- OSBORNE, M.A./FOGARTY, R.S.: Medical Climatology in France: The Persistence of Neo-Hippocratic Ideas in the First Half of the Twentieth Century: *Bull. Hist. Med.*: 86 (4) 543–563
- PARKER, Clare: From Immorality to Public Health: Thalidomide and the Debate for Legal Abortion in Australia: *So. Hist. Med.*: 25 (4) 863–880
- PASSMORE, Leith: The Ethics and Politics of Force-Feeding Terror Suspects in West German Prisons: *So. Hist. Med.*: 25 (2) 481–499
- PATEL, Sejal S.: Methods and Management: NIH Administrators, Federal Oversight, and the Framingham Heart Study: *Bull. Hist. Med.*: 86 (1) 94–121
- PETRY, Yvonne: ‘Many Things Surpass our Knowledge’: An Early Modern Surgeon on Magic, Witchcraft and Demonic Possession: *So. Hist. Med.*: 25 (1) 47–64
- POHL, Lynn M.: African American Southerners and White Physicians: Medical Care at the Turn of the Twentieth Century: *Bull. Hist. Med.*: 86 (2) 178–205
- POLS, Hans: Notes from Batavia, the Europeans’ Graveyard: The Nineteenth-Century Debate on Acclimatization in the Dutch East Indies: *J. Hist. Med. Allied Sci.*: 67 (1) 120–148
- POSKA, Allyson M.: Public Health, Peasant Bodies and the Spanish Colonisation of Patagonia: *So. Hist. Med.*: 25 (2) 290–306
- POWELL, Hilary: The ‘Miracle of Childbirth’: The Portrayal of Parturient Women in Medieval Miracle Narratives: *So. Hist. Med.*: 25 (4) 795–811
- PRANGHOFER, Sebastian: Albert Moll Sources and Bibliography: *Medical History*: 56 (2) 296–306
- REID, Alice: Birth Attendants and Midwifery Practice in Early Twentieth-century Derbyshire: *So. Hist. Med.*: 25 (2) 380–399
- REID, Alice: Mrs Killer an Dr Crook: Birth Attendants and Birth Outcomes in Early Twentieth-century Derbyshire: *Medical History*: 56 (4) 511–530
- ROBINSON, S./WILSON, E.: Working Together? Medical Professionals, Gay Community Organisations and the Response to HIV/AIDS in Australia, 1983–1985: *So. Hist. Med.*: 25 (3) 701–718
- ROSENBERG, Charles E.: Epilogue: Airs, Waters, Places. A Status Report: *Bull. Hist. Med.*: 86 (4) 661–670
- ROTHSTEIN, William G.: The Decrease in Socioeconomic Differences in Mortality from 1920 to 2000 in the United States and England: *J. Hist. Med. Allied Sci.*: 67 (4) 515–552
- RUSHTON, Alan R.: Leopold: The ‘Bleeder Prince’ and Public Knowledge about Hemophilia in Victorian Britain: *J. Hist. Med. Allied Sci.*: 67 (3) 457–490
- SAUERTEIG, Lutz D.H.: Loss of Innocence: Albert Moll, Sigmund Freud and the Invention of Childhood Sexuality Around 1900: *Medical History*: 56 (2) 156–183
- SAVELLI, Mat: Diseased, Depraved or Just Drunk? The Psychiatric Panic over Alcoholism in Communist Yugoslavia: *So. Hist. Med.*: 25 (2) 462–480
- SCHLICH, Thomas: Asepsis and Bacteriology: A Realignment of Surgery and Laboratory Science: *Medical History*: 56 (3) 308–334
- SIGUSCH, Volkmar: The Sexologist Albert Moll-between Sigmund Freud and Magnus Hirschfeld: *Medical History*: 56 (2) 184–200
- SOMMER, Andreas: Policing Epistemic Deviance: Albert von Schrenck-Notzing and Albert Moll: *Medical History*: 56 (2) 255–276
- SPAREY, Victoria: Identity-Formation and the Breast-feeding Mother in Renaissance Generative Discourses and Shakespeare’s *Coriolanus*: *So. Hist. Med.*: 25 (4) 777–794
- STARK, James F.: Bacteriology in the Service of Sani-

- tation: The Factory Environment and the Regulation of Industrial Anthrax in Late-Victorian Britain: *So. Hist. Med.*: 25 (2) 343–361
- STILLWELL, Devon: Eugenics Visualized: The Exhibit of the Third International Congress of Eugenics, 1932: *Bull. Hist. Med.*: 86 (2) 206–236
- STRANGE, J.-M.: In Full Possession of Her Powers: Researching and Rethinking Menopause in early Twentieth-century England and Scotland: *So. Hist. Med.*: 25 (3) 685–700
- THORAL, Mari-Cecile: Colonial Medical Encounters in the Nineteenth Century: The French Campaigns in Egypt, Saint Domingue and Algeria: *So. Hist. Med.*: 25 (3) 608–624
- TIMMERMANN, Carsten: Appropriating Risk Factors: The Reception of an American Approach to Chronic Disease in the two German States, c.1950–1990: *So. Hist. Med.*: 25 (1) 157–174
- TOUSIGNANT, Noemi: Trypanosomes, Toxicity and Resistance: The Politics of Mass Therapy in French Colonial Africa: *So. Hist. Med.*: 25 (3) 625–643
- TRACY, Sarah W.: The Physiology of Extremes: Ancel Keys and the International High Altitude Expedition of 1935: *Bull. Hist. Med.*: 86 (4) 627–660
- VIMIEIRO-GOMES, Ana C.: “Too Good to Be True”: The Controversy over the Use of Permanganate of Potash as an Antidote to Snake Poison and the Circulation of Brazilian Physiology in the Nineteenth Century: *Bull. Hist. Med.*: 86 (2) 153–177
- WALLIS, Patrick: Exotic Drugs and English Medicine: England’s Drug Trade, c.1550–c.1800: *So. Hist. Med.*: 25 (1) 20–46
- WELSHMAN, John: Time, Money and Social Science: The British Birth Cohort Surveys of 1946 and 1958: *So. Hist. Med.*: 25 (1) 175–192
- WILSON, Duncan: Who Guards the Guardians? Ian Kennedy, Bioethics and the ‘Ideology of Accountability’ in British Medicine: *So. Hist. Med.*: 25 (1) 193–211
- WOLFFRAM, Heather: “An Object of Vulgar Curiosity”: Legitimizing Medical Hypnosis in Imperial Germany: *J. Hist. Med. Allied Sci.*: 67 (1) 149–176
- WOLFFRAM, Heather: ‘Trick’, ‘Manipulation’ and ‘Farce’: Albert Moll’s Critique of Occultism: *Medical History*: 56 (2) 277–295
- YOELI-TLALIM, Ronit: Re-visiting ‘Galen in Tibet’: *Medical History*: 56 (3) 355–365
- YORK, Sarah: Alienists, Attendants and the Containment of Suicide in Public Lunatic Asylums, 1845–1890: *So. Hist. Med.*: 25 (2) 324–342